

あんしんを羽ばたく力に——京急グループ

KEIKYU
H A N D
B O O K
京急グループ会社要覧
2019-2020



京急線沿線エリアマップ



CONTENTS

TOP MESSAGE 3
 未来を、どこまでも 5
 京急グループ総合経営計画について 7
京急グループTOPICS(中期経営計画 重点テーマ)
■エリア戦略 品川を筆頭に駅周辺を核とする街づくりの推進 11
 羽田における基盤強化の推進 13
 都市近郊リゾート三浦の創生 16
 地域とともに歩む 18
■事業戦略 基幹たる交通事業の基盤強化 20
 賃貸事業・マンション分譲事業の戦略的展開 21
 訪日外国人需要の取り込み 22
 筋肉質な事業構造への変革 23
■お客さま戦略 すべてはお客さまのために 23

京急グループの概要
交通事業
 鉄道事業 24
 乗合・貸切自動車事業(バス事業) 41
 タクシー事業 46
不動産事業
 不動産販売業 48
 不動産賃貸業 54
レジャー・サービス事業 58
流通事業
 流通事業の再編・統合 63
 百貨店・SC業 64
 ストア業 66
 京急プレミアムポイント 69
その他の事業 70

京急グループのCSR・その他
 社会的責任に対する取り組み 73
 危機管理 76
 京急グループにおける安全・安心なサービス 77
 環境 78
 住民や自治体との取り組み 80
 新規事業の創出 82
 インバウンドへの取り組み 83
 PR活動 85
 CS活動 86
 株主・投資家への取り組み I R活動 87

京急電鉄 会社概要 89
京急グループ 決算・会社概要
 京急グループ 決算概要 94
 京急グループ 会社概要 97

資料
 京急グループ年譜 112
 民鉄16社比較 123
 路線図／駅施設 125



TOP MESSAGE

京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田 一之

平素より当社および京急グループの事業活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

京急電鉄は、2018年2月25日に創立120周年、2019年1月21日に開業120周年を迎え、この大きな節目の年に、京急グループ一丸となってさまざまな企画を展開してまいりました。その集大成として、品川・高輪地区や神奈川県内に分散していたグループ企業11社の本社機能と従業員約1,200人を「横浜・みなとみらい21地区」の「京急グループ本社」へ集約し、2019年9月17日から稼働を開始しました。

本社を移転した「横浜」は、当社の前身となる京浜電気鉄道と湘南電気鉄道と接続を果たした歴史的な場所です。また、京急線のほぼ中心に位置する司令塔として、今後大きく発展が期待される品川・羽田エリアの持つポテンシャルを沿線全域に波及し、横浜を中心に沿線の各エリアの活性化をリードしてまいります。

さらに、新本社には、湘南電気鉄道の創業当時から活躍していた車両を展示する「京急ミュージアム」を併設し、2020年1月のオープンに向け準備を進めております。120年にわたり、新しい価値を創造し沿線の発展に貢献してきた京急グループの「歴史を刻む場所」として、横浜駅東口から賑わいを創出してまいります。

中期経営計画の推進

2016年からスタートした「京急グループ第18次総合経営計画」では、最初の5年間を「構造変革期」と位置付け、長期ビジョン実現に向けた土台づくりを進める期間として「中期経営計画」を定めております。2020年度を最終年度とする「中期経営計画」は折り返しの地点を過ぎましたが、各事業が順調に進捗するとともに、事業の選択と集中を一段と進め、経営基盤の一層の強化を図ることができていると考えています。

2018年度は、前年度に取得した賃貸オフィス物件や「京急EXイン 羽田」が1年を通じて好調に稼働したほか、分譲マンションの販売および引き渡しが順調に推移しました。また、2019年8月「京急EXイン 羽田・穴守稲荷駅前」オープンにともない、「中期経営計画」で目標としていたビジネスホテル全館3,000室体制を前倒しで達成しました。

さらに、2019年4月からは、流通事業において「グループ全体最適」の発想のもと「1機能1社」を原則として、組織の再編および統合を実施し、経営の効率化を推進しております。

今後、オリンピック・パラリンピック以降の景気の後退懸念、沿線人口減少の本格化など、厳しい局面も予想されていますが、これらのリスクに対抗すべく、今後も環境の変化に適合した事業展開を行ってまいります。

エリア戦略 — 品川・羽田・三浦半島 —

東京・日本の玄関口「品川」、「羽田空港」の成長を担い、そのポテンシャルを最大限沿線の活性化につなげるべく、エリア戦略を掲げております。

■品川を筆頭に駅周辺を核とする街づくりの推進

品川駅周辺における開発の推進は、将来の京急グループの持続的成長を牽引する事業ととらえており、当社は品川駅のある「駅街区地区」とSHINAGAWA GOOSのある「西口地区」の2つの大きな開発に取り組んでおります。

「駅街区地区」においては、品川駅ホームの地平化(2面4線)および北品川駅付近の踏切解消を実現し、駅の利便性を生かした開発を目指します。また「西口地区」においては、地域が持つ歴史や豊かな緑を継承しつつ、オフィスやMICEなどの高機能化を図ることで、品格のある街を目指します。

■羽田における基盤強化の推進

2018年の訪日外国人旅客数は、過去最高の3,000万人を突破しました。羽田空港においては国際線の発着枠増加や一部ターミナルの国際線化に向けた準備など、ますますインバウンドの受け入れ態勢が進んでおります。当社においても、羽田空港国際線ターミナル駅と品川駅に京急ツーリストインフォメーションセンターを設置し、訪日外国人利用者へのご案内を強化しております。また、天空橋駅直近の羽田空港跡地第1ゾーンの開発事業に参画するなど、交通アクセスに留まることなく、不動産、ホテル、流通など各事業と連携を図りながら、羽田エリアのポテンシャルを沿線全域に波及させてまいります。

さらに、2019年10月からは加算運賃の引き下げを実施し、地域に密着する公共交通機関として、羽田空港アクセスにおける利便性の向上と確固たる地位の確立を図ります。

■都市近郊リゾート・三浦の創生

三浦半島は都心からわずか1時間圏内という近さにも関わらず、風光明媚な立地が最大の魅力です。マリレジャーを満喫できる海はもちろん、相模湾と東京湾、そして富士山も一望できる通称“三浦アルプス”と呼ばれる山の魅力を発信するため、2018年11月には「YAMAP」アプリを活用したイベントを開催しました。

また、同じく2018年11月には地元、行政とともに城ヶ島西部地区の再整備方針を決定いたしました。今後当社では、城ヶ島京急ホテルの建て替えを検討し、城ヶ島の再整備に参画してまいります。

ESG経営への対応

「ESG」とは、「Environment(環境)」、「Social(社会)」、「Governance(企業統治)」の3つの頭文字をとったもので、各分野への適切な対応が会社の長期的な成長と持続可能な社会の形成につながるといふものです。当社グループでは、すべての事業において安全・安心の徹底を最大のテーマとするのももちろん、そのほかにも、CO₂排出が少ない電車・バスの利用促進を啓発する「ノルエコ」の提唱に努めております。また、2019年1月には神奈川県と「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結し、喫緊の課題となっている海洋プラスチックごみの削減を目指し、オリジナルエコバッグの配布を行ったほか、2019年4月からグループ全施設において生分解性ストローを導入するなど、国際的な動向にも注視しながら事業を進めております。

さて、さまざま申し上げてまいりましたが、今後も京急グループ一丸となって、より一層皆さまに愛され、ともに発展する企業となるべく努力を続けてまいります。引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

みらいを、どこまでも

京急電鉄は2018年に創立120周年を迎え、さまざまな記念イベント・施策を実施しました。そして、2019年秋には本社機能を横浜に移し、新たな一歩を歩み始めました。2020年3月には6駅の駅名を新たに、沿線地域の活性化を目指します。

京急グループ11社の本社機能が横浜・みなとみらい21地区に集結

横浜・みなとみらい21地区にグループ11社の本社機能が集まります

2019年9月2日に横浜・みなとみらい21地区に「京急グループ本社」が竣工しました。グループ企業11社・約1,200名を集約し、業務効率の向上を図るとともに、グループ内のさらなる連携を強化します。横浜エリアは京急電鉄の前身である京浜電気鉄道と湘南電気鉄道が結節した歴史ある地であり、京急線の中心に位置することから、「京急グループ本社」が沿線活性化の司令塔として「エリア戦略」をリードしてまいります。



■本社ビルに入居する11社

- 京急電鉄
- 京浜急行バス
- 京急不動産
- 京急イーエックスイン
- 京急アドエンタープライズ
- 京急ストア
- 京急リプロ
- 京急サービス
- 京急システム
- 京急ビルマネジメント
- 京急ビジネス



- 住所
神奈川県横浜市西区高島1-2-8
(横浜駅下車 徒歩7分)
- 規模
地上18階、地下1階、塔屋1階

社員のワークスタイル変革に注力しています

各階の共有エリアには、社員が自由に仕事場所を選べるよう、ミーティングテーブルや個人ブースを備えた「インタラクティブエリア」を設けました。また「パントリー」を併設し、グループ内の社員同士が集まることのできる空間を創出。最上階の「コミュニケーションエリア(カフェテリア)」ではヘルシーメニューを提供するなど、社員の健康増進を図るとともに、グループ社員全員の交流の拠点を目指しています。あわせてビル全体に無線LANを整備し、自分のデスクに縛られない働き方を実現します。



打ち合わせや休憩に使える
インタラクティブエリア



コミュニケーションの
きっかけを作るパントリー



最上階のカフェテリア



開業準備中の
「京急ミュージアム」

「京急ミュージアム」、認可保育園「京急キッズランド」を併設

1階には、創意や総合力を持って新しい価値を創造し、沿線の発展に貢献してきた京急グループの魅力を伝える「京急ミュージアム」が2020年1月に開業予定。館内には歴史的車両デハ230形デハ236号を展示するほか、鉄道の運転シミュレーターやバスの運転台、沿線ジオラマなどを設置し、本物を見て、触れて、楽しめる施設を目指します。また、認可保育園「京急キッズランド」も併設し、みなとみらい地区における子育ての支援施設として、2020年4月から地域のお子さまを受け入れます。

2020年3月、6駅の駅名変更を実施

沿線地域の活性化を目指し、4駅の駅名変更を決定

より多くのお客さまに「選ばれる路線」になるため、2020年3月、京急電鉄は大きな価値を持つ駅名の変更を創立120周年記念事業として行います。産業道路駅については、以前より地元行政などから「川崎市の飛躍につながるような、新しい駅名への変更をしたい」という要望をいただいていたこともあり、2020年3月に目指している駅舎完成を見据え、駅名変更を決断。そして、未来を担う子どもたちに自分の身近な駅の歴史に触れてほしいという趣旨のもと、沿線の小中学生を対象に「わがまち駅名募集」という企画を実施。駅名についての意見を広く伺い、それを参考に検討を重ね、さらに3駅の駅名変更の決定に至りました。

■現:産業道路



大師線連続立体交差事業における駅の地下化を機に、川崎市と大田区を結ぶ架け橋で、地元シンボルの一つでもある「大師橋」に変更。

■現:花月園前



かつては東洋一の遊園地として、その後は競輪場として賑わいを見せた「花月園」の「花月」を残しつつ、曹洞宗大本山として全国に知られ、駅から徒歩7分の「總持寺」を駅名に入れることで地域活性化につながる。

■現:仲木戸



「京急」を冠したうえで、東日本旅客鉄道(株)と同じ東神奈川駅とし、乗り換え可能な駅としての認知を高め、乗り間違いを防いで利便性を高める。

■現:新逗子



ブランド力のある地名にすることで、三浦半島のさらなるイメージ向上と定住人口、交流人口増により、地域活性化を図る。また、羽田空港からの直通電車に「逗子・葉山」と表示することで、より多くのお客さまに葉山へのアクセスポイントであることを広く周知。

さらに、10駅の副駅名標を導入

駅名変更を実施しない駅においても、お客さまから多くの駅名案をいただいたことから、その熱意を少しでも多く反映し、誘客促進などにつなげるため、現在販売されている副駅名称広告とは別に、副駅名標として採用することも同時に決定しました。2020年3月、大森海岸駅に「しながわ水族館」や日ノ出町駅に「野毛山動物園」など、10駅に副駅名標を表記します。

羽田空港国際線旅客ターミナルビルなどの名称変更にあわせた駅名変更も実施

2020年3月には羽田空港国際線旅客ターミナルビルなどの名称変更が行われます。これにあわせ、国からの要請により、京急電鉄でも羽田空港国際線ターミナル駅と羽田空港国内線ターミナル駅の駅名を変更します。この2駅をあわせた、全6駅の駅名変更を2020年3月に実施します。

京急グループ総合経営計画について

京急グループでは、事業環境の変化に対応し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すため、当社グループの一大プロジェクトとなる品川駅周辺開発を見据えた、20年間にわたる「京急グループ第18次総合経営計画」を2016年3月に策定し、推進しています。本計画では、2035年度を目標年次として長期ビジョンと長期経営戦略を見直すとともに、長期ビジョン実現に向けた最初のステップとして「中期経営計画(2016～2020年度)」を策定しています。

京急グループ総合経営計画の体系



1 グループ理念

■ 経営理念

- 京急グループは、都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する
- 京急グループは、伝統のもとに、創意あふれる清新な気風をもって、総合力を発揮し、社業の躍進を目指す
- 京急グループは、グループの繁栄と全員の幸福との一致を追求する

■ 行動指針

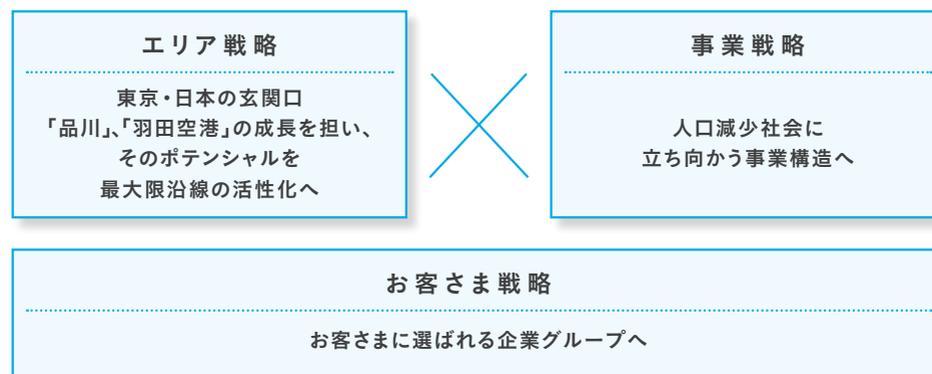
- 安全・安心を最優先し、感謝と誠意をもって、顧客の信頼を獲得しよう
- たえず研鑽し、進取の精神をもって、可能性に挑戦しよう
- 誇りと責任をもち、相互の信頼を深め、仕事に取り組もう

2 長期ビジョン[2035年度に目指す将来像]

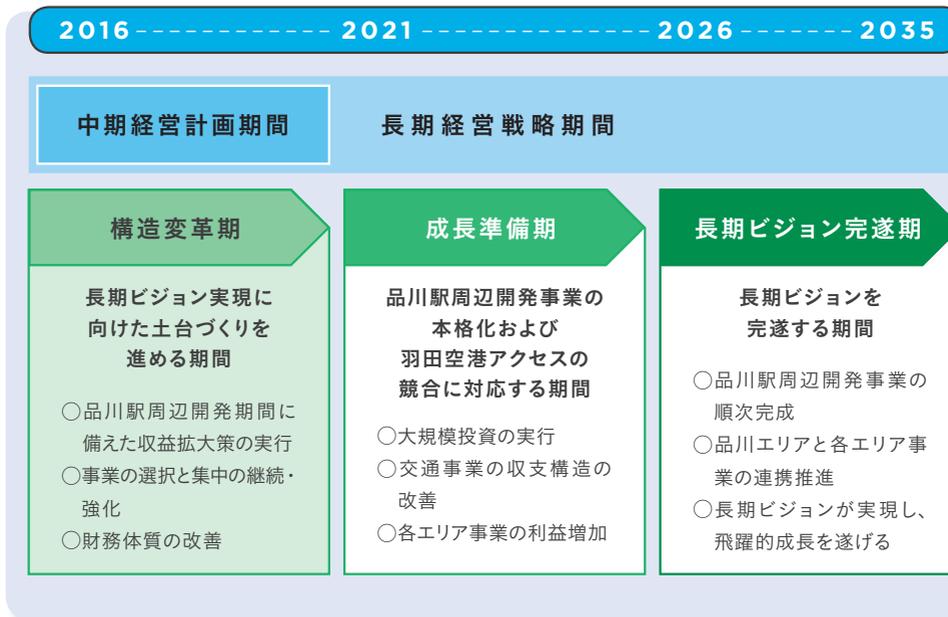
品川・羽田を玄関口として、
国内外の多くの人々が集う、豊かな沿線を実現する

3 長期経営戦略

基本方針(3つの柱)



ステップ

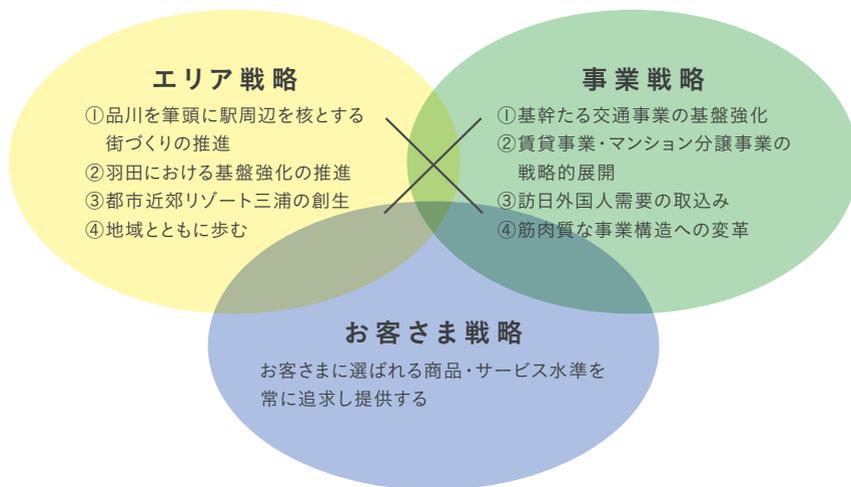


4 中期経営計画(2016~2020年度)

中期経営計画期間は、「構造変革期」として位置付け、オリンピック・パラリンピックに向けた好景気を背景に、企業体質の変革に向け、事業再編やお客さま志向の徹底に取り組むとともに、各エリア事業の取り組みを強化し、長期ビジョンの実現に向けた土台づくりを進めます。

不動産賃貸業については、賃貸オフィスや賃貸マンションを新規取得、レジャー事業については、ビジネスホテルを新規開業するなど、引き続き成長投資を推進してまいります。一方、不要な資産の売却を行うなど事業の選択と集中を進め、2020年度以降に本格化する品川駅周辺開発に備え、事業基盤の強化に努めてまいります。また、今後の事業環境を見据えた他社との事業連携や新規事業等への展開を行うとともに、グループ会社再編を含めた業務推進体制を再構築するなど、経営計画の実現に向けた推進体制の強化を図ってまいります。

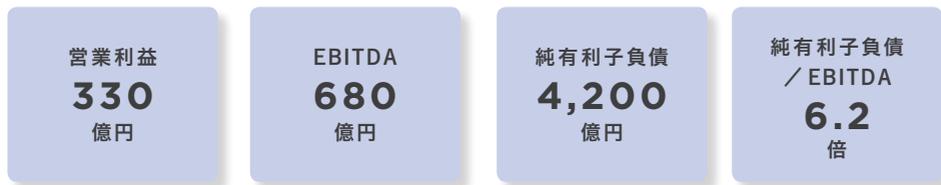
重点テーマ



5 目標指標

品川駅周辺開発の本格化を前に、キャッシュ創出力の向上と、大規模投資に備えた財務体質の改善を重視し、以下の4指標を目標指標としました。

2020年度



6 京急ism(イズム)～京急グループが求める人材像～

「京急ism」は、京急グループが培ってきた強みを正しく認識しつつ、さらなる発展に向けて、すべての従業員が理解し、共有すべき価値観であり、挑み続けるべき目標として掲げられている人事ビジョンです。

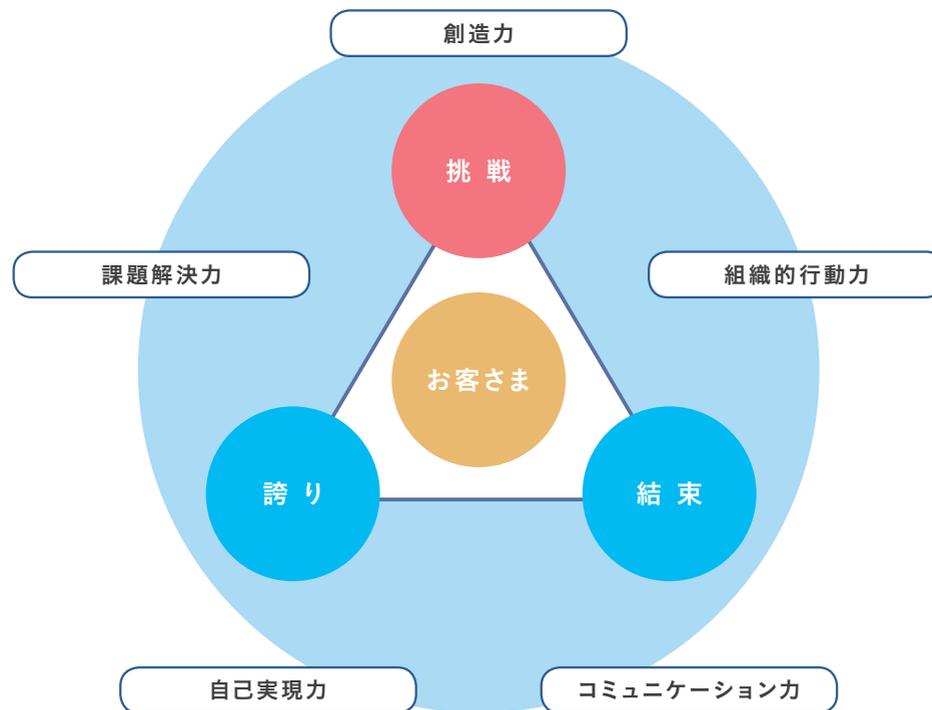
特に京急グループ総合経営計画において「構造変革期」と位置付けられる中期経営計画の推進にあたっては、「挑戦」を重点キーワードとして、徹底したお客さま志向のもと、グループ全体が一丸となり、新たな可能性に挑み、新しい価値を創造する人材集団を目指します。

また、京急ismの実現に向け、「5つのチカラ」をグループ共通の人材育成方針としています。

人事ビジョン【京急ism】

- 誇り** 一人一人がプロフェッショナルとして自律し、課題解決意識をもって業務に取り組む
- 結束** 目的・方向性を共有し、グループの連携力を最大限に活かして業務に取り組む
- 挑戦** 新たな可能性に挑戦し、お客さまに新しい価値を提供し続ける

人材育成方針【5つのチカラ】

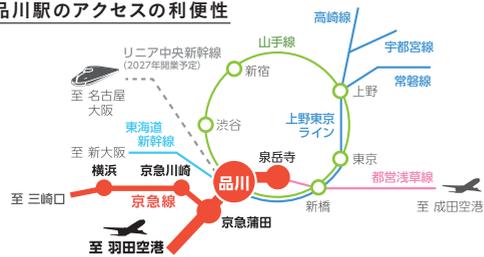


品川を筆頭に駅周辺を核とする街づくりの推進

品川駅周辺での事業展開

京急グループは、品川駅周辺に約60,000㎡の土地を保有しており、「品川駅」や「SHINAGAWA GOOS」をはじめ、ホテル・オフィス・商業施設などさまざまな事業を展開しています。

品川駅のアクセスの利便性



ホテル事業

- 京急EXホテル 品川／高輪
高輪口から徒歩3分、2館あわせて1,000室以上の客室数を誇ります。
- 京急EXイン 品川・泉岳寺駅前
2016年6月、都心や羽田空港アクセスに便利な京急線・都営浅草線泉岳寺駅前にオープン。

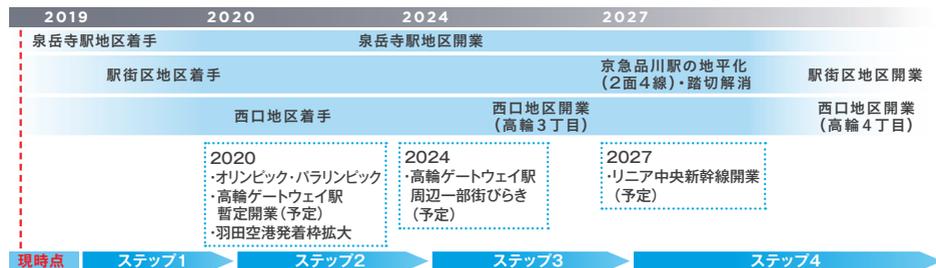
京急品川駅および周辺の開発

品川駅周辺の発展を担う事業者として、国際交流拠点化に向けた開発事業を推進。品川駅が持つポテンシャルを最大限に活用し、新しい街の創造に向けて着実に進展しています。



※ Google Maps から引用し当社作成

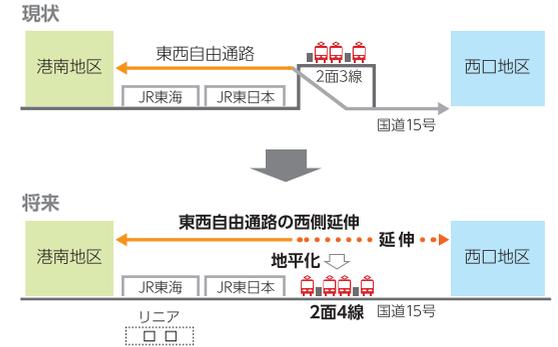
品川駅周辺開発事業 開発スケジュールイメージ



●京急品川駅の地平化(2面4線)

品川駅は、利用客の利便性向上を図るため、現在高架にある2面3線のホームを地平レベルに配置し、あわせて2面4線化により利便性向上および空港アクセス強化を計画しています。品川駅を地平化することで、品川駅東口から東西自由通路を延伸させて国道15号を越えて西口地区へとつなぐ歩行者ネットワークを構築することが可能となり、乗り換えの利便性や安全性が向上した魅力的な駅への再編に取り組みます。

京急品川駅の地平化(2面4線イメージ)



●品川第一踏切道を含む3か所の踏切解消

京急品川駅の南方にある品川第一踏切道を含む3か所の踏切は、現在京急本線で都内に残る最後の踏切です。鉄道輸送の安全性の向上を図るだけでなく、品川駅南側の道路交通を円滑にして地域の東西連絡性を強化・改善させるべく、この踏切の解消を目指します。

●「西口地区」の開発(案)

西口地区では、地域が持つ歴史や緑豊かな空間との調和をとりながら、ビジネス拠点の形成の場となるオフィスやMICE空間、時間消費型の商業やホテルなどによる多様な都市機能の集積を図ることで、品格のある新たなフラッグシップエリアの実現を目指します。



※品川駅から高輪3丁目方面を臨む
※パースはあくまでイメージであり、実際とは異なる場合があります

●「駅街区地区」の開発(案)

駅街区地区においては、駅直上・直結という抜群の利便性を生かし、オフィス・商業・ホテルなどの複合施設開発に加え、国道15号上空についても、国道上空デッキを介する交通結節機能や賑わい広場の創出を官民連携整備により目指します。



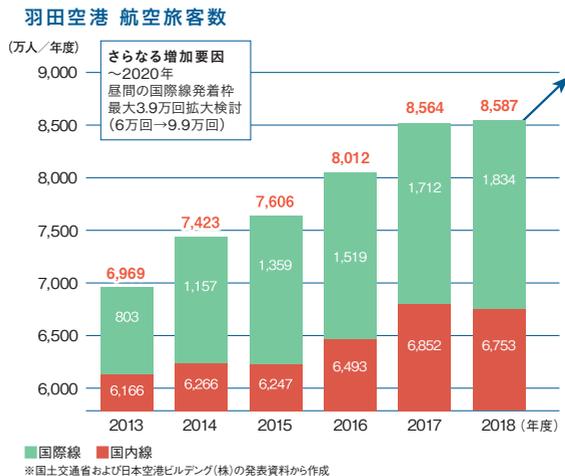
※高輪3丁目地区から品川駅方面を臨む
※パースはあくまでイメージであり、実際とは異なる場合があります

羽田における基盤強化の推進

羽田空港における航空旅客数の増加

羽田空港は、国内48都市、世界18か国・地域の30都市とネットワークを形成しており、2018年度の国際線・国内線をあわせた年間航空旅客数は、過去最高を記録しました。

2020年までに飛行ルートを変更することで、国際線の発着回数を年3.9万回増やすことが検討されており、今後もさらなる旅客数の増加が見込まれます。



拡大する京急線需要

航空旅客数の増加や、ダイヤ改正で羽田空港アクセスを向上させたことにより、2018年度駅別1日平均乗降人員では、国際線ターミナル駅が28,415人(前年比9.1%増)、国内線ターミナル駅が93,830人(前年比3.7%増)を記録し、国際線・国内線ターミナル駅の合計では、122,245人(前年比4.9%増)を記録しました。



羽田空港アクセスを担う

羽田空港

空港リムジンバス

- 羽田空港から各地へ、**50路線運行**
- 「深夜早朝便の飛行機に対応」



京急線

- 品川～羽田空港国際線ターミナル駅間**最短11分**
- 品川方面、横浜方面とも直通電車を**10分間隔**で運行



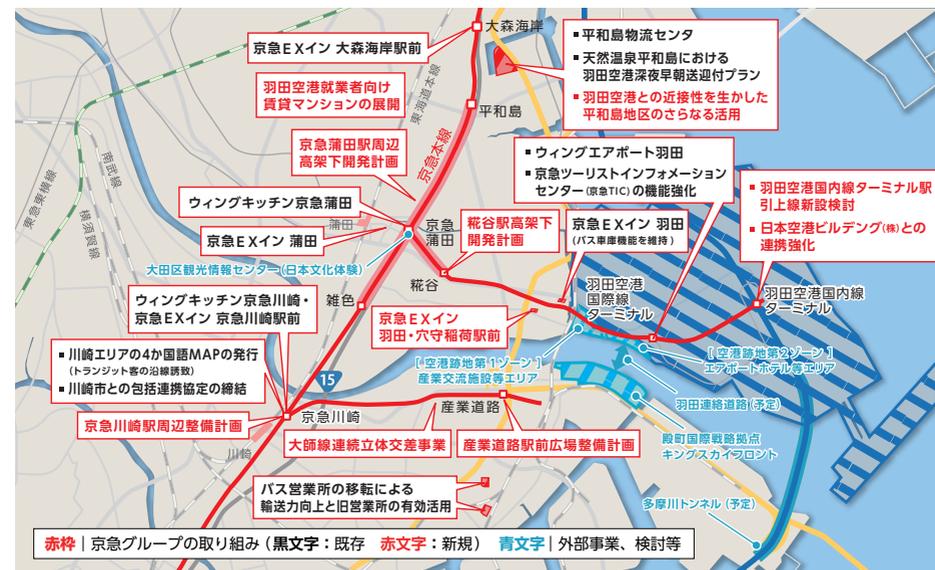
タクシー

- 東京都と神奈川県内の対象エリアで、羽田空港アクセスを定額料金で利用できる「**定額制タクシー**」を導入



羽田空港周辺エリアにおいて事業を拡大

羽田空港周辺で、ホテルや商業施設などさまざまな施設を運営しております。2017年10月には天空橋駅付近に「京急EXイン 羽田」を開業、2019年8月3日には穴守稲荷駅付近に「京急EXイン 羽田・穴守稲荷駅前」をリブランドオープンするなど、羽田空港へのアクセスに優れたビジネスホテル事業を展開しています。また、羽田空港跡地第1ゾーンの開発事業にも参画するなど、羽田空港周辺エリアにおいて積極的な投資を推進し、羽田空港需要を余すところなく取り組んでいきます。

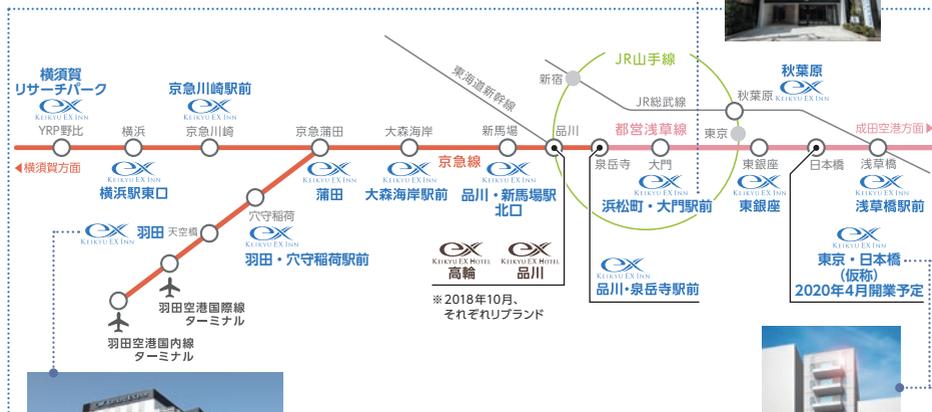


「京急EXホテル」・「京急EXイン」の2ブランドで多店舗展開

2007年に開業した京急イーエックスインは、羽田空港や品川駅への高い交通利便性を強みに、宿泊特化型ホテル「京急EXホテル」、「京急EXイン」の2つのブランドでチェーン展開しています。

2019年3月28日に「京急EXイン 浜松町・大門駅前」をオープン、2019年8月3日には羽田エリア2店舗目となる「京急EXイン 羽田・穴守稲荷駅前」をリブランドオープンし、中期経営計画で掲げる「2020年度3,000室体制」を前倒しで達成しました。現在15館3,050室体制、全館で高稼働率を維持しており、2020年4月には「京急EXイン 東京・日本橋」の新規オープンを予定しています。

ビジネスホテルを利用されるお客さまは、これまでの国内出張ビジネスに加え、インバウンドやアップービジネス、女性グループやシニア世代の国内レジャー需要など、より一層の多様化が進むとともに、ホテルで過ごす時間に更なる付加価値を求められるお客さまも増加しています。「京急EXイン」と、従来のビジネスホテルからワンランク上の「京急EXホテル」の2ブランド体制で、多様化する宿泊ニーズを取り込み、「安全」「安心」「感動」の提供をテーマに、つねにお客さまに選ばれ、喜ばれるホテルを目指します。今後も、京急沿線や都心部、そしてますます発展していく羽田エリアにおけるホテル事業基盤の更なる強化を展開するとともに、羽田空港への利便性に優れた国内主要都市への出店を積極的に進めていきます。



都市近郊リゾート三浦の創生

三浦半島は都心部の近郊に位置しながら、美しい自然に囲まれています。京急グループでは、鉄道・バス・タクシーなど三浦半島の交通網の連携強化を図るほか、展開しているリゾートホテルから水族館、ヨットハーバーまでさまざまな事業を通じて、観光の活性化などを推進します。

● レジャー施設

葉山マリーナ
京急油壺マリンパーク
油壺京急マリーナ



● ホテル

観音崎京急ホテル・SPASSO
ホテル京急油壺観潮荘
城ヶ島京急ホテル



● おトクなきっぷ

みさきまぐろきっぷ
よこすか満喫きっぷ
葉山女子旅きっぷ



三浦半島 1 DAYきっぷ・2 DAYきっぷ



地元自治体と協力した認知度向上への取り組み

「YAMAP」アプリで三浦半島の山歩きプランを提案

京急電鉄は、新規事業創出プログラム「KEIKYUアクセラレーター」の採択企業である(株)ヤママップと連携し、オフラインで使えるGPSアプリ「YAMAP」を活用した、三浦半島の山の魅力の発信を進めています。その一つとして、(株)ヤママップと共同で制作した「三浦アルプス」、「大楠山・三浦富士」の2コースのマップを特設WEBサイトおよび「YAMAP」アプリ上で配信し、京急グループの電車、施設と「YAMAP」アプリを使った新しい山歩きプランを提案しています。



アプリ画面イメージ

三浦半島の観光情報サイト「三浦半島の小さな旅」をオープン

2019年3月29日に、三浦半島の観光に便利な情報や、京急グループが実施するイベント情報などを発信するWEBサイト「三浦半島の小さな旅」を開設しました。ホリデー(株)が提供する、おでかけ・旅行のスポット・プランを気軽に検索できるサービス「Holiday」とも連携し、三浦半島のおでかけプランも発信。お客さまが実際に体験し、サイト内に共有したリアルな「おでかけプラン」をスマートフォンなどで見ながら、ガイドブックには載っていない穴場スポットなどを巡ることができます。



■ 三浦半島エリア勉強会

三浦半島に点在する京急グループの保有資産を活用し、三浦半島全体の活性化を実現するには、京急グループ各社の現場社員の意見やアイデアが必要不可欠です。このため、2016年度に「三浦半島エリア勉強会」をスタート。20～30代の若手・中堅を中心としたメンバーで、定期的に各社同士の意見交換を行い、今までにないさまざまな施策を検討・実行しています。

三浦半島エリア勉強会×東京大学「三浦半島コンセプトブック」

「三浦半島エリア勉強会」では、三浦半島のコンセプトをつくり上げることを目的に、2017年5月から東京大学とともに、フィールドワークやワークショップを重ねてきました。その共同研究の成果として、再認識した三浦半島の魅力をまとめたのが「三浦半島コンセプトブック」です。

京急グループでは、今後、コンセプトブックに沿った形で「都市近郊リゾート三浦の創生」実現に向けた取り組みを実施していきます。



■ 観音崎京急ホテルで2つのサービスがスタート

車中泊施設「RVパーク京急観音崎」をオープン

2019年6月15日に、横須賀市内では初のRVパークとなる「RVパーク京急観音崎」を温浴施設SPASSO(スパッソ)駐車場にオープンしました。1名分のSPASSOの入浴がセットになったパーキングプランを販売し、RV車ユーザーに向けて、アクセスのよい三浦半島各地の過ごし方を提案、活性化を図ります。



「CAMPING OFFICE KANNONZAKI」サービス開始

2019年7月11日に(株)スノーピークビジネスソリューションズと連携し、「CAMPING OFFICE KANNONZAKI」の営業を開始しました。東京湾を一望する非日常の自然環境を感じることでできる観音崎京急ホテルの屋外スペースで、企業研修やオフサイトミーティングを行うプランを共同で開発、販売します。



Column

テレビCM「三浦半島 for YOU篇」を放送

創立120周年イヤーも終盤を迎え、今後も京急がお客さまにとって身近で愛される存在であり続けたいという想いを込めて設定した「KEIKYU for YOU」をコンセプトに、2019年7月から新たな広告キャンペーンを開始しました。その第1弾として、女優の黒島結菜さんをイメージキャラクターに起用したテレビCM「三浦半島 for YOU篇」を放映。さらに沿線を中心に掲出するグラフィック広告やキャンペーンサイトにも展開し、グルメや絶景など、都市近郊リゾート・三浦半島の魅力を広く発信しました。



地域とともに歩む

都心から横浜・三浦半島まで地域ごとにさまざまな魅力があふれる京急沿線。京急グループでは、地域の特性や市場動向をとらえ、事業展開に生かすことで、地域の魅力向上と課題解決に努めています。これまで以上に地域との連携を強め、お客さまが求めるサービス・商品を提供していきます。

■ 「スマートモビリティ等を活用したまちづくりに関する連携協定」を締結

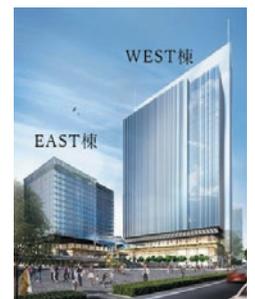
京急電鉄と横須賀市、(株)NTTドコモは、2019年1月24日に「スマートモビリティ等を活用したまちづくりに関する連携協定」を締結しました。研究開発機関の集積地である「横須賀リサーチパーク(YRP)」の特徴を生かし、横須賀市内において、スマートモビリティを活用した社会課題の解決や新たなビジネスの創出を図り、地域の活性化などを推進していきます。2019年下期には、(株)NTTドコモのAI運行バスを用いて、京急ストアや横須賀市の公共的施設を巡回するお買物送迎車の実証も行う予定です。

■ 横浜市南部沿線まちづくり

2018年7月、京急電鉄と横浜市は、京急沿線の横浜市南部地域において、将来を見据えた沿線地域の魅力向上に向けたまちづくりに協働して取り組むため、「京急沿線(横浜市南部地域)における公民連携のまちづくりの推進に関する連携協定」を締結しました。産官学民が連携し、富岡西・能見台圏では地域の皆さまとのワークショップやモビリティの実証実験などを実施し、金沢区心部では将来まちづくり構想を検討しています。

■ 「みなとみらい21中央地区53街区」の事業予定者に選定

交通利便性が高く、また地区内の重要な歩行者ネットワークである「グランモール軸」と「キング軸」が交差する結節点に位置し、みなとみらい21中央地区の中で新たな核となる53街区が公募され、京急電鉄ほか3社が、その開発事業予定者に選定されました。今後は高品質なオフィスを中心に、商業施設、ホテル、賑わい施設、オープンインベーション施設など多様な空間を有した2棟のビル(WEST棟・EAST棟)で構成する大規模複合ビルを開発。さらに、本計画がグランモール軸を整備し、横浜駅からベデストリアンデッキでアクセスすることが可能となります。エリアの新たな価値を生み出し、みなとみらいの魅力とブランドを国内外へ発信していきます。



■「2019 BE STRONG at Oppamaキャンペーン」を展開

横浜DeNAベイスターズのファーム施設が追浜公園内に新設されたことから、京急電鉄、横須賀市、(株)横浜DeNAベイスターズは、2018年11月に、スポーツを核としたまちづくりを進め、横須賀を魅力あふれるまちにすることを目的とした「三者連携に関する基本協定」を締結しました。2019年3月19日から「2019 BE STRONG at Oppama キャンペーン」を展開し、7月14日からは、第2弾として追浜商店街限定オリジナルグッズ販売、およびキャンペーンオリジナル選手カードプレゼントを実施しました。



■産学官連携で、「電動小型低速車」の実証実験を開始

2018年7月に、横浜国立大学と締結した「産学連携の協力推進に係る協定」および、横浜市と締結した「京急沿線(横浜市南部地域)における公民連携のまちづくりの推進に関する連携協定」の2つの協定に基づき、交通課題を抱えた地域を有する横浜市金沢区富岡西エリアにて、10月から11月にかけて、「電動小型低速車」の実証実験を行いました。“優れた登坂力”“小型”といった「電動小型低速車」の特徴を生かし、急勾配な坂の移動を補助するルートと、地形的制約により、既存のバス路線が運行できないルートで定時定路線の循環運行を行い、地域交通課題解決に向けた取り組みを行いました。



運行に使用した「電動小型低速車」

■神奈川県と「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結

2019年1月22日、国による「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」の両方に都道府県として唯一選定された神奈川県と「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結しました。これは、SDGsの達成に向けて緊密な相互連携と協働による活動を推進し、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、県民サービスの向上および地域の活性化を図ることを目的とした協定で、「かながわプラごみゼロ宣言」と連携し、マイクロ・プラスチック問題に取り組んだり、三浦半島地域の活性化、健康長寿に向けた未病改善、ともに生きる社会づくり、エネルギーの地産地消など、さまざまな取り組みを実施しています。



「かながわ SDGs × けいきゅん」デザインロゴ

基幹たる交通事業の基盤強化

交通事業においては安全・安定輸送を継続するとともに、ホームドア設置などで駅ホームにおけるさらなる安全性の強化を図ります。また、「京急線アプリ」などを通じて、京急線をより快適に利用できる情報・サービスを提供しています。

■主要駅にホームドアを設置

2010年に京急線初となるホームドアを羽田空港国際線ターミナル駅に導入し、2018年度に羽田空港国内線ターミナル駅に設置しました。

今後は2020年度までに京急蒲田駅、京急川崎駅、横浜駅、上大岡駅において「ホームドア」を設置するとともに、「内方線付き点状ブロック」や「固定柵」の整備を進め、駅ホームにおけるさらなる安全性の強化を図ります。



京急蒲田駅に設置しているホームドア

■「京急線アプリ」がバージョンアップ

ダイヤ乱れ時などに、駅構内の混雑状況をタイムリーに確認することができる「駅改札混雑状況(駅視-vision)」や、他社線への乗り換えが可能な駅においては対象の他社線アプリと連携して、他社線の列車走行位置や時刻表を確認することができる「他社線連携」機能を追加しました。

※駅視-visionは、東京急行電鉄(株)(2019年10月1日より、東急電鉄(株))の登録商標です。



アプリ起動画面

駅改札混雑状況(駅視-vision)

鉄道会社公式スマートフォンアプリ10社連携

■燃料電池バス「SORA」導入

京浜急行バスでは、2019年2月25日に水素と空気中の酸素を化学反応させて発電し、発電した電気で走行する燃料電池バス「SORA」を民間のバス会社では初めて導入し、3月1日より大井町駅西口～お台場地区で運行を開始しました。「SORA」は走行時にCO₂などの環境負荷物質を一切排出しないため、非常に環境に優しい車両です。また、環境性能以外にも視界支援カメラシステムや急発進を抑制する加速制御機能などを備えた、人にも優しいバスになっています。



燃料電池バス「SORA」

賃貸事業・マンション分譲事業の戦略的展開

京急グループでは品川・羽田と連携した開発を行い、街づくりの核となる賃貸事業・マンション分譲事業を展開することで、交通事業に並ぶ柱へ成長させます。また、販売のみならず、管理、リノベーション、リフォーム事業などを強化していきます。

■ 賃貸物件の取得・開発

積極的な物件取得を推進し、新たな収益基盤を確立していきます。2018年3月には、SPCを通じて大規模オフィスビル「芝パークビル」の信託受益権を取得しました。



芝パークビル

■ 既存中古ストックの利活用

豊かな沿線、かつ安全・安心なまちづくりを進めるため、既存の中古ストックの利活用を推進し、空き家転貸サービスの「カリアゲ京急沿線」の展開や、横浜市立大学・横浜市との産官学連携の空き家活用を進めています。

また、Rバンクは、空き家をシェアハウス化するリノベーションや、企業が保有する住宅を一般向け集合住宅にリニューアルする事業を推進しています。



リノベーション前



リノベーション後

■ 海外不動産事業の展開

インドネシア共和国ジャカルタ郊外で大規模都市開発が進められているBSD (Bumi Serpong Damai) 地区において、戸建住宅および商業施設(店舗付住宅)を複合開発する事業へ参画しています。



さらに、他社と共同で、「PT Keikyu Itomas Indonesia」を設立し、ジャカルタに近いシマトパンタンジュンバラット地区において、大規模複合開発計画に参画し、海外での分譲マンション事業を展開。海外で初めて当社ブランド「PRIME」を冠した、29階建てタワーマンション「SOUTHGATE PRIME TOWER」を現在販売しています。



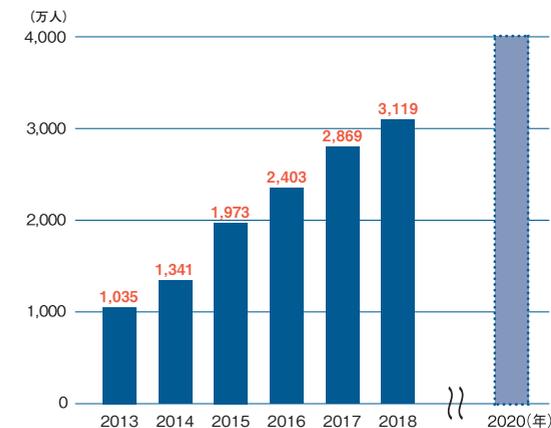
大規模複合開発計画地区「SOUTHGATE」完成予想イメージ

訪日外国人需要の取り込み

■ 訪日外国人数の増加

訪日外国人数

2018年の年間訪日外国人旅行者数は、過去最高の3,119万人(前年比約8.7%増)を記録しました。日本政府は、訪日外国人数を2020年に4,000万人、30年には6,000万人に増やす方針で、今後もさらなる訪日外国人の増加が見込まれます。羽田空港国際線ターミナル駅の乗降人員も年々増加しているほか、「京急ツーリストインフォメーションセンター 羽田空港国際線ターミナル駅」も多くの外国人旅行者に利用していただいています。



※日本政府観光局(JNTO)調べ(2020年は政府目標)

■ インバウンド施策の強化

おもてなしガイドを活用した多言語案内サービス

2018年7月、鉄道会社として日本で初めて「おもてなしガイド」を活用した多言語案内サービスを開始しました。京急線各駅(泉岳寺駅を除く)の改札口付近にて、駅ホーム(番線)案内をアプリに多言語表示(日本語・英語・中国語(簡)・韓国語)の4か国語に対応)するほか、運行情報や路線図、お得なきっぷ、無料Wi-Fiの利用方法等の必要情報を提供しています。



日本語での表示画面

英語での表示画面

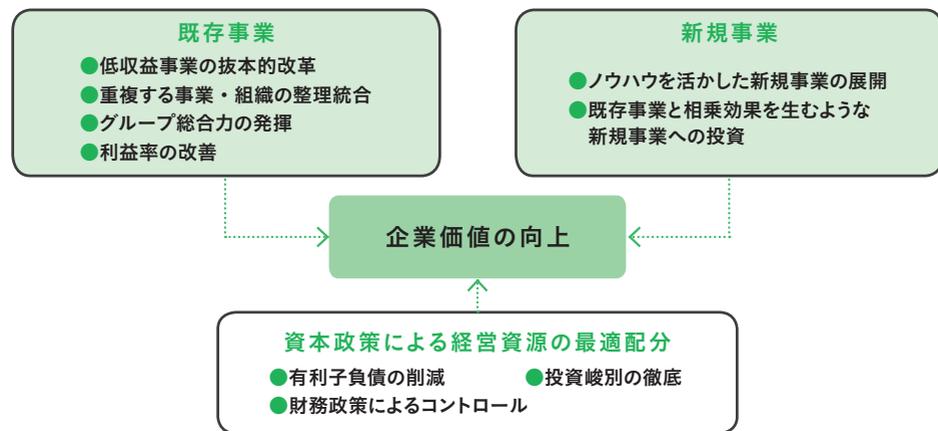
海外代理事務所の開設

2016年に台湾、2017年にタイとシンガポールに、京急のインバウンドPR業務を代行する事務所(海外レップ)を開設しています。海外レップと連携することで、現地の流行やニーズに即した情報発信が行えるようになり、これまで以上に効果的なPRが可能になりました。



筋肉質な事業構造への変革

引き続き事業再編・選択と集中の徹底を図り、京急グループの「稼ぐ力」のさらなる向上との両輪で、企業体質の強化、財務体質の健全化に取り組みます。



すべてはお客さまのために

- 1 常にお客さまの声を企業経営に取り込む仕組みを確立し、お客さま満足度の向上に努めます。
- 2 お客さま志向の徹底に向けた人材育成と人事制度の改革に取り組みます。
- 3 マーケティング力、プランニング力を向上させ、ワンランク上のサービス・商品の提供を目指します。
- 4 グループ各事業の連携により、お客さまに提供する価値の向上と事業機会の拡大を図り、京急ブランドを浸透させていきます。



交通事業

- 鉄道事業
- 乗合・貸切自動車事業 (バス事業)
- タクシー事業

鉄道事業

都心から川崎・横浜・横須賀を経て三浦半島に至る本線、空港線、大師線、逗子線、久里浜線の5路線を運営。通勤・通学の足として暮らしを支えています。一方で、羽田空港の航空需要の増大にあわせ、羽田空港アクセスを強化。安全・安定した輸送サービスを通じ、沿線地域の発展に貢献しています。

都心へ通勤するお客さまの快適性を向上

「モーニング・ウイング号」と「ウイング号」

朝の通勤時間帯に三浦海岸駅・横須賀中央駅・金沢文庫駅・上大岡駅から品川駅・泉岳寺駅まで座ってご乗車できる「モーニング・ウイング号」を運行しています。平日のみ1日2本の運行で、上大岡～品川駅間はノンストップ。三浦・横須賀方面から都心への通勤に京急線を快適に利用していただくことができます。2017年11月分より、「Wing Pass」、「Wing Ticket」とも座席発売数を増加 (横須賀中央駅、金沢文庫駅、上大岡駅) し、より多くのお客さまに利用していただけるようになりました。平日夕方・夜の通勤時間帯に品川～上大岡駅間をノンストップで運行し、上大岡駅以南は快特停車駅に停車する電車が「ウイング号」です。現在は18:45～23:00の間で計11本を運行し、ラッシュ緩和に向けたサービスを拡充しています。

座席指定券購入サイト「KQuick」

WEB (スマートフォン、PC) で、「モーニング・ウイング号」と「ウイング号」の「Wing Ticket」および「モーニング・ウイング号」の「Wing Pass」をいつでもどこでも購入することができます。発売機に並ぶことなく、QRコードを係員にご提示いただくことでスムーズに乗車が可能です。窓側・通路側・補助席や号車など希望条件の選択も可能です。購入には会員登録 (無料) が必要です。



「モーニング・ウイング号」と「ウイング号」座席情報画面

特急列車などの混雑を緩和する「KQスタんぼ」アプリを配信

2019年7月1日からサービスを開始した「KQスタんぼ」は、平日朝の通勤ラッシュ時間帯における、快特や特急列車の混雑緩和を目的としたアプリです。平日7:30～9:00の間に、上り平和島～品川駅間において、比較的混雑度合いが低い普通列車へご乗車された京急プレミアポイントカードをお持ちのお客さまにポイントを付与し、普通列車への乗車を推奨することで混雑緩和を図ります。非可聴音をアプリに認識させることでポイント付与する日本初の仕組みで、普通列車走行中に車掌がタブレットを操作すると、自動車内放送の際に、人間の耳ではほぼ聞き取れない非可聴音も同時に放送。乗車中のお客さまが「KQスタんぼ」アプリを操作することで京急プレミアポイントが付与されます。



連続立体交差事業

■大師線連続立体交差事業

川崎市の都市計画事業である大師線連続立体交差事業のうち、段階的整備区間として、東門前駅付近～小島新田駅付近の約980mを、2019年3月3日に地下へ切替えました。これにより、4か所あった踏切道のうち産業道路第1踏切道（東京大師横浜線）を含む3か所が除却され、踏切事故の解消や、道路交通の円滑化が図られました。さらに、廃止された東門前第2踏切道については、川崎市により跨線人道橋が整備されました。また、新たに地下駅となった産業道路駅では、お客さまに安心してご利用いただけるよう、火災対策設備などの安全対策を実施しました。2019年度は、産業道路駅の地上部で駅舎工事などの整備工事を進めています。



クレーンによる切替え作業



産業道路駅地下切替え後上り1番列車

■品川駅付近連続立体交差事業

泉岳寺～新馬場駅間においては、品川第1踏切道（八ツ山通り）をはじめとする計3か所の踏切道が存在し、踏切事故や交通渋滞の要因となっています。そのため、東京都の都市計画事業として同区間を高架化し、3か所の踏切道を除却いたします。また、品川駅の地平化および2面4線化を図り、現状の複雑な乗換動線の解消や移動距離の短縮など、わかりやすく利便性の高い駅へと再編します。都市計画の手続きとして、2018年12月に同区間の連続立体交差事業に関する都市計画決定がなされました。2019年度は、詳細設計を実施するとともに、早期事業着手に向けて事業主体である東京都と各種手続きを進めています。

連続立体交差事業区間 約1.7km



凡例	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道（現況） 鉄道（事業区間） 保守用斜路 区境 都市計画道路（事業中・完了） 都市計画道路（計画）
----	---

安全・安心への取り組み

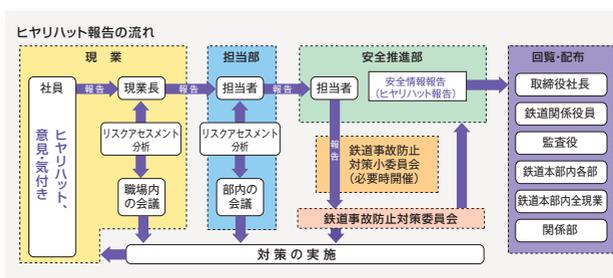
■2019年度 鉄道本部 安全重点施策

『誇り高き鉄道員として責任を自覚し、積極的な行動によって安全・安定輸送を継続する』

具体的な目標	取組計画
<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道運転事故 有責事故0件 ● 輸送障害 内部要因0件（外部要因も減少）の継続 ● インシデント 0件の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ① コンプライアンス意識を確実に浸透させる取り組みとその効果の確認 ② 基本動作の理念を理解し、応用力を磨く取り組み ③ 自然災害、事故・トラブル等の事象分析による、潜在リスクを予知する取り組み ④ 意識・知識・技術の継承と教育訓練のPDCAサイクルの推進 ⑤ 強靱なインフラを目指し、設備・施設を早期に充実させる取り組み

■ヒヤリハット・事故情報などの収集・活用

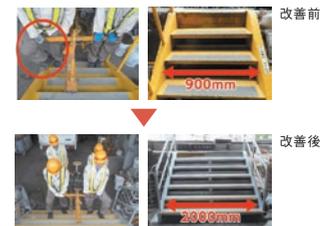
「ヒヤリハット」や安全に関する「意見・気付き」など、輸送の安全にかかわる情報については、体系的に集約・活用する体制を整備しています。また、ヒヤリハット報告については、リスクアセスメント分析を実施しています。



■2018年度のヒヤリハット情報による改善例

昇降階段の拡幅

川崎保線区 川崎保線班において、夜間作業で使用する機材（レール削正機）を倉庫から線路内へ4名で運搬中、昇降階段が狭く足を踏み外し転倒する危険がありました。そのため、階段の幅を広くする改修を行い、危険性を解消しました。



■安全への設備投資（2019年度計画）

	2019年度計画	2018年度設備投資実績
総額	約271億円	約248億円
① 安全関係設備投資額	約229億円	約224億円
(1) ホームドア設置工事	約 38億円	約 10億円
(2) 新造車両と車両更新	約 35億円	約 69億円
(3) 駅改良工事（耐震補強含む）	約 28億円	約 48億円
(4) 防災・地震対策	約 18億円	約 23億円
(5) 連続立体交差化工事	約 22億円	約 5億円
(6) 変電所・電気保安設備などの電気施設の更新・改良	約 31億円	約 32億円
(7) 工場、検車庫の改良・改修ほか	約 57億円	約 37億円
② その他	約 42億円	約 24億円

■車両の安全対策

毎年度、継続的に車両の新造を進めており、2018年度は42両、2019年度は14両を新造し、あわせて車両の更新も行います。

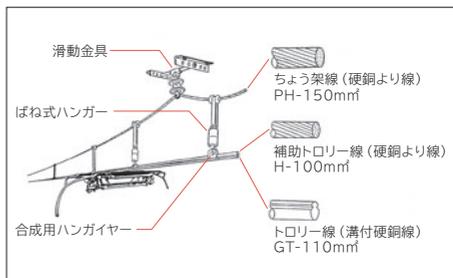
※2019年度計画 ●新造/新1000形ステンレス車：14両（6両編成×1本、8両編成×1本）
●更新/新1000形アルミ車：8両



新1000形

■鉄道の要でもある電車線

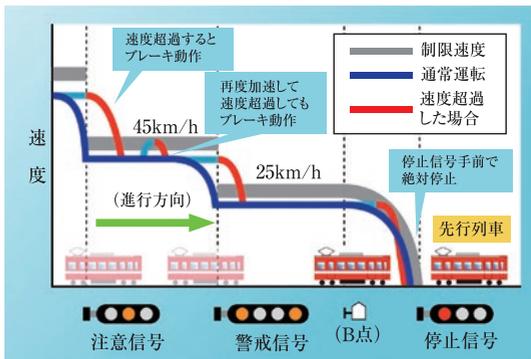
電車に電気を送る電車線の架設方法は、京急電鉄独特の合成電車線と、シンプルカテナリーの2種を採用していますが、今後は、切れにくく、より安全性の高い合成電車線化を全線で推進していきます。また、列車を走行させながら鉄柱間の径間、電車線の高さ・偏位・太さを測定できる営業車搭載型架線検測装置を導入し、保守作業の効率化を図っています。



■高機能ATSの導入

①C-ATSの導入

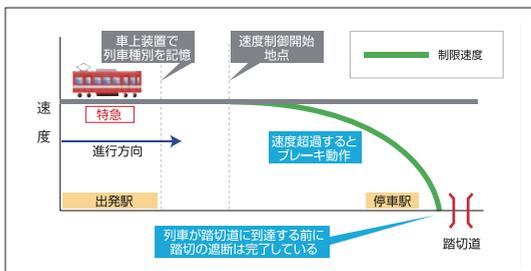
ATS（自動列車停止装置）は、運転士が誤って停止信号を現示する区間に進入しないように、停止信号の手前に自動的に列車などを停止させるバックアップ装置です。1968年から導入した1号型ATSを更新し、2009年から運用を開始した高機能ATS（C-ATS）は、高い信頼性と安全性が実証され、新幹線でも採用されている伝送方式を採用。それぞれの信号区間の制限速度にあわせてより細かい速度照査（スピードチェック）が可能になったほか、信号区間内を連続的に制御することができます。また、急曲線区間や分岐区間（ポイント）、線路終端部などでの速度制限にも対応し、保安度がさらに向上しました。



C-ATSの動作概要

②踏切道防護システムの導入

2012年6月、C-ATSの機能向上による「踏切道防護システム」の全線整備が完了いたしました。このシステムは、駅に停車すべき列車が誤って駅を通過した場合に、踏切道手前までに列車を停止させるか、踏切道に到達する前に踏切遮断機の遮断が完了するように列車を制御し、踏切道におけるさらなる安全性を向上したものです。

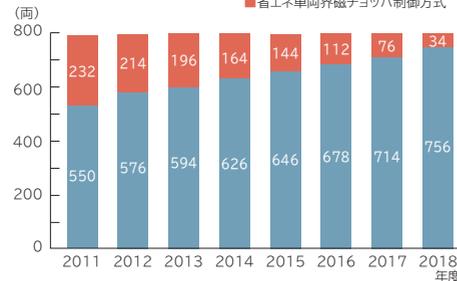


「踏切道防護システム」の動作概要

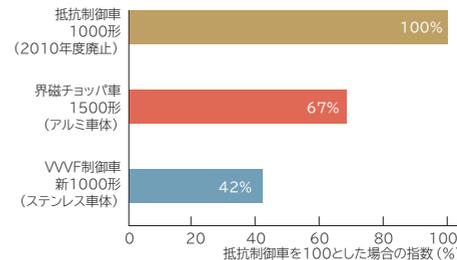
■リサイクル可能な省エネルギー車両を導入

電車の制動時に発生する電力を架線に戻し、ほかの電車の動力源として有効活用できる「電力回生ブレーキ」を備えた「界磁チョップ制御方式」を1978年度から採用。1990年度からは、さらに電力回生効率を高めた「VVVF制御方式」を採用しています。なお、2010年度に従来型の抵抗制御車両が廃止となり、全車両が「電力回生ブレーキ」を備えた省エネ車両となりました。電力量の削減効果は、約30%におよんでいます。また、1987年度以降「アルミ合金製」車体、2006年度以降「ステンレス製」車体の車両を採用し、従来車に比べ約15%の軽量化を達成しています。

省エネ車両導入の推移



車種による運転用エネルギーの違い



■環境を守るさまざまな設備

公共交通機関として欠かせない鉄道は、航空機、乗用車など数ある輸送機関のなかでもとりわけエネルギー効率の良さで注目されていますが、電車の運転本数の増加や、駅にエスカレーターやエレベーターを設置することに伴い、必要とする電力は年々増加しています。そこで、電力使用量を抑制するため、省エネ車両の導入、車両の軽量化および電力の再利用に取り組んできました。この省エネ車両の列車がブレーキをかけるときに発生する電力（回生電力）をフライホイールに機械的エネルギーの形で蓄勢し、必要なときに電力に変換して電車線に戻す「フライホイール式電車線電力蓄勢装置」や、回生電力を直流から交流に変換し、駅の高圧配電設備に供給する「電力回生インバータ装置」を設置し、電力の有効活用を図り、電力使用量の抑制に努めています。また、電力の安定供給を図るため、変電所の新設や高性能機器への更新を行ってきました。なお、現在20か所ある変電所は、すべて総合司令所施設司令が遠隔制御しています。

フライホイール式電車線電力蓄勢装置

1981年に瀬戸変電所に試験的に設置。その実績をふまえ、1988年8月に逗子線神武寺～新逗子駅間に逗子フライホイールポストを新設。2018年は、この装置により逗子線内で使用されている電力の約17.2%を再生利用しています。



フライホイール式電車線電力蓄勢装置

電力回生インバータ装置

1998年5月にフライホイール式電車線電力蓄勢装置と同じ目的で羽田変電所に導入しました。

代替フロンの使用削減

変電所の整流装置の冷媒は、オゾン層破壊係数と地球温暖化係数がゼロとなる、純水ヒートパイプ自冷式を採用しています。

■ 駅の安全対策の実施

① 足下灯の設置

ホームと車両の隙間が空いている駅においては、従来からの足元を照らす照明をつけておりますが、より気付きやすく自動点滅式の足下灯（そっかとう）を設置し、注意喚起を行っており、現在17駅に設置しています。

② 非常停止ボタンの設置

ホーム上の「非常停止ボタン」を押すことで、運転士に危険を知らせることができる装置を、京急線全駅に設置し、事故の防止を図っています。



■ 駅ホームの改良工事でより安全快適に

ホームの安全性と利便性をより高める工事を推進しています。2016年度からホームの横断勾配を緩和する工事を進めており、2018年度は生麦駅、弘明寺駅、杉田駅での工事を完了しています。2019年度以降も引き続き工事を進めていきます。



杉田駅ホーム

■ ホームドアの設置

駅ホームにおけるさらなる安全性の強化を図るため、ホームドアの整備を進めています。2020年度までに、京急蒲田駅、京急川崎駅、横浜駅、上大岡駅、羽田空港国内線ターミナル駅の5駅にホームドアを設置します。



羽田空港国際線ターミナル駅に設置しているホームドア

■ 踏切道の安全対策

踏切道で緊急事態が発生したときに、列車運転士に知らせるための非常ボタンを京急線全踏切道に設置しており、さらなる視認性向上を目的に、非常ボタンのデザイン変更および看板の取り付けを行いました。夜でもボタンと看板が目立つように反射材料を採用したほか、イラストや英語表記を加え、外国人にもわかりやすい表示にしています。



■ 耐震補強工事

2018年度は新馬場～青物横丁駅間、鮫洲～立会川駅間、弘明寺～上大岡駅間、および京急久里浜～YRP野比駅間の耐震補強工事を実施しました。2019年度以降もさらなる耐震性能の向上のため工事に取り組んでいきます。



京急久里浜～YRP野比駅間

■ トンネル補修工事

2008年度から実施してきた抜本的な対策工事は2018年度で完了しました。2019年度以降は定期検査の結果に基づき管理していきます。



トンネルの補修工事の様子

■ 法面防護工事

法面の安定性を調査する定期検査を実施しており、必要箇所には法面防護工事を行っています。2018年度より追浜駅構内上り線側、横須賀中央～県立大学駅間上り線側の法面防護工事に着工し、2019年度に完了する予定です。



法面防護工事

■ 定期的な検査と整備

新町・金沢・久里浜検車区・品質管理区・機械区・電機区においては、電車を安全に運行するための定期的な車両の検査および快適な車両を提供するための整備を行っています。また、営業線の安定運行を円滑に行うため、総合司令所の運輸司令と連携し、突発的な事態にも素早く対応できるよう、体制を整えています。



車両管理区での点検

■ 線路の点検と保守作業

電車の安全輸送はもちろんのこと、快適な乗り心地を追求することも重要な課題となっています。線路の保守作業は、軌道検測などの保守点検を定期的実施し、軌道の整備をしているほか、深夜の作業の進捗を図るため、大型保線機械を導入し保守作業の効率化を推進しています。



■ 鉄道テロ対策

鉄道テロ対策の一環として、駅係員や警備員などによる列車内、駅構内、鉄道施設などの巡回、点検を行っています。また、ホームから駅事務室への問い合わせや、不審物を発見した際の通報に使用できるインターホンを全駅に設置しているほか、駅構内への防犯カメラの増設も進め、2018年度末時点で830台を設置。また、羽田空港国際線ターミナル駅には、映像からカートや不審物などの不動物体を検出する「放置物探知機能」を一部の防犯カメラに導入しております。さらに、警察・消防に協力をいただき、テロを想定した訓練を行っています。



■ 鉄道事故復旧訓練を実施

毎年秋に、久里浜工場で鉄道事故復旧訓練を実施しています。2018年度は、「地震の影響により、高架区間を走行中の列車が脱線、乗客に負傷者が発生し、線路・電気・通信設備が損傷する」という設定で、見学者を含め約660名が参加して、訓練を行いました。この訓練は、毎年お客さまへの公開を行っており、2018年度は約100名の方に見学していただきました。また、一般見学者の一部希望者および外国の方に、事故想定車両からの避難体験を行っていただきました。



■ 「京急ファミリー鉄道フェスタ」の開催

毎年5月に、普段公開していない京急電鉄久里浜工場を会場として、「京急ファミリー鉄道フェスタ」を開催しています。さまざまなイベントを通して、お客さまに京急電鉄の鉄道事業や、安全・安心への取り組みを知っていただく機会にもなっています。2019年も2万人を超える方にご来場いただきました。



車両の概要

車両一覧

新1000形
(貫通形・1800番台)



新1000形
(ステンレス車)



新1000形
(1200番台)



2007年に京急電鉄初のステンレス車体を採用して登場した車両です。車体にはカラーフィルムで京急の赤い電車のイメージを表現し、先頭部は普通鋼に赤色の塗装をして従来のスタイルを残しています。車内は車端部をロングシートに変更し、側窓を一部開閉可能としました。引き続き、バリアフリー対応をするとともに、乗務員室の背面に非常脱出ハンゴを設置。乗務員室は運転台を高くするなど乗務員の安全性と居住性を向上しました。また、主要機器は国産品を採用し、2012年度新造車からLED照明を採用しています。2015年度新造車1800番台から車体側面に幅広の赤と白色フィルムを採用しています。2017年度新造車1200番台から全面塗装を採用しています。<4両編成14本(56両)、6両編成24本(144両)、8両編成18本(144両)>

- 製造初年/2007年3月 ●定員/119人(先頭車)・130人(中間車) ●自重/33.5t(M2uc, M2sc)・32.5t(M1u, M1s)・32.0t(M1u)・28.5t(M2s)・24.5t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,791.8×3,630mm ●主電動機/155kW(三相誘導電動機)
- 制御装置/VVVF(1C-4M2群制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

新1000形
(アルミ車)



2002年に登場した都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れを考慮した車両です。車内は扉間がバケットタイプのロングシートで、車端部は補助イス付きのクロスシートとなっています。また、2100形と同様に海外製品を採用し、車両性能と居住性の向上を図りつつ、コスト低減も実現しました。さらに、全出入口扉にドア開閉チャイムの設置や冷房装置にオゾン層破壊係数ゼロの近代替冷媒の新規採用など、バリアフリーや環境対策にも貢献しています。2017年度から更新工事を行い、VVVF装置、主電動機の国産化やLED照明を採用するなどのリニューアルを図っています。<4両編成12本(48両)、8両編成9本(72両)>

- 製造初年/2002年2月 ●定員/122人(先頭車)・130人(中間車) ●自重/33.0t(Muc, Msc, Muc1, Msc1)・32.0t(Muc, Msc, M1uc1, Msc1)・31.0t(Mu, Ms, M2)・30.0t(M1u, M1s, M2u, M2s)・27.0t(Tpu, Tps, Tp)・24.0t(T)・23.0t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/190kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-8M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW(近代替冷媒使用)
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

2100形



1998年に2000形の後継車として登場した2扉オールクロスシート車両です。扉間のクロスシートは京急では初めての転換シートです。全出入口扉上部には車内案内表示器を採用し、連結間外観を採用するなど、バリアフリー対策にも配慮しており、主にウィング号、快特に使用しています。VVVF装置、主電動機は海外製品を採用していましたが、機器更新の際に国産品に置換えています。2013年度から更新工事を行い、LED照明を採用するなどのリニューアルを図りました。<8両編成10本(80両)>

- 製造初年/1998年2月 ●定員/111人(先頭車)・120人(中間車) ●自重/33.0t(Muc, Msc)・30.5t(Mu, Ms)・24.5t(T)・26.5t(Tp) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/先頭車:18,170×2,830×3,645mm・中間車:18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/190kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-4M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

600形



1994年に登場した都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れを考慮した車両です。足回りは省エネルギー、省メンテナンスを図ったVVVF制御方式を採用しています。製造当初は、画期的な3扉オールクロスシートを採用しましたが、2005年からは現在の二ーズにあわせ、ドア間の座席をロングシートに改造する工事が実施され、2009年からは更新工事を行い、リニューアルを図りました。<4両編成6本(24両)、8両編成8本(64両)>

- 製造初年/1994年3月 ●定員/118人(先頭車)・128人(中間車) ●自重/34.0t(Muc, Msc)・31.5t・32.5t(Mu, Ms)・23.5t(T)・25.5t(Tp1, Tp2) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/180kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-4M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW ●性能/最高速度130km/h・加速度0.92m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

1500形
(VVVF制御車)



京急電鉄で初めて交流モーターを用いたVVVF制御方式を採用した、省エネルギー、省メンテナンス車両で1990年に登場しました。ブレーキを極力電力回生ブレーキとして一層の省エネルギーを図った新しいブレーキ方式を採用しました。2006年から更新工事を行い、リニューアルを図りました。また、界磁チョップ車からの改造車両も加わり、さらなる省エネルギー化を図っています。<6両編成15本(90両)、8両編成5本(40両)>

- 製造初年/1990年8月 ●定員/124人(先頭車)・134人(中間車) ●自重/32.0t・31.5t(M1c, M2c)・31.5t・31.0t(M1, M2)・24.5t・25.5t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,605mm ●主電動機/120kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-8M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW ●性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

1500形
(界磁チョップ制御車)



第2世代の都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れ車両として、界磁チョップ制御を採用し、1985年に登場しました。1988年からはアルミ合金製車体を採用し軽量化を図りました。2001年から更新工事を行い、リニューアルと同時にバリアフリー化工事も行っています。<4両編成7本(28両)>

- 製造初年/1985年3月 ●定員/125人(先頭車)・134人(中間車) ●自重/35t(鋼製車)・31.5t(先頭M車)・31.0t(中間M車) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,605mm ●主電動機/100kW ●制御装置/電動カム軸制御(界磁チョップ式) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW
- 性能/最高速度120km/h・加速度0.972m/S²・減速度1.11m/S²(常用)

特別塗装車両

KEIKYU BLUE SKY TRAIN



KEIKYU YELLOW HAPPY TRAIN



「KEIKYU BLUE SKY TRAIN」は「羽田空港の空」と「三浦半島の海」をイメージした青い車体。2005年から600形と2100形の2編成で運用されています。「KEIKYU YELLOW HAPPY TRAIN」は幸せをイメージした黄色の車体。「沿線に幸せを運ぶ電車」として、2014年から新1000形1編成が運行しています。

Column

さよなら「だるま」。省エネルギー車両の先駆け800形が引退

昨年3月に惜しまれつつ引退した2000形に続き、2019年6月19日に800形が定期運用から引退しました。800形は、1978年に3両固定編成、4扉車でデビュー。京急電鉄初の右手ワンハンドマスコンや、界磁チョップ制御、電力回生ブレーキを採用するなど、省エネルギー車両の先駆けとなり、1979年に京急として初のローレル賞を受賞しました。丸みのある左右対称の前面形状から、鉄道ファンからは「だるま」の愛称で親しまれ、1986年までに合計132両を製造。2016年には、1編成をデビュー当時の側窓周りを広幅に白く塗り分けたりバリアブル塗装で運行されていました。



※形式毎編成数は2019年6月30日現在

■主要保線機械

名称	用途	台数
モーターカー	ダンプトロリの牽引、他	11
マルチプルタイタンパー	道床のつき固め作業	1
バラストフィニッシャー	道床の締固めおよび砕石などの均し	2
低床トロリ	レール、PCまくら木などの運搬	11
ダンプトロリ	砕石、残土などの運搬	26

名称	用途	台数
遠隔制御車	走行中の遠隔操作	2
軌道検測車	軌間、通り、水準、高低などの検測	1
レール探傷車	レールの超音波探傷	1
レール洗浄	レールの洗浄	1
ホーム離れ、レール断面測定車	ホーム離れ、レール断面の測定	1
レール削正車	レール頭部の削正	1



軌道検測車「EM30D」
軌間、水準、高低、通り、平面性を検測します。



マルチプルタイタンパー「08-16U」
軌道の保守（軌道の高低、通り、水準）をする作業車です。



バラストフィニッシャー「801B」
マルチプルタイタンパー作業後の軌道整備時に活躍します。



モーターカー「105D」
ダンプトロリなどを牽引し、レールや砕石を運搬します。



遠隔制御車「701B」
道床砕石や残土を積載し、低床トロリの端部で活躍します。



レール削正車「RG301」
レール頭部の形状を適切に保つため、レール頭部を削る作業車です。

■土木設備

まくら木の敷設延長	186,065m
道床砂利の敷設延長	157,722m
橋梁	328か所 7,791m
高架橋	163か所 40,899m
こう橋	5か所 21.2m
構内地下道	21か所 101.9m
トンネル	39か所 23,046m
停車場	72か所
踏切道	86か所

- 1.橋梁の内訳
- (1) 河川に架かるもの: 77か所 1,523m
 - (2) 道路に架かるもの: 246か所 3,581m
 - (3) 線路に架かるもの: 3か所 79.8m
 - (4) その他: 9か所 22.8m
- 2.主な橋梁
- 六郷川橋梁 550.6m
- 3.主なトンネル
- (1) 羽田トンネル(六守稲荷~天空橋) 829.251m
 - 羽田第2トンネル(天空橋~羽田空港) 4,441.95m
 - (2) 野比トンネル(京急久里浜~YRP野比) 681.400m
 - (3) 野毛山トンネル(戸部~日ノ出町) 658.624m
 - (4) 汐留トンネル(汐入~横須賀中央) 514.990m

■運転用・付帯用電力使用量推移

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
運転用電力使用量	205	209	202	199	199	196	191
付帯用電力使用量	43	44	44	44	44	44	44
受電電力使用量(運転用+付帯用)	248	253	246	243	243	240	235

(単位:100万kWh)

■在籍車両数 (2019年3月31日現在)

電動客車				電動貨車				総車両数
形式	在籍車両数	形式	在籍車両数	形式	在籍車両数	形式	在籍車両数	
デハ800	6			デト11	1			796
デハ1500	118	サハ1900	40	デト12	1			
デハ600	58	サハ600	30	デト17	2			
デハ2100	40	サハ2100	40	デト18	2			
デハ1000	332	サハ1000	126					
合計	554	合計	236	合計	6			

(単位:両)

■車両数の変遷

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
電動客車	591	585	577	575	572	568	554
附随客車	199	205	213	215	218	222	236

(単位:両)

■鉄道事業の主な資料

■普通運賃・通勤定期運賃主要駅早見表 (2019年10月1日適用)

定期運賃	品川	平和島	京急蒲田	国際線ターミナル	羽田空港ターミナル	国内線ターミナル	京急川崎	小島新田	横浜	上大岡	金沢文庫	金沢八景	新逗子	横須賀中央	浦賀	京急久里浜	三崎口	普通運賃	通勤定期運賃	
																		上段:1Cカード	上段:1か月	
普通運賃																			下段:きっぷ	中段:3か月
																				下段:6か月
品川	6,350	7,090	10,650	11,250	8,510	10,010	11,800	14,210	16,890	17,180	18,910	19,770	21,510	21,790	24,380	24,380				
平和島	157	160	5,130	8,550	9,300	6,720	8,210	10,010	12,720	15,100	15,710	17,470	18,330	19,770	20,340	22,660				
京急蒲田	199	136	14,630	24,380	26,510	19,160	23,400	28,530	36,260	43,040	44,780	49,790	52,250	56,350	57,970	64,590				
羽田空港	292	249	207	42,080	46,180	30,190	40,340	50,870	63,720	78,360	79,920	89,640	94,340	103,630	105,200	119,240				
京急川崎	232	199	157	249	292	292	157	5,960	8,210	10,610	13,310	15,400	16,600	18,040	18,330	20,930				
小島新田	283	242	199	292	292	160	160	10,040	11,250	13,040	15,740	18,130	18,720	20,450	21,310	22,760	23,340	25,930		
横浜	303	283	242	333	364	232	242	28,620	32,070	37,170	44,870	51,680	53,360	58,290	60,740	64,880	66,530	73,910		
上大岡	430	367	314	417	417	283	314	54,230	60,760	70,430	85,010	97,910	101,100	110,440	115,090	122,920	126,050	140,030		
金沢文庫	492	430	430	542	542	367	430	16,990	23,400	30,240	37,940	39,650	43,890	47,310	51,420	52,250	59,660			
金沢八景	576	492	430	542	542	367	430	32,190	44,340	57,300	71,880	75,120	83,160	89,640	97,420	98,990	113,030			
新逗子	650	576	492	626	700	430	492	9,420	12,110	14,800	15,100	16,890	17,750	19,480	19,770	22,370				
横須賀中央	650	576	576	700	700	492	576	26,850	34,520	42,180	43,040	48,140	50,590	55,520	56,350	63,760				
浦賀	796	650	650	773	773	576	650	50,870	65,400	79,920	81,540	91,210	95,850	105,200	106,760	120,800				
京急久里浜	800	730	650	780	850	580	650	7,470	10,310	10,610	12,410	13,310	15,100	15,400	18,040					
三崎口	943	796	796	920	920	723	796	21,290	29,390	30,240	35,370	37,940	43,040	43,890	51,420					
	950	800	800	920	920	730	800	40,340	55,680	57,300	67,020	71,880	81,540	83,160	97,420					

■線別区間距離

線名	区間	区間距離
本線	泉岳寺～浦賀	56.7km
空港線	京急蒲田～羽田空港国内線ターミナル	6.5km
大師線	京急川崎～小島新田	4.5km
逗子線	金沢八景～新逗子	5.9km
久里浜線	堀ノ内～三崎口	13.4km
計		87.0km

■所要時分の目安（日中標準）

2019年3月31日現在
(単位:分)

駅名	京急蒲田	金沢八景	羽田空港国内線ターミナル	羽田空港国際線ターミナル	京急川崎	横須賀中央	上大岡	金沢文庫	横須賀中央	京急久里浜	三浦海岸	三崎口
品川	6	11	14	10	17	26	34	43	53	62	65	
京急蒲田		5	8	2	9	19	26	36	45	55	58	
羽田空港国際線ターミナル				2	12	23	35	47	—	—	—	
羽田空港国内線ターミナル				16	28	39	52	—	—	—	—	
京急川崎					6	15	23	33	42	52	55	
横須賀中央						8	15	25	34	44	47	
上大岡							6	16	25	35	38	
金沢文庫								9	18	28	31	
横須賀中央									8	18	21	
京急久里浜										8	11	
三浦海岸												2

※日中、快特を利用の場合。
 ※羽田空港国内線ターミナル⇄横須賀方面は、✕エアポート急行を利用の場合。
 ※品川⇄羽田空港方面は、✕エアポート快特を利用の場合。

■駅別1日平均乗降人員

2018年度(単位:人)

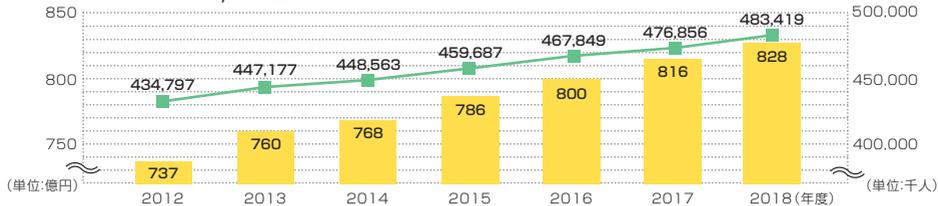
線名	乗降人員			順位	開業日	乗降人員			順位	開業日
	乗降人員	順位	開業日			乗降人員	順位	開業日		
本線	泉岳寺	202,800	—	1968. 6.21	横浜	327,025	1	1930. 2. 5	は快特停車駅	
	品川	288,196	2	1933. 4. 1	戸部	16,337	47	1931.12.26		
	北品川	9,697	59	1904. 5. 8	日ノ出町	28,814	22	1931.12.26		
	新馬場	16,667	44	1976.10.15	黄金町	22,958	28	1930. 4. 1		
	青物横丁	43,633	11	1904. 5. 8	南太田	17,699	42	1930. 4. 1		
	鮫洲	11,234	56	1904. 5. 8	井土ヶ谷	29,347	21	1930. 4. 1		
	立会川	19,554	37	1904. 5. 8	弘明寺	30,115	19	1930. 4. 1		
	大森海岸	16,185	49	1901. 2. 1	上大岡	144,624	3	1930. 4. 1		
	平和島	48,608	10	1901. 2. 1	屏風浦	18,335	40	1930. 4. 1		
	大森町	22,276	31	1952.12.15	杉田	34,511	14	1930. 7.10		
	梅屋敷	16,438	46	1901. 2. 1	京急富岡	22,410	30	1930. 7.10		
	京急蒲田	64,280	8	1901. 2. 1	能見台	30,831	17	1944. 5.10		
	雑色	31,941	16	1901. 2. 1	金沢文庫	70,673	6	1930. 4. 1		
	六郷土手	16,470	45	1901. 2. 1	金沢八景	59,039	9	1930. 4. 1		
	京急川崎	131,920	4	1902. 9. 1	追浜	42,727	13	1930. 4. 1		
	八丁畷	16,036	50	1916.12.25	京急浦田	12,971	52	1930. 4. 1		
	鶴見市場	21,325	33	1905.12.24	安針塚	4,807	72	1934.10. 1		
	京急鶴見	33,460	15	1905.12.24	逸見	5,290	69	1930. 4. 1		
	花月園前	6,953	66	1914. 4.12	汐入	21,514	32	1930. 4. 1		
	生麦	29,882	20	1905.12.24	横須賀中央	67,300	7	1930. 4. 1		
京急新子安	8,596	61	1910. 3.27	県立大学	12,424	53	1930. 4. 1			
子安	7,852	63	1905.12.24	堀ノ内	12,312	54	1931. 4. 1			
神奈川新町	19,682	36	1915. 8.21	京急大津	5,043	70	1930. 4. 1			
仲木戸	23,567	27	1905.12.24	馬場海岸	9,240	60	1930. 4. 1			
神奈川	4,872	71	1930. 3.29	浦賀	20,853	35	1930. 4. 1			

※泉岳寺駅乗降人員は都営線乗り入れ旅客を含むため、順位には入れていません。

全線合計…2,669,217

■年度別旅客収入/輸送人員

(定期外旅客/定期旅客合計)



■運賃のご案内

①運賃の年齢区分

年齢	区分	運賃
12歳以上	大人	大人運賃 ただし、13歳未満の小中学生は小児となります。
6歳以上 12歳未満	小児	小児運賃 大人運賃の半額 ただし、7歳未満で小学校入学前は幼児となります。 ※きっぷの運賃は10円未満切り上げ、ICカードの運賃は1円未満切り捨て
1歳以上 6歳未満	幼児	無料 ただし、乗車券(団体乗車券を除く)をお持ちの大人または小児に同伴される2人までの幼児に限りです。 なお、同伴で3人目からの幼児または幼児だけでご乗車される場合は小児運賃となります。
0歳以上 1歳未満	乳児	無料

②1円単位の運賃となる場合

1枚のICカードを利用して入出場した場合、1円単位の運賃が適用されます。

③10円単位の運賃となる場合

現金・ICカード(SF)を利用して、きっぷを購入する場合や、きっぷ・磁気定期券で入場し、のりこし精算する場合は、10円単位の運賃が適用されます。

■きっぷのご案内

①きっぷの発売

- 片道券 購入当日のみ有効です。都営地下鉄線、京成線、北総線、JR線(品川駅乗り換えと八丁畷駅乗り換えおよび横浜駅乗り換えがあります)、東急線、みなとみらい線、相鉄線、東京モノレール線、東京湾フェリー(金谷港:2日間有効)への連絡乗車券も発売しています。
- 往復券 京急線内の同じ駅間を往復される場合、便利な往復券を発売しています。運賃は片道普通運賃の2倍で、有効期間は購入日から2日間です。
- 回数券 京急線内の同じ区間を繰り返し乗車される場合は、回数券がお得です。運賃は普通運賃の10倍で、有効期間は購入日から3か月です。回数券には次の3種類があります。

- 普通回数券 11枚で、有効期間内ならご利用いただける日時の制限はありません。
 - 時差回数券(オフピークチケット) ※小児用はありません。 12枚で、平日ダイヤ実施日の10時～16時までの間に改札機を入場される場合と、土休日ダイヤ実施日の終日にご利用いただけます。
 - 土休日割引回数券(サンキューチケット) ※小児用はありません。 14枚で、土休日ダイヤ実施日の終日にご利用いただけます。
- ※途中下車はできません。途中で下車すると前途無効として回収いたします。 ※購入駅から有効な区間を発売いたします。

②定期券の発売

- 定期券 同じ区間を長い期間繰り返し利用される場合は、定期券が便利です。定期券の運賃は10円単位の運賃となります。定期券には、次の種類があります。

- 【種類】(1)通勤定期券 (2)通学定期券 【期間】1か月、3か月、6か月
 【発売日】(1)新規にお求めになる場合:有効開始日の14日前から発売いたします。
 (2)継続定期乗車券(日にちがつながる場合):定期券の期限が切れる14日前(使用開始日から起算)から発売いたします。
- ※定期券(磁気式)を紛失された場合は、再発行しません。保管には十分ご注意ください。

●定期券の発売箇所と発売時間

- (1)京急線全駅(泉岳寺駅を除く)の「定期券」表示がある自動券売機 発売時間:始発～終車(一部の駅を除く)
 ※通学定期券を新規に購入する場合や、学年をまたいで継続される場合は、係員にお知らせください。通学証明書を確認させていただきます。
 ※クレジットカード(京急カードのみ)での購入は始発から23時00分までです。
- (2)定期券窓口(発売時間:8時～20時)
 ○品川駅 ○横浜駅 ○上大岡駅 ○横須賀中央駅
 ※払い戻しは、京急線全駅(泉岳寺駅を除く)および上記の定期券窓口で行っています。

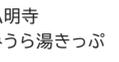
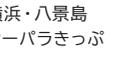
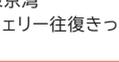
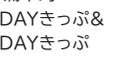
③ 途中下車

片道券、往復券、回数券では途中下車できません。途中の駅で下車されると、前途は無効となり、きっぷは回収させていただきます。

④ おトクなきっぷ

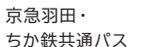
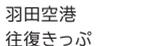
京急線各駅からのきっぷに観光・レジャー施設の優待特典がついたものや、羽田空港アクセスに便利なきっぷなど、さまざまなおトクなきっぷがあります。

●京急沿線を満喫できるおトクなきっぷ

		料金(大人)	発売箇所	有効期間
 <p>みさきまぐろきっぷ</p>	乗車駅から三崎口駅までの京急線往復乗車券と三浦・三崎エリア指定区間の京急バスフリー乗車券、厳選したまぐろ料理が楽しめるまぐろまんがく券とレジャー施設利用またはお土産の引き換えができる三浦・三崎おもひで券がセットになった人気のきっぷです。三浦・三崎をまるごとおトクに楽しめます。	品川駅から 3,570円 横浜駅から 3,480円	京急線各駅 (泉岳寺駅・三崎口駅を除く)	発売当日限り
 <p>よこすか満喫きっぷ</p>	乗車駅から汐入駅または堀ノ内駅までの京急線往復乗車券と京急バス・京急バスの横須賀エリア指定区間のフリー乗車券に、ヨコスカネイビーパーク一、よこすか海軍カレー、三浦半島の地産メニューの中から選べる食べる券に、施設利用またはお土産引き換えができる遊ぶ券がセットになった横須賀を1日満喫できるきっぷです。	品川駅から 3,110円 横浜駅から 3,010円 フリー区間の駅から 2,730円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	発売当日限り
 <p>葉山女子旅きっぷ</p>	乗車駅から新逗子駅までの京急線往復乗車券と逗子・葉山エリア指定区間の京急バスフリー乗車券、選べるごはん券、選べるごほうび券がセットになった、逗子・葉山を1日楽しめるきっぷです。	品川駅から 3,500円 横浜駅から 3,300円	京急線各駅 (泉岳寺駅・新逗子駅を除く)	発売当日限り
 <p>弘明寺みうら湯きっぷ</p>	乗車駅から弘明寺駅までの京急線往復乗車券と黒湯天然温泉を使った日帰り入浴施設「みうら湯」の入浴券がセットになったきっぷです。	品川駅から 1,240円 横浜駅から 950円	京急線各駅 (泉岳寺駅・羽田空港国際線ターミナル駅・羽田空港国内線ターミナル駅・弘明寺駅を除く)	2日
 <p>横浜・八景島シーパラきっぷ</p>	乗車駅から金沢八景駅までの京急線往復乗車券と横浜シーサイドライン1日乗車券、横浜・八景島シーパラダイスのワンデーパスとクーポン券の引換券がセットになったきっぷです。	品川駅から 5,450円 横浜駅から 5,040円	京急線各駅 (泉岳寺駅・羽田空港国際線ターミナル駅・羽田空港国内線ターミナル駅・金沢八景駅を除く)	1日
 <p>東京湾フェリー往復きっぷ</p>	乗車駅から京急久里浜駅・久里浜港までの京急線&京急バスの往復乗車券と、東京湾フェリー往復乗船券がセットになったきっぷです。南房総エリアの周遊に便利です。	品川駅から 2,980円 横浜駅から 2,320円	京急線各駅 (泉岳寺駅・京急久里浜駅を除く)	4日
 <p>三浦半島1DAYきっぷ&2DAYきっぷ</p>	乗車駅から金沢文庫駅までの京急線往復乗車券と、三浦半島の指定エリア内の京急線、京急バスのフリー乗車券がセットになったおトクなきっぷです。優待特典を使って、1日または2日間、たっぷり楽しめます。	1DAY / 2DAY 品川駅から 1,960円 / 2,070円 横浜駅から 1,440円 / 1,660円 フリー区間の駅から 1,110円 / 発売なし	1DAY 京急線各駅 (泉岳寺駅を除く) 2DAY 京急線品川駅～上大岡駅間各駅、空港線、大師線各駅	1日 or 2日
 <p>東京1DAYきっぷ</p>	乗車駅から品川駅までの京急線往復乗車券と都営地下鉄線、都バス(一部を除く)、都電、日暮里・舎人ライナーの1日乗車券がセットになった、東京を満喫できるきっぷです。	品川駅から 900円 横浜駅から 1,140円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	1日
 <p>横浜1DAYきっぷ</p>	乗車駅から横浜駅または上大岡駅までの京急線往復乗車券と、指定区間内の横浜市営地下鉄線・市営バスおよびみとみとみり線が乗り放題のフリー区間1日乗車券のセットで、人気の横浜を自由に散策できるきっぷです。	品川駅から 1,120円 横浜駅から 840円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	1日

※ 2019年10月1日現在

●羽田をもっと便利に使えるおトクなきっぷ

		料金(大人)	発売箇所	有効期間
 <p>京急ANAのマイルきっぷ</p>	全国15空港に設置している自動券売機で発売する京急線羽田空港国内線ターミナル～品川駅または泉岳寺駅までの片道もしくは往復きっぷです。購入時に、ANAカードまたはANAマイレージクラブカードを投入するか、ANAマイレージクラブお客様番号(10桁)を入力すると、ANAのマイルが貯まります。	品川駅/泉岳寺駅 片道 300円/340円 (20マイル付与) 往復 600円/680円 (50マイル付与)	各地空港 (全国15空港)	片道: 発行日当日限り 往復: 発行日から10日
 <p>京急羽田・ちか鉄共通バス</p>	京急線羽田空港国内線ターミナル駅または羽田空港国際線ターミナル～泉岳寺駅の片道乗車券と、都営地下鉄線、東京メトロ全線の1日乗車券がセットになったきっぷです。話題のスポットが目白押しを東京を、リーズナブルに楽しめます。	1,200円	京急線羽田空港国内線ターミナル駅・羽田空港国際線ターミナル駅	1日
 <p>羽田空港往復きっぷ</p>	期間限定で発売する京急線羽田空港国内線ターミナル駅～都営地下鉄線各駅相互間の往復割引きっぷです。旅行や帰省に便利です。 ※発売期間 4/26～5/5、8/1～8/15、12/23～1/6	900円	都営地下鉄各駅(押上駅・目黒駅・白金台駅・白金高輪駅・新宿線新宿駅を除く)および京急線羽田空港国内線ターミナル駅	発売日から9日
 <p>羽田&Tokyo Subway Ticket (24-hour, 48-hour, 72-hour)</p>	羽田空港国内線ターミナル～泉岳寺駅の往復乗車券と都営地下鉄線、東京メトロ全線のフリー乗車券がセットになったきっぷです。使用開始から24時間、48時間、72時間有効の3種類があり、用途に合わせて選べます。	24時間券 1,300円 48時間券 1,700円 72時間券 2,000円	各地空港 (全国15空港)	発売日から9日

※ 2019年10月1日現在

Column

北斗の拳35周年×京急120周年記念 北斗京急周年のキャンペーン 駅名看板を「京急かあまたたた一駅」などに特別装飾

2018年7月30日から9月17日の期間、1983年から1988年まで『週刊少年ジャンプ』に連載され、当時社会現象になるほどの高い人気を誇った『北斗の拳』の35周年と、2018年に創立120周年を迎えた京急電鉄が、双方の周年を記念し、キャンペーンを実施しました。駅名看板を『北斗の拳』仕様で特別装飾したほか、記念乗車券「北斗の券」を発売。また、京急蒲田駅、羽田空港国際線ターミナル駅、小島新田駅、京急川崎駅、上大岡駅、県立大学駅、三浦海岸駅の7駅を北斗七星に見立てて巡る、スタンプラリーきっぷも発売し、好評を博しました。



■ 駅所在地一覧

駅名	郵便番号	所在地
品川駅	108-0074	港区高輪3-26-26
北品川駅	140-0001	品川区北品川1-1-4
新馬場駅	140-0001	品川区北品川2-18-1
青物横丁駅	140-0004	品川区南品川3-1-20
鮫洲駅	140-0011	品川区東大井1-2-20
立会川駅	140-0011	品川区東大井2-23-1
大森海岸駅	140-0013	品川区南大井3-32-1
平和島駅	143-0016	大田区大森北6-13-11
大森町駅	143-0015	大田区大森西3-24-7
梅屋敷駅	144-0052	大田区蒲田2-28-1
京急蒲田駅	144-0052	大田区蒲田4-50-10
雑色駅	144-0055	大田区仲六郷2-42-1
六郷土手駅	144-0055	大田区仲六郷4-27-11
京急川崎駅	210-0006	川崎市川崎区砂子1-3-1
八丁畷駅	210-0022	川崎市川崎区池田1-6-1
鶴見市場駅	230-0025	横浜市鶴見区市場大和町7-1
京急鶴見駅	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央1-30-22
花月園駅 花月維持寺駅(※)	230-0052	横浜市鶴見区生麦5-1-3
生麦駅	230-0052	横浜市鶴見区生麦3-1-35
京急新子安駅	221-0021	横浜市神奈川区子安通3-289
子安駅	221-0021	横浜市神奈川区子安通1-46
神奈川新町駅	221-0041	横浜市神奈川区亀住町19-1
仲木戸駅 京急東神奈川駅(※)	221-0044	横浜市神奈川区東神奈川1-11-5
神奈川駅	221-0057	横浜市神奈川区青木町1-1
横浜駅	220-0011	横浜市西区高島2-16-1
戸部駅	220-0041	横浜市西区戸部本町48-11
日ノ出町駅	231-0066	横浜市中区日ノ出町1-31
黄金町駅	232-0005	横浜市中区白金町1-1
南太田駅	232-0006	横浜市中区南太田1-25-1
井土ヶ谷駅	232-0052	横浜市中区井土ヶ谷中町161
弘明寺駅	232-0067	横浜市中区弘明寺町山下267
上大岡駅	233-0002	横浜市中区上大岡西1-6-1
屏風浦駅	235-0023	横浜市磯子区森3-18-6
杉田駅	235-0033	横浜市磯子区杉田2-1-9
京急富岡駅	236-0052	横浜市金沢区富岡西7-1-1
能見台駅	236-0053	横浜市金沢区能見台通2-1

駅名	郵便番号	所在地
金沢文庫駅	236-0016	横浜市金沢区谷津町384
金沢八景駅	236-0027	横浜市金沢区瀬戸15-1
追浜駅	237-0064	横須賀市追浜町3-3
京急田浦駅	237-0076	横須賀市船越町5-2
安針塚駅	237-0072	横須賀市長浦町2-32
逸見駅	238-0045	横須賀市東逸見町2-18
汐入駅	238-0042	横須賀市汐入町2-41
横須賀中央駅	238-0007	横須賀市若松町2-25
県立大学駅	238-0012	横須賀市安浦町2-28
堀ノ内駅	238-0014	横須賀市三春町3-45
京急大津駅	239-0808	横須賀市大津町1-11-19
馬堀海岸駅	239-0802	横須賀市馬堀町3-20-1
浦賀駅	239-0822	横須賀市浦賀町1-1-1
糞谷駅	144-0034	大田区西糞谷4-13-19
大鳥居駅	144-0034	大田区西糞谷3-37-18
穴守稲荷駅	144-0043	大田区羽田4-6-11
天空橋駅	144-0041	大田区羽田空港1-1-2
羽田空港国際線ターミナル駅 羽田空港第3ターミナル駅(※)	144-0041	大田区羽田空港2-6-5
羽田空港国内線ターミナル駅 羽田空港第1・第2ターミナル駅(※)	144-0041	大田区羽田空港3-3-4
港町駅	210-0807	川崎市川崎区港町1-1
鈴木町駅	210-0801	川崎市川崎区鈴木町2-2
川崎大師駅	210-0802	川崎市川崎区大師駅前1-18-1
東門前駅	210-0818	川崎市川崎区中瀬3-23-10
産業道路駅 大師橋駅(※)	210-0811	川崎市川崎区大師河原2-4-25
小島新田駅	210-0822	川崎市川崎区田町2-13-5
六浦駅	236-0031	横浜市金沢区六浦5-1-1
神武寺駅	249-0003	逗子市池子2-11-2
新逗子駅 逗子・葉山駅(※)	249-0006	逗子市逗子5-1-6
新大津駅	239-0808	横須賀市大津町4-7-1
北久里浜駅	239-0807	横須賀市根岸町2-29-1
京急久里浜駅	239-0831	横須賀市久里浜4-4-10
YRP野比駅	239-0841	横須賀市野比1-9-1
京急長沢駅	239-0842	横須賀市長沢1-35-1
津久井浜駅	239-0843	横須賀市津久井4-2-1
三浦海岸駅	238-0101	三浦市南下浦町上宮田1497
三崎口駅	238-0111	三浦市初声町下宮田495

※ 2020年3月以降の新駅名

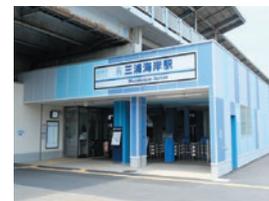
|||| サービスの向上

■ 駅施設の改良

車いす・ベビーカーおよびキャリーバッグなどをご利用のお客さまが利用しやすくなるよう、羽田空港国内線ターミナル駅(改札内・改札外)のエレベーター大型化を実施しました。ほかにも、三浦海岸駅の駅舎改築、北久里浜駅の旅客用トイレ改修、八丁畷駅・鶴見市場駅・日ノ出町駅のホーム上家改修などを実施し、安全で利便性のよい駅施設を整備しています。



羽田空港国内線ターミナル駅のエレベーターを大型化



三浦海岸駅の駅舎改築

■ 駅係員のサービス向上

① 全駅係員がAEDによる普通救命講習を受講

2006年6月から設置を開始したAED(自動体外式除細動器)は、同年11月には全駅設置を完了。現在では、泉岳寺駅を除く全72駅に81台を設置しています。AED導入に際して、京急線全駅の駅係員が普通救命講習を受講し、非常時の使用に備えています。



② サービス介助士の資格取得を推進

お年寄りやおからだの不自由なお客さまが、安心して駅をご利用いただけるよう、サービス介助士の資格取得を推進。また、お客さまからの介助要請や急病人に対して的確に対応できるよう、「普通救命講習」の受講も勧めています。さらに、お客さまが有資格者をひと目で識別できるよう、バッジによる資格取得表示も行っています。



■ 公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスを拡大

訪日外国人向けフリーWi-Fiサービスの導入で、より便利な無料インターネット利用環境を拡大しています。2015年4月には、KDDI系列の「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」に参画、2017年1月には、NTT系列の「KEIKYU FREE Wi-Fi」の提供を開始し、京急線全駅および全車両にて、海外からのお客さまにWi-Fiサービスを提供しています。

■ 京急お忘れものセンター

2016年4月、京急鶴見駅より徒歩2分に「京急お忘れものセンター」を開設しました。これまで沿線の警察署に届け出していた忘れものを、現金・貴重品など、法律で定める物件を除き、すべて京急お忘れものセンターで3か月間(傘は1か月間)保管するようになりました。平日に時間がとれないお客さまにもご利用いただけるよう、土・日・祝日も受付対応しています。



乗合・貸切自動車事業 (バス事業)

バス事業は、京浜急行バス、東洋観光、川崎鶴見臨港バスからなる3社で構成され、主な運行エリアは、東京都内から三浦半島全域です。路線バスのほか、羽田空港、成田空港への空港リムジンバスや、アクアラインバス、全国の主要都市を結ぶ高速バス、貸切バスも運行しています。

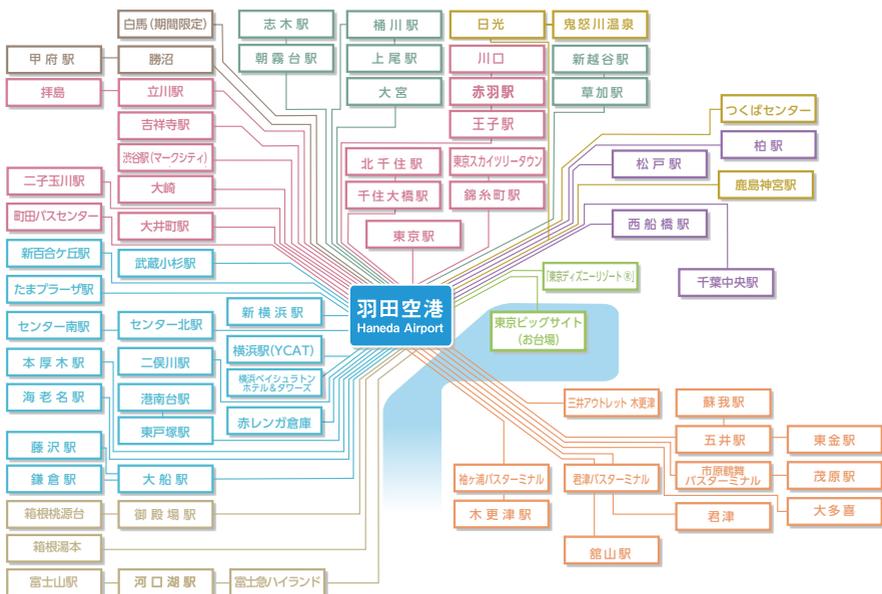
羽田空港直結でますます便利に「空港リムジンバス」

■羽田から各地へ50路線運行

1968年に横浜～羽田空港線の運行を開始した空港リムジンバスは、現在では羽田空港と各地を結ぶ50路線のほか、横浜駅 (YCAT) と成田空港間の運行も行っています。近年は、羽田空港の国際線増便に伴う観光需要増を取り込むため、東京スカイツリー®や富士山、箱根、御殿場、日光など観光地への直通路線も運行しています。2018年9月には東京外環自動車道の開通により利便性が向上した松戸、2019年4月1日には人気スポット、三井アウトレットパーク 木更津への路線を開設しました。車両は、お客さまの手荷物を考慮し、大型のトランクスペースを装備した車両を採用。荷物を気にすることなく、ゆったりとご乗車いただけます。バス車内で利用できるフリーWi-Fiサービスのほか、現在の運行状況が確認できるバスロケーションシステムや多言語およびクレジットカード・交通系ICカード決済に対応した自動券売機の導入、深夜・早朝バスの運行など、より快適・便利にバスをご利用いただくためのサービス向上に取り組んでいます。



■空港リムジンバス



※ 2019年10月1日現在

■国際線旅客増加に伴った取り組み

国際線旅客増加に伴い、バス車内放送や車内表示器の多言語化や、国際線定期便の深夜・早朝時間帯路線の運行など、さまざまな取り組みを行っています。

①車内放送・車内表示器の多言語化

車内放送を英語・中国語・韓国語の各言語で対応しています。また、各言語で行先・到着停留所名などを表示する車内液晶表示器を順次導入しています。

②バス乗り場電光掲示板の多言語化

電光掲示板を多言語化し、英語・中国語 (簡)・韓国語で対応しています。

③案内カウンター

バス乗車券の販売とご案内を中心としたカウンターを設置しています。

④深夜・早朝時間帯の運行

鉄道が運行していない深夜・早朝時間帯に都内各地・横浜エリアなどを結ぶ12路線を運行しています。

⑤多言語版ホームページ

路線や時刻表などの確認ができるホームページも英語・中国語 (簡・繁)・韓国語で対応しています。

詳細はwww.hnd-bus.com

⑥コンビニで予約乗車券の新規予約・発売

ローソン、ミニストップ設置のLoppiにて、予約乗車券の新規予約と同時発売が可能です。

⑦多様な決済手段

窓口・コンビニでの決済のほか、クレジットカード (VISA、MASTER)・ネットバンキング、銀行ATMでの決済にも対応しています。

⑧自動券売機の多機能化

2017年3月から訪日外国人のお客さまがストレスなく利用できるよう自動券売機に多言語タッチパネルを導入し、クレジットカードで乗車券を購入できるようになりました。また、2018年4月からは交通系ICカードも利用できるようになりました。

■車両の概要

空港リムジンバスの主力車両は、収容力を重視した60人乗り観光バスタイプの大型ハイデッカー車を採用しています。路線によっては、トイレ付き車両などを採用し、長時間の移動に備えています。60人乗り大型ハイデッカー車は、床下大型トランクや車内拡大式荷物棚、フリーWi-Fiサービスも備えた充実の車両です。標準的な外装は、ベースの白色に赤色でラインが描かれ、空港リムジンバスの特徴である“KEIKYU LIMOUSINE”のロゴと“カモメ”が鮮やかにペイントされています。



■バリアフリーに対応した空港リムジンバスの導入

京浜急行バスでは2016年3月から車いすに座ったまま乗車いただけるリフト付リムジンバスを導入しています。2019年3月には、エレベーター付空港リムジンバスを導入し、リフト付タイプと共に横浜～羽田空港線で運行を行っています。



アクアラインバス・中距離バス

「東京湾アクアライン」を走行するアクアラインバスは、通勤やレジャー、ショッピングの足として、品川・川崎・横浜から房総各地へのアクセスが便利です。主要駅だけではなく、大型商業施設へ直行する路線もあり、好評いただいております。中距離バスは横浜・川崎・蒲田から東京ディズニーリゾート®や、横浜から八景島シーパラダイスといった人気の観光地の間を運行。大きな荷物を持つの乗り換えがなく、お子さま連れのお客さまにも人気です。

横浜駅・川崎駅・品川路線マップ



※2019年10月1日現在

■深夜急行バス

電車の運行終了後に、新橋駅・品川駅を発車する深夜急行バスは、「大船・鎌倉・逗子」「上大岡・金沢文庫」方面へ直線。お得な運賃でご利用になれます。

||||| 高速バス

東京・横浜と全国各地を充実のネットワークでつなぎます。独立3列シートやリクライニング、車内案内表示器の英語対応などで、お客さまの旅を快適にサポートします。

||||| 一般路線バス

東京台場地区から、蒲田・川崎・横浜・鎌倉、そして三浦半島一帯まで、京急グループの一般路線バスネットワークはきめ細やかに網羅・整備されています。通勤・通学や地域の足としての役割はもちろん、鎌倉・三浦などでは、観光の足としての役割も担い、毎日多くのお客さまにご利用いただいています。



■バスロケーションシステム

携帯電話・スマートフォン・パソコンでバスの現在位置が確認できるバスロケーションシステムを、2017年3月にすべての路線バスに導入しました。また、一部の停留所にバス接近表示器を設置し、利便性とサービスの向上を図ります。



■殿町地区・浮島中央地区への運行

川崎鶴見臨港バスは、国際戦略総合特区に指定された殿町地区の利便性向上のため、京急電鉄と川崎市が整備した京急大師線産業道駅前のバスターミナルから、殿町小島線、浮島中央線の2路線を運行しています。また、2017年8月から川崎駅前～殿町間で運行していた系統をキングスカイフロントまで延伸しました。今後も同地区の開発にあわせ、路線の再編を進めてまいります。

■バリアフリー対応

ご高齢の方・小児・妊婦・障がいのあるお客さまを含めた、すべてのお客さまが快適に安心して利用できるよう、段差のないノンステップバスを中心に、スロープ板やニーリング機能(乗降時に乗降口側の車高を下げて乗り降りしやすくする機能)付のバスを積極的に導入し、バリアフリー化を推進しています。



ノンステップバス



総車両数は、京急急行バス、川崎鶴見臨港バスの総数です。総車両数は、空港・高速・貸切バス車両などを含みます。

■下水高度処理水の有効利用

川崎鶴見臨港バスは、2019年3月19日に入江崎水処理センターで高度処理された水の利用協定を川崎市と締結しました。下水高度処理水をバスの洗車用水などとして有効利用する取り組みにより、地球環境に配慮する循環型社会の構築を目指しています。



■電気バス(川崎スマートEVバス)

川崎鶴見臨港バスでは、国土交通省の推進する「地域交通グリーン化事業」および川崎市の推進する「川崎駅周辺地区スマートコミュニティ事業」の一環として、川崎病院線の一部を電気バス(川崎スマートEVバス)で運行しています。電気バスは従来のディーゼルバスと比較して、40%のCO2を削減することができるなど、環境対策に非常に適しています。また、災害時には、バス車内に取り付けられたコンセントから給電をすることができ、バックアップ電源として使用することが可能です。



||||| 研修施設・設備の充実

■研修・教育センター

京浜急行バスでは、輸送の安全を確保するために、安全に関する教育・訓練計画を実施しています。研修・教育センターでは、専属の教官が新人運転士に対して安全運転に必要な知識・技術の教習を行っています。



研修・教育センター



バス運転シミュレーター

バス運転シミュレーター

2017年に全国で初めて導入したバス運転シミュレーターは事故が起きやすい状況を模擬体験させることにより、運転士の予知予測能力を向上させます。2018年には新たに高速道路での運転に対応したプログラムを導入し、より多くの状況を体験することが可能になりました。

■教習車の導入

2018年5月、川崎鶴見臨港バスでは、乗務員の技術向上を目的に教習車を導入。バス教習車用デジタルタコグラフおよびドライブレコーダー、アイマークレコーダーなどが設置されており、より効果的な教習を行うことができるようになりました。新入社員教習はもちろん、採用実技試験、事故再発防止研修などにも、有効活用しています。



教習生席でのドライブレコーダー、デジタルタコグラフ画面

Column

京浜急行バスマスコットキャラクター「けいまるくん」

2018年10月1日に京浜急行バス運行開始15周年を記念し、マスコットキャラクター「けいまるくん」が登場しました。また、羽田・杉田・衣笠営業所の運行路線にはけいまるくんラッピングバスが運行しています。



||||| 「KEIKYU OPEN TOP BUS 横浜」運行開始

京急電鉄は、2019年4月20日から土休日に横浜・みなとみらい地区の都心臨海部を周遊する2階建てオープントップバス「KEIKYU OPEN TOP BUS 横浜」の運行を開始しました。これは、2017年度に横浜市が「まちを楽しむ多彩な交通」の導入を進めていくことを目的に、民間事業者へ提案企画を公募し、その中で採択された企画の1つです。「パノラマコース（往復コース）」と「きらめきコース（周遊コース）」の2コースがあり、同乗するバスガイドによる観光案内を聞きながら、主要観光スポットや、夜には横浜・みなとみらい地区の美しい夜景をお楽しみいただけます。



*運行は京浜急行バスに委託しています

タクシー事業

タクシー事業は、首都圏と三浦半島全域・鎌倉地区に6社7営業所を構え、事業を展開しています。環境やお客さまのニーズに対して、スピーディに対応するべく、スマートフォン用タクシー配車アプリや交通系電子マネーPASMO決済サービスを導入し、お客さまの日常の足として便利にご利用いただいています。

||||| お客さまの利便性向上を目指して

■お客さまニーズに対応

京急タクシーグループ（京急交通、京急横浜自動車、京急文庫タクシー、京急葉山交通、京急中央交通、京急三崎タクシー）では、京急沿線で常に安全な運行をこころがけ、安全・安心・快適にお客さまを目的地までお届けできるように、さまざまな取り組みを行っています。

①スマートフォン用タクシー配車アプリ「ココきて・TAXI」「スマホ de タックん」

京急交通 品川営業所では、2013年5月からスマートフォン用タクシー配車アプリ「ココきて・TAXI」のサービスを開始しました。また、2015年8月からは新たに「スマホ de タックん」にも参画し、運用を開始しています。これにより、お客さまのニーズにあわせ、より便利で簡単に近くのタクシーを呼ぶことができるようになりました。また、タクシーの予約配車や料金検索など、さまざまなサービスをさらに便利にご利用いただけます。



②決済サービスの向上

京急タクシーグループは、全車両（416台）へ交通系電子マネーPASMO決済サービスを導入しています。また、交通系ICカードの全国相互利用サービス開始に伴い、Suica、Kitaca、TOICA、manaca、ICOCA、はやかけん、nimoca、SUGOCAも電子マネーとしてご利用いただけます。ほかにも、京急プレミアムポイントサービス、クレジットカード決済など、多様なニーズにお応えし、お客さまの利便性の向上に努めています。



■ 空港アクセスを強化

京急タクシーグループでは、東京エリア～横須賀・三浦エリアまで「定額制タクシー」を導入しています。定額制タクシーとは、羽田空港・成田空港ターミナルと目的地を結び2点区間において、あらかじめ明示された定額運賃でタクシーを利用できるサービスです。降車するまで運賃がわからないメーター料金では不安で、タクシー利用を控えられていたお客さまも、運賃を明示する定額制タクシーで、お気軽にご利用いただけます。

2014年12月からは、羽田空港国際線ターミナルを発着する定額制タクシーの利用対象エリアが拡大。横須賀市内全域と三浦市内全域が加わり、東京・川崎・横浜と三浦半島全域をカバーしました。2015年4月からは、国際線だけでなく国内線ターミナルも対象となり、羽田空港へのアクセスが、ますます便利になりました。



横須賀・三浦エリアへも便利な羽田空港発着の定額制タクシー

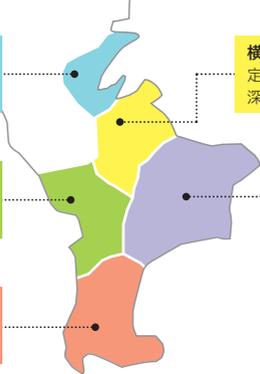
横須賀市 追浜・田浦地区
定額運賃 11,600円
深夜早朝割増運賃 13,700円

横須賀市 逸見・本庁・衣笠地区
定額運賃 14,500円
深夜早朝割増運賃 17,200円

横須賀市 西地区
定額運賃 15,500円
深夜早朝割増運賃 18,400円

横須賀市 大津・浦賀・久里浜・北下浦地区
定額運賃 16,300円
深夜早朝割増運賃 19,300円

三浦市 全域
定額運賃 17,600円
深夜早朝割増運賃 21,000円



その他のエリア (参考)
【東京エリア】江戸川区、台東区、墨田区、文京区、千代田区、新宿区、渋谷区、足立区、葛飾区、荒川区、北区、豊島区、中野区、杉並区、世田谷区、板橋区、練馬区、武蔵野市、三鷹市
【横浜エリア】港北区、神奈川区(金港町、栄町、大野町のみ)、西区、中区、南区、緑区、磯子区、旭区、保土ヶ谷区、都筑区、港南区、戸塚区、金沢区、泉区、青葉区、瀬谷区、栄区
【川崎エリア】宮前区、高津区、多摩区、麻生区
【鎌倉・逗子・葉山エリア】鎌倉市、逗子市、三浦郡葉山町

※ 2019年10月1日現在

■ 観光タクシー (横浜観光・鎌倉観光)

海外のお客さまからも人気の観光地、横浜と鎌倉において、貸切観光や個人旅行の足として便利な「観光タクシー」を導入しています。横浜観光タクシーでは、普通車タクシーで名所を巡る2時間・2時間半・3時間のコースをご用意しています。鎌倉観光タクシーでは、普通車タクシーに加え、9人乗りのジャンボタクシーを配備。2時間と3時間の推奨コースがあり、鎌倉の街を知り尽くしたドライバーが、お客さまの要望に応じて、さまざまな見どころをご案内しています。



不動産事業

- 不動産販売業
- 不動産賃貸業

不動産販売業

京急沿線の宅地造成を行うとともに、戸建住宅・マンションなどの建設から販売・住み替え支援・リフォームなどをトータルに手がけています。

住宅事業の強化

■ 住宅事業ブランド「PRIME」のフラッグシップとなる2物件完成

① 世界ブランドへと進化する品川のシーサイドに住む

京急グループの住宅事業ブランド「PRIME」。そのフラッグシップとなる「プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー&ザ・レジデンス」は、駅前再開発構想やリニア中央新幹線の発着、山手線の新駅開業を控えた品川の未来を享受する、品川シーサイドに誕生しました。「Global Brand Shinagawa」をコンセプトに、進化を続ける都市とシーサイドの潤い、旧東海道品川宿から連なる歴史ある情緒が共存するこの街は、喜びに満ちあふれた新しいライフスタイルを叶えてくれます。



「ザ・タワー」

「ザ・レジデンス」

② 暮らしに潤いを与えてくれる魅力的なエリアに包まれた街



品川シーサイドフォレスト周辺と外観イメージイラスト概念図

りんかい線品川シーサイド駅と、大型商業施設、オフィス、ホテル、緑が心地よく配置された未来型都市空間「品川シーサイドフォレスト」と、旧東海道品川宿の情緒が残る商店街に囲まれた青物横丁駅を生活圏とする「プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー&ザ・レジデンス」。歴史と未来が交錯する街の魅力と、品川駅をはじめとする都市へのアクセス性も享受するエリアに、本プロジェクトは誕生しました。

■プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー

①駅一体複合タワー街区に誕生。全817邸、地上29階建て免震タワーマンション



グランドエントランス

「プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー」は、りんかい線品川シーサイド駅から徒歩3分、青物横丁駅から徒歩9分の立地に誕生しました。品川シーサイド駅とともに開発された駅一体複合タワー街区「品川シーサイドフォレスト」の最終街区に開発され、9,800㎡超の広い敷地には、回遊性に配慮し、人と緑がふれあう憩いの広場やアベニューが配置されています。

②ペDESTリアンデッキで駅前へ。スカイパークなど、タワーならではの共用空間が充実

物件から駅前や商業施設へはペDESTリアンデッキで結ばれ、横断歩道を使わない快適なアプローチを実現しました。

また、建物屋上に設けられた富士山が望める共用スペース「スカイパーク」や、20階にある3つのゲストルーム、1階には「クロスラウンジ」を設置し、出会い・集い・憩う、豊かな交流が育れます。

建物1階にはコンビニエンスストアや認可保育施設があり、日常の利便性にも配慮しています。



①ペDESTリアンデッキおよび外観 ②グランドラウンジ ③クロスラウンジ

■プライムパークス品川シーサイド ザ・レジデンス

6,300㎡超の敷地に、自然の心地よさを追求。光と風と緑に満たされる全335邸

りんかい線品川シーサイド駅から徒歩5分、青物横丁駅から徒歩10分の立地に誕生した「プライムパークス品川シーサイド ザ・レジデンス」。東側にキャンパスを望む開放感と、敷地内に設けられた庭園や並木道の豊かな緑に心安らく、地上15階建て・全335邸のレジデンスです。街の新たな象徴となる緑の広場「ガーデンサークル」、安らぎへといざなう迎賓空間「ガーデンエントランス」から続く豊かな共用空間。パーティールームとキッズルームの機能を兼ね備え、多世代の交流を育む「コミュニティスタジオ」や、庭園風景にもなされるゲストルーム、2階屋外の「デッキラウンジ」など、住まう方に寄り添う空間を実現しています。



①外観 ②ガーデンサークル ③アトリウムロビー

■エリア最大級を誇る全200邸「プライムパークス上大岡 ザ・レジデンス」

①多彩な生活機能が集積する「上大岡」

京急グループが運営する「京急百貨店」や「ウイング上大岡」を筆頭に、スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどの商業施設や、小・中学校や総合病院など、暮らしに欠かせない施設が徒歩圏に揃っています。

②約6,700㎡の敷地のゆとりあふれる大規模開発 住み手目線に立ったこだわりのレジデンス

敷地四方に歩道スペースを設け、空地率約52%に及び、ゆとりある住環境を創造。多忙な方々がいつもスマートに暮らせるよう、全戸玄関前宅配ボックス・食配スペースや使い勝手の良い収納など、利便性にこだわった工夫を随所に散りばめました。



■心地よく暮らせる低層レジデンス「プライム港南台」

①緑豊かな住宅地に誕生する 5階建ての大規模低層レジデンス

駅を中心に都市機能が整い、その周りには豊かな自然と穏やかな住宅地が広がる港南台。住むための街として発展してきたこの街に、全183邸の大規模低層レジデンスが誕生します。緑に調和する落ち着いた外観、コミュニティを育む共用施設、永住のために考え尽くされたプラン。しっかり、ゆったり、心地よく暮らせる、永住志向のレジデンスです。



②生活インフラが揃うJR「港南台」駅からほぼフラットなアプローチ

JR京浜東北・根岸線「港南台」駅からは並木が美しい歩道が整い、ほぼフラットなアプローチで徒歩8分。「港南台タカシマヤ」をはじめとする商業施設で賑わう駅前の便利さと、緑豊かな住宅地が両立した理想的な住環境です。

■目黒川沿いの一棟リノベーションマンション「プライムフィット中目黒」

①プラン・オーダーシステムの採用

都心でもひと際洗練された薫りを纏う街・中目黒。「大好きな街で、自分スタイルの住まいに暮らす」という想いを込めて、リノベーションレジデンスならではのプラン・オーダーシステムを採用しました。また、住空間のテイストも3タイプから選べます。

②一戸単位では実現できない 一棟リノベーションの魅力

各住戸だけではなく、エントランスなどマンション共用部のリノベーション工事を実施しました。なかでも当マンションの立地を最大限に生かした「桜テラス」は、目黒川の桜を間近で楽しむことができる特等席です。



■京急ニューシティ 湘南佐島なぎさの丘

総開発面積約41ha。海拔約25~50mの高台で安心な丘の上の住宅地

三浦半島の西海岸に位置する「京急ニューシティ 湘南佐島なぎさの丘」は、総開発面積約41ha(東京ドーム8.7個分)、計画総戸数667戸の大規模プロジェクトです。相模湾を望むゆとりと格調を備えた南向きの天然ひな壇の台地では、海外の著名な都市のような美しい街並みが形成されています。開放的な雰囲気を保ちつつも、セキュリティ面では24時間365日の常駐警備と監視カメラにより、安心して暮らせる生活環境づくりが行われています。



アメリカ西海岸のように広々とした開放的な街並み

■京急すまいるステーション

快適・最適な住環境をワンストップで提案・提供する情報&相談窓口

「京急すまいるステーション」は、住まいに関するさまざまな悩みを抱えるお客さまの相談窓口とし、お客さまの住まいと暮らしがよりすばらしいものになるために、豊富な知識を持つ専門スタッフが快適・最適な住環境をワンストップで提案・提供する、京急沿線「超」地域密着型の「情報&相談ステーション」です。京急グループをはじめとした、幅広いバックボーンを活かし、売買・賃貸・リフォームから相続まで、お客さま一人ひとりにマッチした情報を提供し、検討プロセスを全面的にサポートします。



京急すまいるステーション 金沢文庫店

■主な分譲マンション一覧

物件名	所在地	交通	戸数	販売開始時期	竣工時期
リヴァリエA棟	神奈川県川崎市川崎区港町	港町駅から徒歩1分	455戸	2011年 7月	2013年 3月
プライム雑色フロントアクシス	東京都大田区東六郷	雑色駅から徒歩2分	62戸	2013年 6月	2014年 3月
リヴァリエB棟	神奈川県川崎市川崎区港町	港町駅から徒歩2分	478戸	2013年 8月	2015年 3月
プライム川崎矢向	神奈川県川崎市幸区塚越	JR矢向駅から徒歩8分	61戸	2014年 12月	2015年 8月
ザ・タワー横須賀中央	神奈川県横須賀市大滝町	横須賀中央駅から徒歩3分	297戸	2014年 3月	2015年 11月
プライム湘南辻堂リーフィアレジデンス	神奈川県茅ヶ崎市赤松町	JR辻堂駅から徒歩10分	61戸	2015年 5月	2016年 1月
プライム横浜屏風浦	神奈川県横浜市磯子区森	屏風浦駅から徒歩1分	75戸	2015年 5月	2016年 3月
リヴァリエC棟	神奈川県川崎市川崎区港町	港町駅から徒歩2分	461戸	2015年 4月	2017年 3月
プライム新杉田	神奈川県横浜市金沢区富岡東	杉田駅から徒歩13分	156戸	2016年 10月	2017年 11月
プライムスタイル東日本橋	東京都中央区東日本橋	東日本橋駅から徒歩1分	73戸	2017年 4月	2018年 3月
プライムパーク品川シーサイド ザ・レジデンス	東京都品川区東大井	品川シーサイド駅から徒歩5分	335戸	2017年 4月	2018年 9月
プライムパーク品川シーサイド ザ・タワー	東京都品川区東品川	品川シーサイド駅から徒歩3分	817戸	2017年 4月	2019年 1月
プライムフィット中目黒	東京都目黒区中目黒	中目黒駅から徒歩11分	41戸	2018年 9月	2019年 3月
プライム港南台	神奈川県横浜市港南区日野南	港南台駅から徒歩8分	183戸	2018年 12月	2019年 11月

■主な地域開発事業一覧

物件名	所在地	交通	戸数	販売開始時期
京急ニュータウン金沢能見台	神奈川県横浜市金沢区能見台	金沢文庫駅から徒歩6分ほか	戸建用地2,200区画、マンション2,800戸	1983年 5月
京急ニュータウン富岡9期	神奈川県横浜市金沢区富岡西	京急富岡駅から徒歩16分ほか	戸建用地278区画、マンション120戸	1993年 1月
京急ニュータウン富岡10期	神奈川県横浜市金沢区富岡西	能見台駅から徒歩9分ほか	戸建用地331区画ほか	1991年 9月
京急ニュータウンマリンヒル横須賀野比	神奈川県横須賀市長沢	YRP野比駅から徒歩1分ほか	戸建用地77区画	1989年 12月
京急ニュータウン野比海岸	神奈川県横須賀市野比	YRP野比駅から徒歩12分	戸建用地160区画、マンション410戸	1998年 4月
京急ニューシティ湘南大津の丘	神奈川県横須賀市池田町	新大津駅から徒歩10分、京急大津駅から徒歩7分ほか	戸建用地181区画	2002年 12月
京急ニューシティ湘南佐島なぎさの丘	神奈川県横須賀市佐島の丘	新逗子駅から徒歩27分、シャトルバス27分	戸建用地等、総計画戸数667戸	2007年 1月
パームヒルズ京急富岡	神奈川県横浜市磯子区杉田	京急富岡駅から徒歩19分、バス7分下車徒歩1分	戸建用地191区画	2011年 4月

■主な京急グループ分譲実績



- 分譲マンション
- 戸建・宅地
- 京急線
- バス(主要路線)

他数の企業・団体が進出する国内最大規模の研究開発拠点

■YRP (横須賀リサーチパーク)

YRPは無線・移動体通信技術を中心とした情報通信技術 (ICT) の国内最大規模の研究開発拠点として発展してきました。現在も、(株)NTTドコモをはじめ、大手情報通信関連企業、国の研究機関、大学などが多数集積し、研究開発活動が行われています。また、その一方で、新たな分野・業種の誘致にも力を入れています。

YRP概要

- 開業：1997年10月
- 所在地：神奈川県横須賀市光の丘
- 面積：58.8ha
- 施設計画：研究開発施設、居住施設、商業サービス施設など

YRP内賃貸ビル一覧

YRPセンター2番館	
延床面積	7,572㎡ (2,290坪)
賃貸面積	2,890㎡ (874坪)
構造・規模	鉄骨造7階建
施設内容	研究開発室、ATM

YRP3番館	
延床面積	6,768㎡ (2,047坪)
賃貸面積	4,829㎡ (1,460坪)
構造・規模	鉄骨造5階建
施設内容	研究開発室

YRPベンチャー棟	
延床面積	4,051㎡ (1,225坪)
賃貸面積	2,568㎡ (776坪)
構造・規模	鉄骨造4階建
施設内容	研究開発室

YRP5番館	
延床面積	20,305㎡ (6,142坪)
賃貸面積	14,832㎡ (4,487坪)
構造・規模	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造10階建
施設内容	研究開発室

主な進出企業	
国立研究開発法人 情報通信研究機構	(株)NTTドコモ
矢崎総業(株)	日本電気(株)
(株)アルファシステムズ	(一財)テレコムエンジニアリングセンター
(株)ニフコ	日本エア・リキード(株)

この他企業・大学など他数が進出



YRP全景

<主な生活支援施設>

ローステリア	食堂・カフェレストラン (全200席)
京急EXイン	宿泊施設 (シングル60室・ツイン6室・ユニバーサル1室)
ハイム光の丘	寮 (全149室)

Column

YRPに根ざして成長する起業家を支援

電波・情報通信・ICT技術など、最先端の研究・開発機関が集積し、近年ではエネルギーや自動車部品など多種多様な分野の企業も進出しているYRP (横須賀リサーチパーク)。横須賀市と京急電鉄は、2019年度より、YRPにおいて創業を目指す企業および個人を中心に、補助金交付や低額での施設賃貸などの支援を行っています。これらの支援施策によって、横須賀市におけるオープンイノベーションを促進し、地域の活性化を目指していきます。



YRPベンチャー棟



YRPセンター

不動産賃貸業

長期安定収益の確保と、所有地や遊休地のスペースの有効活用を目指す不動産賃貸業は、商業・オフィス・賃貸ビルの建設や駐車場設置などを積極的に展開しています。マーケットに対応した既存テナントの見直しや、建物・設備の定期的なリニューアルも実施。顧客満足度の高い施設の維持を目指しています。

鉄道高架下スペースの積極的な活用

■京急蒲田駅周辺高架下開発

京急蒲田駅付近連続立体交差事業による、京急蒲田駅周辺の高架化に伴い、連続的な高架下スペースの活用が可能となりました。2015年に開業した京急蒲田駅直結の商業施設「ウィングキッチン京急蒲田」を皮切りに、駅間を含めた全事業区間における高架下の開発を進めてまいります。



ウィングキッチン
京急蒲田



開発計画区間

大森町・梅屋敷駅間高架下開発

高度な技術を持つものづくり企業が集結する大田区の地域特性を生かし、「ものづくり」をコンセプトとした複合施設「梅森プラットフォーム」を2019年4月1日に開業いたしました。当施設は、町工場を受け入れる工場施設、イベントスペースやシェア工房機能を有したコワーキング施設、駅利用者や周辺住民の憩いの場となる飲食店舗などから構成されています。このコワーキング施設は、東京都が定める「インキュベーション施設運営計画認定施設」に選定されており、利用者は、当施設の設備を利用できるだけではなく技術や経営相談などのソフト支援も活用することができます。今後も引き続き、地域特性を生かした施設整備を図ることで、高架下を起点とした地域活力の向上と地域が目指すまちづくりへの貢献をしていきます。



梅森プラットフォーム



コワーキング施設内シェア工房

■黄金町・日ノ出町エリア高架下開発

黄金町・日ノ出町エリアでは、高架下に文化芸術スタジオの連続的な整備を行うなど、「アートによるまちの再生」を目指し、地域住民・行政・警察と連携したまちづくりを推進してきました。アーティストの滞在制作やショップが注目を集めるとともに、地元・NPOが毎年開催するアートフェスティバル「黄金町バザール」が定着するなど、多くの人々が訪れるエリアに変わりました。2018年には、大岡川桜橋付近の高架下に、タイヤ付の移動可能な「タイニーハウス(ちいさな家)」を活用した Hostel、カフェラウンジ、水上アクティビティ拠点から構成された複合施設「Tinys Yokohama Hinodecho(タイニーズ横浜日ノ出町)」を開業しました。このほかにも、「日常的な賑わいや交流」の創出に向け、飲食施設「日ノ出町フードホール」が計画されています。今後も引き続きまちに関わる方との連携を大切に、「賑わいに溢れるアートのまち」をキーワードに高架下を中心にエリアの活性化に取り組んでまいります。



黄金町スタジオ



Tinys Yokohama Hinodecho(タイニーズ横浜日ノ出町)

|||| 品川駅から徒歩3分の好立地、利便性の高い複合施設

■SHINAGAWA GOOS(シナガワ グース)

宿泊特化型ホテル「京急EXホテル 品川」を中心に、レストラン・ショップ・カンファレンス・ウェディングなど、さまざまなテナントが集積する複合施設「SHINAGAWA GOOS」。品川駅高輪口から徒歩3分、同駅から羽田空港国際線ターミナル駅まで11分というアクセスの良さと、滝や池のある日本庭園をはじめ豊かな緑環境を兼ね備えていることから、宿泊や食事など、国内外の幅広いお客さまに利用していただける、品川の顔ともいえる人気の施設です。

京急EXホテル 品川

SHINAGAWA GOOSの中心となる宿泊施設を、京急イーエックスインがビジネスホテルとして運営しています。「安全」、「安心」、「感動」をテーマにビジネスホテルを超えるワンランク上の快適性に、広い客室と抜群の立地が魅力のホテルです。



ゆったりくつろげる客室

■賃貸ビル一覧

物件名	所在地	開業	交通
京急第1ビル	港区高輪4-10-18	1983年11月30日	品川駅前
京急第2ビル	港区高輪3-25-23	1974年6月1日	品川駅から徒歩3分
京急第3ビル	港区高輪2-21-28	1981年4月1日	泉岳寺駅から徒歩3分
京急第5ビル	港区高輪3-25-20	1981年2月4日	品川駅から徒歩2分
京急第6ビル	港区高輪3-24-19	1986年12月1日	品川駅から徒歩5分
京急第7ビル	港区高輪4-10-8	1989年4月1日	品川駅から徒歩2分
京急第10ビル	港区高輪3-26-33	2012年9月28日(仮開)	品川駅前
高輪エンパイアビル	港区高輪3-24-18	2017年6月30日(仮開)	品川駅から徒歩5分
高輪泉岳寺駅前ビル	港区高輪2-18-10	2017年10月31日(仮開)	泉岳寺駅から徒歩1分
芝パークビル	港区芝公園2-4-1	2018年3月20日(仮開)	都営地下鉄大門駅から徒歩3分
第2林ビル	品川区北品川1-8-20	2017年6月30日	北品川駅から徒歩5分
青物横丁京急ビル	品川区南品川3-1-20	2002年2月1日	青物横丁駅隣接
大島居第1京急ビル	大田区羽田1-1-3	2002年11月28日	大島居駅隣接
大島居第2京急ビル	大田区羽田1-1-7	2003年5月20日	大島居駅から徒歩1分
川崎第1京急ビル	川崎市川崎区駅前本町21-2他	1971年9月23日	京急川崎駅前
川崎第3京急ビル	川崎市川崎区駅前本町21-12	2000年3月15日	京急川崎駅前
京急川崎駅前ビル	川崎市川崎区砂子1-3-1	2016年4月27日	京急川崎駅隣接
八丁畷京急ビル	川崎市川崎区池田1-6-3	2009年5月11日	八丁畷駅前
新町第1京急ビル	横浜市神奈川区新町21-8	2014年4月2日(一部3月14日)	神奈川新町駅から徒歩1分

物件名	所在地	開業	交通
新町第2京急ビル	横浜市神奈川区新町12-1	2014年4月25日(一部3月14日)	神奈川新町駅から徒歩1分
横浜イーストスクエア	横浜市神奈川区金港町1-4	2008年5月7日	横浜駅から徒歩3分
TSプラザビル	横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2	2017年9月15日(仮開)	横浜駅から徒歩5分
元町京急ビル	横浜市中区元町4-166	2011年8月5日	JR石川町駅から徒歩5分 みどり線元町中華街駅から徒歩5分
上永谷京急ビル	横浜市港南区丸山台1-12-40	1982年11月26日	横浜市営地下鉄上永谷駅から徒歩1分
上大岡京急ビル	横浜市港南区上大岡西1-6-1	商業棟、中央棟の一部 1994年10月1日 再開発事業竣工 1997年3月14日	上大岡駅直結
ルミネウィング	鎌倉市大船1-4-1	1992年9月18日	JR大船駅隣接
能見台商業施設	横浜市金沢区能見台3-1-1	1986年4月17日	能見台駅からバス約12分
金沢文庫第1京急ビル	横浜市金沢区谷津町384	1980年11月25日	金沢文庫駅から徒歩1分
金沢文庫第2京急ビル	横浜市金沢区谷津町327外	2004年12月28日	金沢文庫駅から徒歩1分
金沢八景第1京急ビル	横浜市金沢区泥亀2-13-1	1972年7月1日	金沢八景駅から徒歩10分
金沢八景第2京急ビル	横浜市金沢区泥亀1-25	1968年10月1日	金沢八景駅から徒歩10分
新逗子第1京急ビル	逗子市逗子5-1-6	1991年3月15日	新逗子駅隣接
新逗子第2京急ビル	逗子市逗子2-6-34	2004年6月21日	JR逗子駅から徒歩3分
鎌倉御成町京急ビル	鎌倉市御成町11-35	1982年5月13日	JR鎌倉駅から徒歩1分
鎌倉小町京急ビル	鎌倉市小町1-4-26	1981年4月1日	JR鎌倉駅から徒歩1分
久里浜京急ビル	横浜須賀川久里浜4-4-10	1987年4月25日	京急久里浜駅隣接

Column

賃貸オフィスビル事業の強化

賃貸事業を新たな収益基盤柱へと成長させるため、積極的な物件取得を推進しています。品川駅高輪口から泉岳寺方面にかけて9棟の賃貸ビルを展開しているほか、2017年9月には横浜駅西口地区の「TSプラザビル」の信託受益権の一部を取得し、横浜地区においても事業強化を図っています。



■時間貸・月極駐車場一覧

※2019年3月31日現在

駐車場名	「駐車場」は省略	所在地	区分	区画数
京急高輪第2		港区高輪3-301-3	月極(一括)	6
Kパーキング 京急第10ビル時間貸		港区高輪3-26-33	時間貸	58
Kパーキング ハツ山時間貸		品川区北品川11-2	時間貸	5
京急北品川/バイク		品川区北品川12-1	月極	12/6
Kパーキング 北品川時間貸		品川区北品川12-1	時間貸	12
京急北品川第2		品川区北品川11-27	月極	11
京急北品川第3		品川区北品川11-25	月極(一括)	15
京急南馬場		品川区南品川12-1	月極	12
京急城南		品川区南品川12-2	月極	66
京急青横		品川区南品川12-3	月極	26
タイムズ京急青物横丁		品川区南品川13-1	月極(一括)	41
京急洲川/バイク		品川区東大井1-22	月極	5/17
京急浜川		品川区東大井2-2	月極	10
京急東大井/バイク		品川区東大井2-11	月極	10/7
京急鮫浜		品川区東大井2-13	月極	25
京急立会川		品川区東大井2-13	月極	10
京急立会川第2/バイク		品川区東大井2-21	月極	42/2
Kパーキング 立会川駅前時間貸		品川区東大井2-21	時間貸	20
京急南大井/バイク		品川区南大井1-13	月極	34/2
京急道路公園前		品川区南大井1-21	月極(一括)	15
Kパーキング 道路公園前時間貸		品川区南大井1-21	時間貸	3
京急鈴ヶ森		品川区南大井3-32	月極	54
京急鈴ヶ森第2		品川区南大井3-3	月極	38
京急平和島第3		品川区南大井3-10	月極	44
京急平和島第2A		大田区大森北2-17	月極	24
Kパーキング 大森海岸時間貸		大田区大森北2-12	時間貸	19
京急平和島第2B/バイク		大田区大森北2-12	月極(一括)	53/3
京急平和島第2C		大田区大森北3-44	月極	46
Kパーキング 大森北時間貸		大田区大森北3-44	時間貸	16
京急平和島第2D/バイク		大田区大森北3-36-15	月極	41/10
京急平和島第4		大田区大森北6-77	月極(一括)	128
京急平和島第1		大田区大森西2-34-1	月極	42
京急梅屋敷第1		大田区蒲田2-26	月極	15
京急梅屋敷第2		大田区蒲田2-23	月極	5
京急梅屋敷第3/バイク		大田区蒲田3-25	月極	18/10
京急梅屋敷第4		大田区蒲田3-24	月極(一括)	17/8
タイムズ京急蒲田3丁目高架下		大田区蒲田3-23	月極(一括)	69
Kパーキング 京急蒲田西口駐輪場		大田区蒲田4-50-11	時間貸	90
Kパーキング 京急蒲田駅前駐輪場		大田区南蒲田1-12-5	時間貸	213
Kパーキング 京急蒲田駅前時間貸		大田区南蒲田1-12-5	時間貸	18
空港線大田区駐輪場		大田区南蒲田1-12-5	月極(一括)	1,041
京急羽田第1		大田区羽田5-7	月極(一括)	55
京急羽田第2		大田区羽田5-11	月極	58
Kパーキング 羽田・穴守稲荷駅前時間貸		大田区羽田5-11	時間貸	25
京急蒲田第5/バイク		大田区仲六郷1-17-18	月極	16/6
京急蒲田第7		大田区仲六郷1-20-27	月極	6
京急雑色/バイク		大田区仲六郷3-8	月極	10
Kパーキング雑色駅前		大田区仲六郷3-8	時間貸	14

駐車場名	「駐車場」は省略	所在地	区分	区画数
京急雑色第3		大田区仲六郷3-28	月極	31
京急雑色第5		大田区仲六郷4-36	月極	22
京急雑色第6		大田区仲六郷4-35	月極	20
Kパーキング 六郷土手駅前時間貸		大田区仲六郷4-31	時間貸	15
京急六郷土手第1		大田区仲六郷4-36	月極	25
京急六郷土手第3		大田区仲六郷4-27	月極	55
京急川崎駅前		川崎市川崎区日進町28	月極	107
Kパーキング 川崎駅前時間貸		川崎市川崎区日進町28	時間貸	73
京急日進町/バイク		川崎市川崎区日進町28	月極	12
京急川崎本町		川崎市川崎区本町1-2	月極	5
京急夜光		川崎市川崎区塩浜4-14-17	月極(一括)	10
京急鶴見市場第1		横浜市鶴見区市場西中町1	月極	19
京急鶴見市場第2		横浜市鶴見区市場下町1	月極	51
京急鶴見第1/バイク		横浜市鶴見区鶴見中央2-21	月極	199/18
Kパーキング 鶴見中央第2時間貸		横浜市鶴見区鶴見中央2-21	時間貸	6
Kパーキング 鶴見第2時間貸		横浜市鶴見区鶴見中央1-30	時間貸	39
Kパーキング 鶴見駅前時間貸		横浜市鶴見区鶴見中央1-30	時間貸	19
鶴見第2/バイク時間貸		鶴見区鶴見中央1-30	時間貸	20
京急平沼第2		横浜市西区平沼1-37	月極	5
京急平沼第3		横浜市西区平沼1-27	月極(一括)	5
京急南大田		横浜市南区南大田1-25	月極	3
京急上大岡		横浜市南区中里1-108-2	月極(一括)	50
京急上大岡第2/バイク		横浜市南区別所1-5	月極	48/13
京急上大岡第3		横浜市港南区最戸1-5	月極	37
京急上大岡第4		横浜市港南区最戸1-7	月極(一括)	13
京急上大岡/バイク		横浜市港南区上大岡西2-3	月極	8
Kパーキング 上大岡ウエスト/バイク		横浜市港南区上大岡西2-3	時間貸	35/8
京急上大岡西		横浜市港南区上大岡西3-10	月極	22
ゆめおおか京急/3F		横浜市港南区上大岡西1-6-1	時間貸	458/28
Kパーキング 金沢文庫駅前時間貸		横浜市金沢区谷津町379	時間貸	39
京急六浦		横浜市金沢区六浦町1855	月極	4
京急浦賀第1/バイク		横須賀市浦賀町1-4	月極	69/55
Kパーキング 浦賀駅前時間貸		横須賀市浦賀町3-1	時間貸	39
京急観音崎		横須賀市鴨居3-81	月極	28
京急久里浜北		横須賀市池田町5-8	月極	7
京急久里浜北第2		横須賀市池田町5-8	月極	13
京急舟倉		横須賀市舟倉町383-4	月極(一括)	16
京急久比里		横須賀市久比里1-7	月極	7
京急久里浜駅前		横須賀市久里浜4-1	月極	18
Kパーキング 京急久里浜駅前時間貸		横須賀市久里浜4-4-10	時間貸	262
京急久里浜		横須賀市久里浜4-19	月極	6
京急久里浜海岸		横須賀市久里浜7-6	月極	43
京急長沢		横須賀市長沢1-35	月極	24
Kパーキング 長沢駅前時間貸		横須賀市長沢1-35	時間貸	8
京急三浦海岸第1/バイク		三浦市南下浦町上倉田3129	月極	46/6
京急三浦海岸第2		三浦市南下浦町上倉田1487	月極	29
京急三浦海岸第3		三浦市南下浦町上倉田2960	月極	55
京急小坪		逗子市小坪6-5	月極	3

レジャー・サービス事業

- ホテル・旅館・飲食業
- 水族館・遊園地業
- レジャー施設・ゴルフ場業
- 広告代理業・旅行業

羽田空港へのアクセス利便性を生かしたビジネスホテル「京急EXイン」を羽田空港周辺や都心部を中心に多店舗展開するほか、自然あふれる三浦半島において3つのホテルを運営しています。また、温泉施設や水族館、ヨットハーバーなどのレジャー施設やゴルフ場の運営、京急沿線を中心とした広告代理業や旅行業などのさまざまなサービスを展開しています。

最寄り駅から徒歩5分以内の駅近ホテル

■京急EXイン

全館最寄り駅から徒歩5分以内(横須賀リサーチパークは駅からバス5分)の抜群のアクセスを誇る駅近ホテル。2018年10月に「京急EXイン 品川駅前」・「京急EXイン 高輪」の名称をそれぞれ「京急EXホテル 品川」・「京急EXホテル 高輪」にリブランドしました。



訪日外国人が気軽に利用できるホステル

■plat hostel keikyu

京急電鉄は、訪日外国人の増加に伴い、需要の高まりが見込まれるホステル事業に参入いたしました。「“platform”でつながるホステル」「“ぱらっと”気軽に利用できるホステル」というコンセプトのもと、ホステルチェーン「plat hostel keikyu」を新たに展開しました。1号店として、2019年3月22日に浅草エリアの東駒形に「plat hostel keikyu asakusa karin」をオープン。2019年9月4日に、同エリアに2号店「plat hostel keikyu asakusa station」をオープンしました。それぞれ都営浅草線の浅草駅から徒歩5分、徒歩10分で、訪日外国人に人気の浅草寺も徒歩圏内という好立地。羽田空港国内線ターミナル駅へもエアポート快特で約30分と交通利便性にも優れています。



海を望むロケーションが自慢の宿泊施設

■観音崎京急ホテル

都心から約1時間のリゾートホテル。全室オーシャンビューの客室からは東京湾が一望でき、天気の良い日には、対岸の房総半島と東京スカイツリー®を眺めることができます。地産地消にこだわった旬の食材を使用したレストラン、180度オーシャンビューのシーサイドガーデンチャペル、温浴施設SPASSO(スパッソ)など、施設も充実。宿泊はもちろん、挙式、披露宴、同窓会などのパーティー、日帰りSPAなど、さまざまなニーズにお応えしています。



snow peak glamping 京急観音崎

東京湾を臨む絶好のロケーションで屋外宿泊体験ができるほか、地元・三浦半島の食材をふんだんに使用した料理を、オーシャンビューのデッキスペースでお楽しみいただくことができます。また、世界的な建築家、隈研吾氏がデザインを手がけたモバイルハウスから食器・備品に至るまでスノーピーク製品を採用、新しいスタイルのアウトドア体験をお客さまに提供しています。



■ホテル京急油壺観潮荘

三浦半島油壺にある、小網代湾を一望できる露天風呂付きの部屋が人気のホテル。併設のレストランでは、三崎まぐろや地元の海の幸をふんだんに使った料理が楽しめます。海側に面した眺望のよい部屋と大浴場露天風呂からの景色が好評です。宿泊プランには、「京急油壺マリンパーク」の入園券がセットになってお得です。



塩化ナトリウムやミネラルをたっぷり含んだ海洋泉「油壺の湯」

■城ヶ島京急ホテル

自然豊かな城ヶ島にある、緑と海の見える快適リゾート。本館は全室オーシャンビューとなっており、相模湾を眺めながら、三崎のまぐろをはじめ、食材の宝庫である三浦半島の味覚を、お部屋でゆっくりと堪能できます。晴れた日のホテル前から、相模湾越しの富士山や伊豆半島にかけて、景観がよいところも人気です。



夕刻には相模湾に沈む夕日も望める「雲母（きらら）の湯」

|||| 緑に囲まれた癒やしの湯宿

■伊豆長岡温泉 京急ホテル

いで湯の里伊豆長岡温泉に佇む和モダンなリゾートホテル。心も体もリフレッシュできる自慢の温泉は、源泉100%掛け流しの贅沢湯。アルカリ性単純温泉という泉質で、刺激が少なくお子さまやご年配の方にもおすすめです。お食事は、伊豆長岡の地元素材や旬の食材を取り入れた季節の料理を提供しています。テニスコート、夏はガーデンプールも併設し、スポーツも楽しめるホテルです。



|||| 海に面したレジャー施設

■京急油壺マリンパーク

三浦半島の西南端にある海のレジャーランド。相模湾に生息する魚や大型のサメを常設する水族館「魚の国」、三浦半島の自然が詰まった「みうら自然館」、人気者のコツメカワウソをはじめ、希少な生き物たちが暮らす水辺や洞窟を再現した「かわうその森」など、エリアごとにさまざまな生き物や珍しい展示を見ることができます。屋内大海洋劇場「ファンタジアム」では、音響設備や照明を駆使したミュージカル仕立てのいるか・あしかのパフォーマンスを毎日公演。水辺の生き物とのふれあいなどが体験できる「すいぞくかん学園」も人気です（有料・予約制）。ペットも入園できる水族館です（要手続）。



イルカのジャンプ



コツメカワウソ

■葉山マリーナ

日本におけるヨット発祥の地である葉山に立つ、歴史と伝統を誇るマリーナ。ヨットやモーターボートの艇置のほか、ピジターでショートクルージングやレンタルボートの体験もできます。さらに、複数のレストラン、マリンウェアブランドを取り揃えたブティックや宴会場を併設した複合商業施設として、地元をはじめ遠方からも多くの方にご利用いただいています。海の向こうに江ノ島や富士山を望むことができる絶好のロケーションから、夕日を見るスポットとしても人気です。



江ノ島・裕次郎灯台周遊クルージング

Column

「葉山マリーナ」開業55周年×「マーロウ」開業35周年記念「プリンショップ&カフェ マーロウ 葉山マリーナ」オープン

2019年7月4日、「葉山マリーナ」は、2019年に開業55周年を迎えたことを記念し、同じく2019年に開業35周年を迎えた、葉山を代表するプリンショップ「マーロウ」とともに、マリーナプラザ内に「プリンショップ&カフェ マーロウ 葉山マリーナ」をオープンしました。新設した屋外テラスからは、美しい葉山の海や江ノ島が一望でき、また天気の良い日には富士山を望むことができます。オープンを記念して実施したキャンペーンでは、葉山マリーナオリジナルデザインのピーカー入りプリンを数量限定で販売したほか、商品購入者にオリジナルステッカーをプレゼントし、好評を博しました。



眺めのいい屋外テラス

■油壺京急マリーナ

三浦半島のほぼ南端、諸磯湾の静かな入り江に位置する1962年開業のマリーナ。緑に囲まれた風景の先には相模湾、そして雄大な富士山が一望できます。ご契約のオーナーさま同士でコミュニケーションが楽しめるオーナーズルームのほか、パーティールーム、バーベキューエリアやデッキスペースなど施設も充実。日常を忘れて、ゆっくりと休日をお過ごしいただくことができます。



|||| 快適なプレーが楽しめるゴルフ場

■2つのカントリークラブ

爽やかな高原気候で年間通じてコースコンディションの良い「長野京急カントリークラブ」と、南房総の温暖な気候で地形を生かしたアップダウンの少ないコースの「市原京急カントリークラブ」、2つのゴルフ場を運営しています。



長野京急カントリークラブ



市原京急カントリークラブ

有名店が揃うフードテーマパーク

■品達品川・品達羽田

京急線品川駅高架下に12店舗を揃えたフードテーマパーク。全国にその名を轟かせる有名ラーメン店自慢の逸品を、品川で味わい楽しむことができるスポットです。羽田空港国際線ターミナル駅3階「ウィングエアポート羽田」には、ラーメンフードコート「品達羽田」を展開。国内外のラーメンファンに、名店の味を提供しています。



品達品川

品達羽田

沿線価値を高める快適なサービスの提供

■京急ロイヤルフーズ

沿線を中心に、東京・神奈川・千葉で「そば処 えきめんや」「焼肉BUSAN」「市原京急カントリークラブ内レストラン」などの直営店舗や、「タリーズコーヒー」「ケンタッキーフライドチキン」「ヴィ・ド・フランス」などのフランチャイズ店舗など、さまざまな外食サービスを展開しています。安全で安心な「食・サービス」と、笑顔あふれる「空間」の提供により、皆さまが快適で暮らしやすいまちづくりに貢献します。



えきめんや品川店

■京急アドエンタープライズ

東京・横浜の2か所を営業拠点とし、各種メディアの媒体販売をはじめ、WEB制作、印刷物、イベント・キャンペーン、設計・施工ほか総合広告代理店として企画、実施しています。さらに旅行企画・人材派遣もあわせたワンストップ提案も可能で、多種多様なニーズに対応することができます。また、京急電鉄・京急グループ各社のさまざまな事業との連携を生かした京急グループならではの提案を展開しています。



アミューズメント施設や飲食店が集まるレジャーランド

■BOAT RACE 平和島

全国24場あるボートレース場のうち、数少ない都会の中に位置するレース場で、6艇によるエキサイティングなレースが年間約180日開催されています。併設の外向発売所「BOAT RACE 平和島劇場」では全国で開催場から1日最大12場144レースを昼夜発売。迫力の大画面で臨場感あふれるレース映像をお楽しみいただくことができます。



BOAT RACE 平和島劇場

■BIG FUN平和島

ディスカウントストアでのショッピングや、ボウリング、ゲーム、カラオケ、シネマ・コンプレックス、スペースアスレチック「トンデミ」などのレジャーまで、ファミリーやカップルで1日中お楽しみいただくことができます。バラエティ豊かなお食事処や、癒やしの空間の天然温泉もあり、総合レジャーランドとして「遊ぶ・楽しむ・食べる」を提供しています。



平和島スターボウル

ワンフロア30レーン。朝10時から翌朝5時（祝前日以外の水・木は24時）まで営業しています。初心者対象の健康ボウリングや深夜投げ放題が人気。毎月イベント盛りだくさんです。

天然温泉 平和島

東京屈指の天然温泉を年中無休、24時間楽しむことができます。また、羽田空港の早朝便や深夜便を利用されるお客さま向けに、送迎バス付プランも提供しています。

Column

「天然温泉 平和島」がリニューアルオープンし、岩盤浴を新設

2019年3月28日に「天然温泉 平和島」がリニューアルオープンし、新たにロウリュウ・サウナや岩盤浴が加わりました。また、羽田空港にバスで約15分という好立地を生かし、早朝便や深夜便を利用するお客さま向けに送迎バス付きプランを提供しています。



岩盤浴男女共用komorebi

黒湯天然温泉を使った日帰り入浴施設

■天然温泉みうら湯 弘明寺店

14種類のお風呂とサウナが揃う日帰り温浴施設。人気の「黒湯炭酸泉」は、黒湯天然温泉が持つ保湿・美肌力に、血行を促すという炭酸泉が加わったことで、さらなる効果が期待できます。ほかにも、露天風呂やジェットバスなど、バラエティ豊かなお風呂が揃い、居心地のいい館内には、和洋中の味が楽しめるお食事処や、人気のネイル&まつ毛サロン、手もみ・あかすり、エステなどリラクゼーション施設もあります。お一人さまからご家族まで、存分にお楽しみいただくことができます。



流通事業

- 百貨店・SC業
- ストア業

「お客さま視点」で流通事業を再編・統合

2019年4月、「グループ全体最適」の発想のもと、各事業を従来の「業態別」ではなく、「お客さま」の視点から「機能別」に分類、「1機能1社」を原則とした再編を実施しました。これにより、グループ8社が3社に統合され、「ファッション・ライフスタイル提案機能」を京急百貨店、「日常利便提案機能」を京急ストア、「飲食サービス提案機能」を京急ロイヤルフーズがそれぞれ担っていきます。今後は、各社がスケールメリットを生かし、営業力や運営体制の強化、事業の重複を解消することによる経営の効率化を図り、取引先各社との連携についてもさらに深めていきます。また、各機能における専門性の向上や柔軟な事業展開を実現することにより、お客さまへの利便性向上および沿線の活性化を目指します。

従来



2019年4月1日で再編



百貨店・SC業

百貨店業で培った商品編集、集客企画、地域連携などのノウハウとショッピングセンター業のテナントリーシング力や効率的な店舗運営を融合し、新たなビジネスモデルの構築を図ります。

百貨店業－生活に密着した多彩な商品提案を目指す

■京急百貨店

2016年10月に開店20周年を迎えた節目を第二の創造と捉え、次の10年へ続く京急百貨店ブランドの創造を推し進めます。

『働く女性』、『3世代家族』をメインターゲットに、多彩なライフスタイルにあわせ、さまざまな提案を行っています。今後も駅直結の立地を生かし、お客さまの生活に密着した「生活文化拠点」として取り組んでいきます。



① 婦人雑貨売場【オウ マルシェ】

毎日楽しく過ごす大人の女性が集う場所－【オウ マルシェ】。いつ来ても旬のファッション雑貨が勢揃い。いま欲しいモノが見つかる場所として、期間限定のPOPUPショップコーナーや、アクセサリやバッグなどのファッション雑貨を中心に上質なファッションを提案しています。



② 京急百貨店セレクトが揃う食品売場

京急百貨店セレクトの全国の銘菓が揃う菓子売場「諸国銘菓 夢うらら」では、歳時記やオケーションへのギフト需要の強化を図るため、「オリジナルギフトBOX」を用意。また、「諸国銘産 食膳の旅」では、京急百貨店がセレクトした全国の老舗や銘店をはじめ、素材や原料へのこだわりや日本各地の地域の伝統や食文化を、お客さまの食卓へお届けしています。



③ 京急百貨店プロデュースビューティーセレクトショップ【ボーテ ガール】

京急百貨店プロデュースの国内外の良質なコスメと雑貨を厳選したコスメショップとして、京急百貨店のほかに、「ウイング高輪EAST」「ウイングキッチン京急川崎」「横浜ポルタ」の3店舗に出店。お客さま一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな提案や情報の発信を行うショップとして、今後も京急沿線を中心としながら展開していきます。



SC業 - ファッションもグルメも、駅直結・駅近で便利に

■ ウィング

「ウィング」は、駅直結や駅前立地という好立地を生かし、駅利用者から近隣の方々まで、これからも地域の特性をとらえたファッションや飲食店を提案していきます。

② ウィング高輪EAST

毎日立ち寄っても飽きない充実の品揃えの食品フロアとトレンドを発信するファッションフロアで幅広い客層のニーズに応えています。



ウィング高輪EAST

④ ウィング上大岡

上大岡駅と京急百貨店に直結し、地下1階、地上3階のフロアに、ファッション・雑貨・飲食が集結。地域の皆さまのライフスタイルを提案しています。



ウィング上大岡

■ ウィングキッチン

「ウィングキッチン」は、“地域に溶け込むコミュニティプレイス”をコンセプトに、普段づかいができる食品・飲食を中心に、ライフスタイルに密着したコミュニティ型商業施設ブランドです。

① ウィングキッチン京急蒲田



ウィングキッチン京急蒲田

② ウィングキッチン京急川崎



ウィングキッチン京急川崎

③ ウィングキッチン京急鶴見



ウィングキッチン京急鶴見

■ ウィングエアポート羽田

2015年10月、羽田空港国際線ターミナル駅開業5周年を機に、駅ナカの商業ゾーンを「ウィングエアポート羽田」としてリニューアルオープンしました。インバウンドを意識し、免税サービスを実施する、セブン-イレブン、マツモトキヨシ、ラオックスを誘致し、外貨両替トラベックス、レンタルWi-Fi、SIMカード自販機、空港ガチャなど、空港として便利なサービスを充実させています。



① ウィング新橋

人通りの絶えない新橋の街とともに成長してきた商業施設。小粒ながら新しい発見を提供できる空間を創出しています。



ウィング新橋

③ ウィング高輪WEST

ウィング旗艦店として、高感度なファッションや飲食店を中心に洗練されたライフスタイルを提案しています。



ウィング高輪WEST

⑤ ウィング久里浜

京急久里浜駅直結の商業施設。生活空間に密着した立地を生かし、地域コミュニティ活動を応援し、新しいライフスタイルを提案しています。



ウィング久里浜

ストア業

さまざまなグレードのデパートストア業を展開することで、食物販賣の強化を図るとともに、コンビニエンスストア業やドラッグストア業など日常の利便性を提供する施設を一括運営することで、地域のニーズにあわせた多様な店舗展開を行っています。

スーパーマーケット業 - 地域に根差し安全・安心な商品を提供

■ 京急ストア

京急沿線のお客さまを中心に、「安全・安心」な商品・サービスを、日々、お届けする「京急ストア」。地域に根差すスーパーマーケットとして、神奈川県と「連携と協力に関する包括協定」を締結し、自治体との連携や地産地消、産業活性化を推進し、地域社会と一体となり、明日の「食」を考えていきます。



京急ストア稲谷店



京急ストア京急鶴見店

■ お買物巡回無料送迎車

ご高齢の方を中心とした幅広いお客さまに、便利で楽しいショッピングを提供するため、京急ストア磯子丸山店、磯子岡村店、能見台店、FHaB湘南池上店、三崎東岡店、葉山店、もともちユニオン葉山店では「お買物巡回無料送迎車」を運行しています。今後も地域のお客さまに密着したサービスの提供を進めていきます。



無料送迎車

■ もともちユニオン

高質スーパーとしてお客さまのニーズにお応えする「もともちユニオン」。2011年には元町商店街の「もともちユニオン元町店」を全面建て替え、グランドオープンしたことに続き、都心部の新宿・六本木に進出、2019年5月1日には京急百貨店地下1階に「もともちユニオン上大岡店」をオープン。個性ある商品の品揃え、さらには商品知識の高いスタッフによる接客などを通じ、もともちユニオンブランドの浸透に努めています。



もともちユニオン元町店

■ 業務スーパー

高品質・ロープライスの「業務スーパー」を京急沿線で3店舗展開。世界の国々から直輸入した本場の食材や、美味しさと安全性にこだわった国内工場で作るオリジナル商品などプロの方はもちろん、毎日の食卓を豊かにする商品を「毎日がお買得」をコンセプトに「プロの品質とプロの価格」で提供しています。



業務スーパー 上大岡店

|||| コンビニ・物販業ほかー沿線の皆さまの日常利便性を高める

■セブン-イレブン京急ST

セブン-イレブン・ジャパンと提携し、京急沿線および、みなとみらい線沿線で「セブン-イレブン」を28駅43店舗に展開。また、京急EXイン 羽田および横須賀岡田屋モアーズ社員休憩室内にセブン-イレブン自販機の設置や、三浦市内の買物不便地域への移動販売車による「あんしんお届け便」などを展開しています。



セブン-イレブン京急ST 羽田空港国際線ターミナル店

■マツモトキヨシ

ドラッグストア「マツモトキヨシ」を京急沿線で6店舗展開。医薬品・日用品・化粧品など地域、お客さまのニーズにあった商品を取り揃えています。また、京急羽田空港国際線ターミナル駅店・ウィング高輪店・京急鶴見店においては、年々増加する外国人旅行者の方々の要望に応えるため、免税対応店舗となっています。



マツモトキヨシ ウィング高輪店

■ダイソー

ワンコインの力で、買物を、暮らしを、世の中を、もっとワクワクさせていく、豊富な品揃えと高いクオリティの商品をワンコインで提供する「ダイソー」を京急沿線で1店舗展開しています。



ダイソー-上大岡店

■駅ナカ店舗の活性化

お客さまの多様なニーズに応えるため、鉄道ファンをはじめ多くのお客さまにご利用いただいている京急グッズショップ「おとどけいきゅう」鮫洲店や、話題のスイーツショップが入れ替わりに登場する「スイーツカレンダー」(4店舗)など、魅力ある店舗を展開しています。また、オープン型宅配ロッカーを20駅に設置し、駅利用者へさらなる利便性を提供しています。



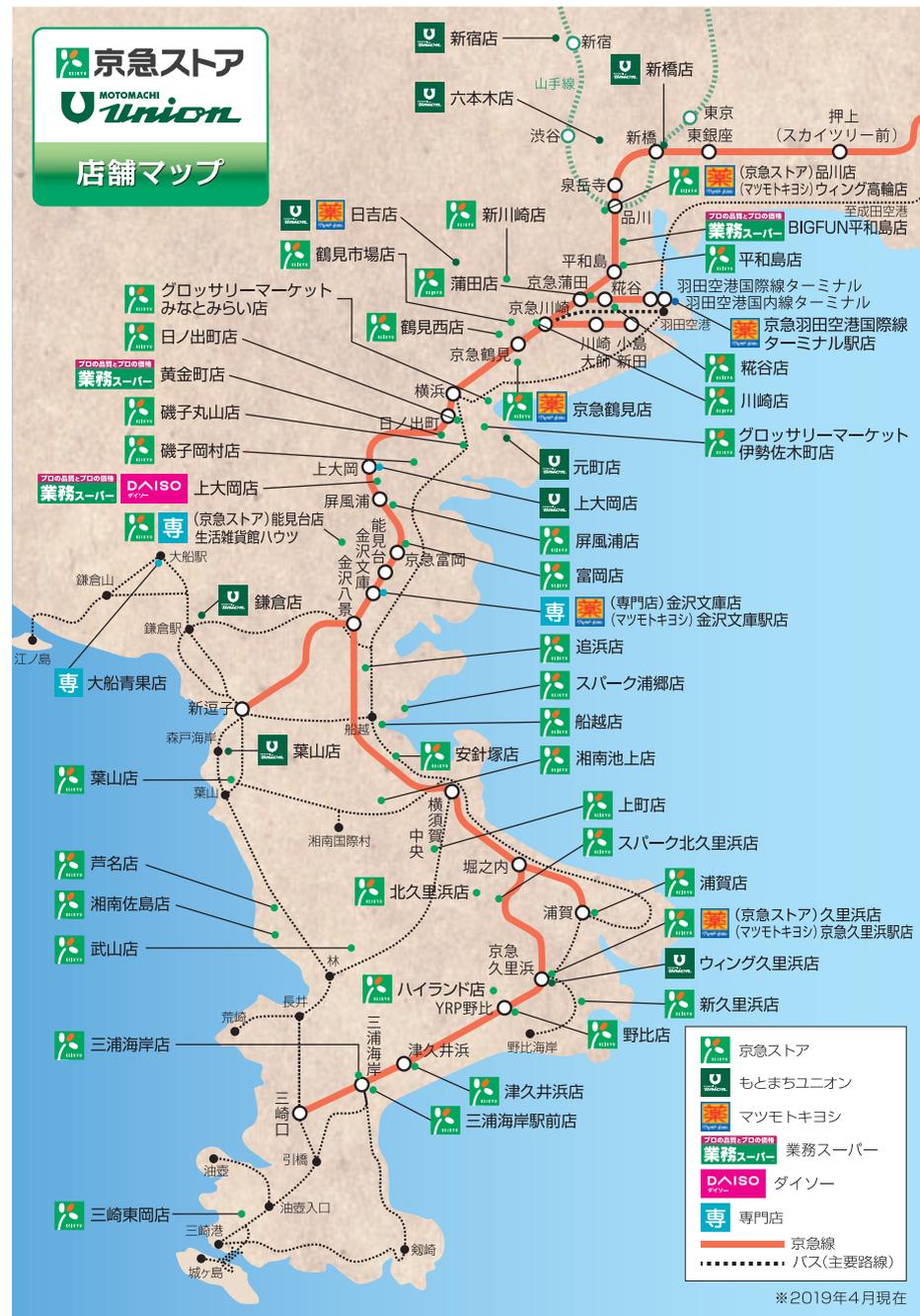
スイーツカレンダー(横浜店)

■京急オリジナルグッズの販売

京急の電車やバスをモチーフにした、さまざまな京急オリジナルグッズを企画・販売しています。キャラクターや玩具・文具メーカーとのコラボレーショングッズは、鉄道ファンのみならず、幅広いお客さまに人気を得ています。2017年4月、横浜港大さん橋国際旅客ターミナル内に、京急グッズを中心としたショップ「おとどけいきゅうプラス」を出店しました。



京急新1000形 マイナーチェンジ車



京急プレミアムポイント

京急グループの施設および店舗をはじめ、羽田空港※1や横浜ポルタなどの京急沿線の「京急プレミアムポイント」加盟店で、ご利用金額・ご利用頻度に応じてポイントが貯まります。貯めたポイントはポイント券に引き換え、「京急プレミアムポイント」加盟店でご利用いただくことができます。※1 2016年3月には、京急線駅売店などでも京急プレミアムポイントが貯まる「京急駅ナカポイントサービス」を開始、2016年12月には、貯まったポイントとANAのマイルを相互に交換できる「京急プレミアムポイント・ANAのマイル相互交換サービス」を開始しました。また、2018年10月には、京急プレミアムポイントWEBサイトを刷新するなど、会員の皆さまに、沿線での毎日の生活をより便利でよりお得にお過ごしいただけるよう、各種サービスの向上に取り組んでいます。



このマークが目印

※1 一部対象外がございます。

■カードの種類と機能

京急沿線でポイントが貯まる、お得な3種のカード。お客様のライフスタイルにあわせてお選びいただけます。

	クレジット機能付ポイントカード	ポイント専用カード
京急プレミアムポイント ゴールド HANEDA AIRPORT PLUS ならではの特典	京急プレミアムポイント ゴールド HANEDA AIRPORT PLUS	京急プレミアムポイント シルバー
1 クレジットポイントがいつでもどこでも1% ※一部対象外がございます。	クレジット機能付ポイントカード	ポイント専用カード
2 たくさんご利用いただく... 京急タクシーご利用券1万円分・三浦半島京急グループ宿泊レジャー施設ご利用券1万円分・京急百貨店カタログギフト・京急プレミアムポイント5,000ポイントのいずれか1点をプレゼント	おすすめ！ すべてにおトクな最上位カード	ポイントをとりにあらず貯めるなら
3 ファミリーでポイントがまとまる！	基本ポイントのほか、クレジットポイントがシルバーよりもおトクに貯まる。ほかにもゴールドならではの特典も！	京急プレミアムポイント加盟店で基本ポイントのみ貯まる。京急プレミアムポイント加盟店で即日発行でき、入会後すぐにご利用でもポイントが貯まる。
4 羽田空港優待特典多数！	ポイントを上手に貯めるなら	ポイントをとりにあらず貯めるなら
5 カード付帯保険など、安心の特典	基本ポイントのほか、クレジットポイントも貯まる。	京急プレミアムポイント加盟店で基本ポイントのみ貯まる。京急プレミアムポイント加盟店で即日発行でき、入会後すぐにご利用でもポイントが貯まる。
年会費	1,905円(税別、初年度無料)	無料
基本ポイント	○	○
クレジットポイント※2	○	○
クレジット決済	[加盟店] 100円 >> 1P [羽田空港]※3 100円 >> 2P [非加盟店] 100円 >> 1P	100円 >> 1P 100円 >> 2P 200円 >> 1P
京急線鉄道定期券購入	200円 >> 1P	200円 >> 1P
PASMOオートチャージサービス	200円 >> 1P	200円 >> 1P
KQuick	100円 >> 1P	100円 >> 1P
ETCカード	○	○
カード付帯保険	○	-
揭示割引・優待サービス	○	○

※2 クレジットポイントは、京急プレミアムポイントクレジット機能付ポイントカードによるカード決済で貯まります。 ※3 羽田空港第1・2ターミナル ※2019年10月1日より消費税改正に伴い付与ポイントが各施設により異なります。詳しくはHPをご覧ください

■京急クレジット機能付ポイントカードならではのサービス！

- クレジット払いで京急線の鉄道・バスの定期券がご購入いただけ、ポイントも貯まります
- PASMOオートチャージサービスをご利用の際もポイントが貯まります
- KQuickをご利用の際もポイントが貯まります

(「KQuick」は会員登録(無料)が必要です。スマートフォン、PCからご利用いただけます。)

京急プレミアムポイントの詳細は www.keikyu-point.jp

その他の事業

- 建設・土木・造園業
- ビル管理業
- 輸送用機器修理業
- 情報処理業
- 電気設備工事業
- 自動車教習所業

長年にわたって築かれた技術と経験を礎にした、建築・土木・造園業、電気設備工事業の拡大はもとより、障がい者の雇用創出を推進する鉄道業界初の特例子会社 京急ウィズなど、京急グループ全体で沿線の地域社会の発展に貢献しています。

未来に向け信頼をかたちにした京急建設

■京急建設



豊かな都市環境や自然との共生など、さまざまな快適環境を追求し、多様化する社会とお客さまのニーズに応えるため、新時代の総合建設業として、これまで培ってきた経験と技術力をもとに綿密なマーケティング調査をすすめ、基本構想から設計・施工・維持管理までを一貫して行っています。

「未来に向け信頼をかたちにした京急建設」をスローガンに、お客さまに安心と信頼を提供し、社会から求められ、社会に貢献できる企業を目指しています。

長年培われた秀逸な技術力による施工品質の提供

■京急電機

主力事業である鉄道部門は、特殊な技術力と確固たる安全の確保をもとに120km/hで高密度高速度運転をする京急線の保守・改良工事を行い、安全かつ安定した輸送に貢献しています。また、発変電設備、電気設備、空調・衛生設備に精通した設備部門は、さまざまな設備に対応できる技術力と豊富な実績を背景に、新設工事から、省エネ化、設備の改良工事や保守点検に至るまで、多彩なニーズに万全な体制でお応えしています。



「住まい」に関するさまざまなニーズに応える

■京急リブコ



「マンション管理事業」、「リフォーム事業」、お助けハウスマン(小修繕工事)などの「住生活支援事業」を通じて、沿線のお客さまの快適な生活をサポートしています。住まいの快適性や資産価値を高めるために、京急グループの長年の経験と豊富な実績に裏付けられた提案で、お客さまのご希望を叶えていきます。

障がい者雇用の場を創出

■京急ウイズ

地域社会の皆さまとのより良い関係を育んでいくために、障がいのある方や高齢の方が対応できる業務を集約し、より働きやすい環境を提供する一方で、雇用の一元管理などの業務の効率化を進めています。「あらゆる人がともに住み、ともに生活できるような社会を築く」というノーマライゼーションの理念を掲げ、「生産性を発揮できる仕組みづくり」「職域拡大の推進と個人の能力向上」「人材育成とサポート体制の強化・促進」を運営方針とし、これまでに駅清掃業務、クリーニング業務や京急電鉄本社ビル内で宅配受付・立会業務などの事業を行うなど、京急グループ丸となって職域の拡大に努め、「障がい者雇用の促進」と「ノーマライゼーション意識の徹底」に努めています。

2019年6月現在、障がい者の雇用の促進などに関する法律に基づいた京急グループの関係会社特例認定会社は、京急電鉄と京急ウイズを含め14社で、障がい者雇用率は2.65%となりました。



クリーニング工場での作業風景

特例子会社とは？

設立時に障がい者の雇用に配慮し、一定の条件を満たしているとの認定を受けた場合「特例子会社」として認められます。特例子会社に雇用されている従業員は親会社に雇用されているとみなして、親会社の障がい者雇用率を計算することができ、これにより企業は障がい者雇用を推進しやすくなります。

こころ温まるお見送りの儀式を提案

■京急メモリアル

経験豊かなスタッフが、こころを込めてご葬儀をサポート。3か所ある斎場は、いずれも駅から近く、ご会葬者に便利な好立地。ご親族のための仮眠もできる和室の控え室や、故人を偲び、語らいのひとときを提供する会食室など、配慮の行き届いた空間で、こころ温まる葬儀を提供しています。



沿線のカーライフを応援

■京急自動車学校

「上大岡校」「茅ヶ崎校」の2校の自動車学校を運営しています。無料送迎バスに加え、乳幼児をお連れの方のために、無料託児所を完備し、安心して学べる環境の中で安全を最優先し「人に優しい」ドライバーを育成しています。



沿線の生活に密着したサービスを提供

■京急キッズランド保育園

高架下や駅近マンションなど、駅へのアクセスに利便性が高い京急グループの施設を活用し、「京急キッズランド保育園」（認可保育園7園）を展開し、沿線地域の子育てを支援しています。保育園と家庭と地域の協働を目指し、地域の皆さまと交流し、お子さまを安心して預けられる施設として運営しています。



■京急キッズファン

2019年4月1日に平和島駅の高架下を開校した京急キッズファンは、小学生を対象とした「学びの根っこ」を育てるアフタースクールです。「学校や家庭ではできないこと」ができる独自のプログラムを通して、学ぶ楽しさ、考える力、好奇心や探求心を身につけ、子どもたちの自立心と夢をかなえる力を育みます。



■京急ライフサポート

お部屋のお掃除、植木の剪定など、暮らしのあれこれを、お客さまの要望にあわせたオーダーメイドサービスでお手伝いする「家事代行・おそうじサービス」、長期出張や転動中にご不在となる部屋・庭の手入れをする「留守宅管理」、訓練された警備員が最新技術を駆使して日常生活を24時間サポートする「ホームセキュリティ」を展開しています。建物総合管理で培ったノウハウを生かし、沿線の皆さまの暮らしをこころを込めてサポートします。



■京急ハナコ

お祝い花（花束、胡蝶蘭、鉢植え、スタンド花）やお悔み時のご供花など、さまざまなシーンにあわせたお花を、こころを込めてお届けするほか、お客さま一人ひとりのご要望にあったアレンジメントを経験豊かな専門スタッフが制作しています。また、観葉植物のレンタルや施設の植栽管理なども行っています。



Column

京急サービス福浦ビル（研修センター）を建設

京急サービスは、横浜市金沢区福浦に地上3階建ての「京急サービス福浦ビル」を建設し、京急サービスの自社ブランドである京急ライフサポート、京急ハナコのほか、駐車場事業などの生活支援事業を集約しました。これにより、業務を効率化し、地域の皆さまにご満足いただけるサービスの提供に努めます。また、ビルメンテナンスを中心とした研修を行う研修センターを活用し、技術力の向上を図り、さらなる人材の育成を目指します。



京急グループのCSR・その他

- 社会的責任に対する取り組み ●危機管理
- 京急グループにおける安全・安心なサービス ●環境
- 住民や自治体との取り組み ●新規事業の創出
- インバウンドへの取り組み ●PR活動 ●CS活動
- 株主・投資家への取り組み IR活動

社会的責任に対する取り組み

京急グループは、グループ全体が協力して社会的責任を果たし、豊かな都市生活の基盤づくりを通じて社会に貢献できるよう、CSR推進体制の充実に注力しています。

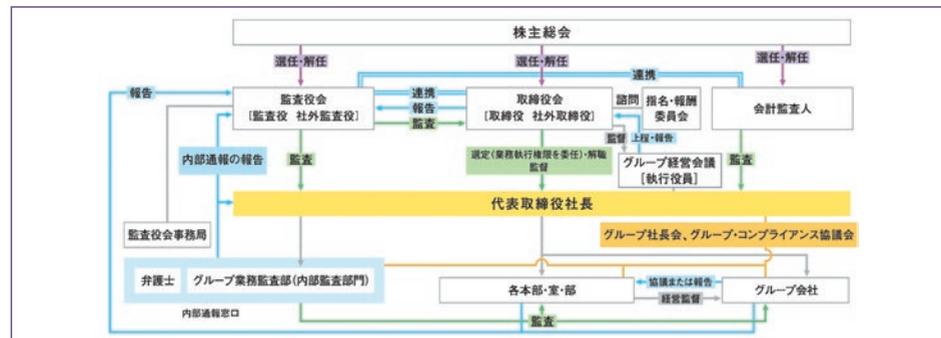
コーポレートガバナンス

■コーポレートガバナンスの基本的な考え方

京急グループは、ライフラインを担う企業集団として、すべての事業において安全の徹底を図るとともに、お客さま、株主・投資家、地域・社会・環境、取引先および従業員などのステークホルダーと適切な協働を図り、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、「グループ理念」および「長期ビジョン」に基づき、コーポレートガバナンスの継続的な充実に取り組みます。京急電鉄は、現状において、適時かつ適切に取締役会等の運営を行い、迅速かつ適切な意思決定ができていると考え、従前どおり監査役制度を採用しています。取締役会は、社外取締役3名を含む13名で構成され、法令・定款で定められた事項や経営上の重要事項の決議および報告ならびに職務執行の監督を行っています。また、取締役の人事・報酬および後継者育成計画の決定に関する取締役会の透明性、客観性と説明責任を強化するため、取締役会の諮問機関として、半数以上が独立社外取締役で構成される指名・報酬委員会を設置しています。さらに、取締役会における経営の監督機能の強化および業務執行部門に求められる業務執行機能の強化を行うことを目的として、執行役員制度を導入しており、執行役員で構成され、取締役会長および常勤監査役が出席するグループ経営会議においては、経営計画等の重要事項の策定や、事業計画等を決定しています。このほか、監査役会は、社外監査役3名を含む4名で構成され、各監査役の監査状況の報告および監査意見の形成

を行っています。各監査役は、経営状況の監査や取締役の職務執行の適法性などの監査を行うほか、取締役会やグループ経営会議等の重要な会議に出席し、必要に応じて意見陳述を行っています。また、代表取締役と監査役との間で職務執行や監査に関して定期的に会合を行い、会社が対処すべき課題、監査役監査の環境整備の状況、監査上の重要課題等について意見交換を行っています。さらに、監査役は、会計監査人と定期的に会合をもつなど、緊密な連携を保ちながら、積極的に意見および情報を交換しています。なお、取締役の事業年度の経営責任を明確にするとともに、経営環境の変化に迅速に対応した経営体制を構築することができるようにするため、取締役の任期は1年としています。京急電鉄では、公共交通機関を中心に事業を行っている社会的責任を踏まえ、短期的な業績に限らず、事業継続の大前提となるサービス・商品の安全確保など中長期にわたる企業価値向上を実現するため、取締役会においては、京急グループの事業や戦略に精通する取締役を中心とした体制をとっています。また、社外役員が独立した立場から経営に参画することで、さらに透明性、客観性の高いコーポレートガバナンス体制を推進できることから、上記に記載した体制を採用しています。グループ全体においては、グループ会社社長が出席するグループ社長会を定期的に開催し、グループ全体における経営方針の徹底と経営情報の共有化を図っています。

京急グループ コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンス

■コンプライアンスの基本的な考え方

京急グループは、法令や社会規範に則り、京急グループを取り巻くすべての皆さまからの信頼に応え、企業市民として期待される社会的責任を果たすために、「京急グループ・コンプライアンス指針」、「京急グループ・役員および従業員行動基準」を定めています。

京急グループ・コンプライアンス指針

- ①お客さまに対して
お客さまの豊かな生活のために、安全で、満足を得られるサービス・商品の提供に努めます。
- ②株主・投資家に対して
投資に対する期待に応えるために、長期的・安定的な企業価値の増大を目指した事業活動と、適時・適切な会社情報の開示に努めます。
- ③地域・社会・環境に対して
よりよい社会の形成に貢献するために、地域社会との協調・連携に努めるとともに、地球環境を守るために、環境への負荷軽減に努めます。
- ④取引先に対して
相互の繁栄のために、合理的な商慣習に則った、公正・透明な取引に努めます。
- ⑤従業員に対して
従業員が安心して意欲的に働くことができるために、個人の尊重と、良好な職場環境の維持・向上に努めます。

京急グループ・役員および従業員行動基準

- ①お客さまに対して
(1) 私たちは、常にお客さまの安全を最優先に考え、サービスや商品を提供します。
(2) 私たちは、お客さまのニーズを把握するとともに、お客さまの声を活かし、満足度の高いサービスや商品の提供に努めます。
- ②株主・投資家に対して
(1) 私たちは、株主・投資家などから正しい評価を得られるよう、適時・適切な企業情報の開示に努めます。
(2) 私たちは、業務上知りえた内部情報を利用して疑惑や不信を招く株式の売買等を行いません。
- ③地域に対して
(1) 私たちは、地域に密着した企業グループの一員であることを自覚し、地域の発展のために活動します。
(2) 私たちは、明るく住みやすい社会となることを目指して、地域社会への貢献に努めます。
- ④社会に対して
(1) 私たちは、市民社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力との関係を断ち、毅然とした態度で対応します。
(2) 私たちは、社会的に許されない政治献金や寄付、社会から誤解や不信を抱かれるような接待や贈答を行わず、また、受けません。
- ⑤環境に対して
(1) 私たちは、地球環境を守る担い手として、環境への負荷軽減、資源の有効活用に努めます。
(2) 私たちは、環境の保全に配慮し、自然環境と調和した事業活動に努めます。
- ⑥取引先に対して
(1) 私たちは、不当な取引制限や、不正な方法による取引は行いません。
(2) 私たちは、取引先との間で公正な取引関係を築き、会社と取引先の双方にとって最適な取引を行うよう努めます。
- ⑦会社に対して
(1) 私たちは、会社の財産(知的財産、企業ブランドを含む。)を大切に扱い、その価値の維持・増大に努めます。
(2) 私たちは、会社の重要情報およびお客さまや他社の機密情報を厳重に取り扱い、漏洩の防止に努めます。
- ⑧役員・従業員相互の関係
(1) 私たちは、職場における事故の防止に全力を尽くし、安全で衛生的な職場環境の整備に努めます。
(2) 私たちは、個人の人格と人権を尊重し、国籍・性別・宗教などによる差別やセクシュアルハラスメントなどの嫌がらせのない、明るく活気のある職場づくりに努めます。

■コンプライアンスに関する教育・研修

京急グループの全従業員が、コンプライアンスに対する理解を深め、一人ひとりが正しく行動できるよう、新入社員から管理・監督職まで階層別に研修を実施しています。また、2018年度からは、職場ごとに「コンプライアンス向上のための活動計画」を策定し、活動計画に沿った取り組みを実施しております。さらに日々の業務を遂行するうえで、どのようなことに注意して行動すべきかをまとめた「京急グループ・コンプライアンスブック」の活用や時事問題を取りあげた「京急グループ・コンプライアンス便り」を毎月配布し、コンプライアンス意識の向上を図っているほか、「京急グループ・コンプライアンス指針」や「京急グループ・役員および従業員行動基準」をカードサイズに印刷した「コンプライアンスカード」を、グループのすべての役員および従業員に携行させ、常にその趣旨を意識し、行動できるようにしています。

■個人情報保護方針

京急グループは、個人情報保護に対する社会的要請に応えるべく、法令などを順守するとともに、個人情報保護に関する取り組み姿勢を明確にするため、プライバシーポリシーを定め、忠実に実行します。

※個人情報保護方針の全文は、京急電鉄WEBサイト(トップページ→プライバシーポリシー)をご覧ください。

■内部通報制度(コンプライアンス窓口)

京急グループでは、所属会社や雇用形態を問わず、すべての従業員が利用できるコンプライアンス窓口を社内と社外に設置し、コンプライアンス違反に関する通報を受け付けています。

また、「内部通報規程」を整備し、通報者の保護など公正かつ適正な窓口の運営を徹底しています。さらに、コンプライアンスカードに窓口の連絡先を記載するなど、グループの全従業員に周知し、窓口の実効性を確保することで、コンプライアンス違反情報を早期に察知し、違反を防ぐ体制を構築しています。

危機管理体制

■リスクマネジメントの基本的な考え方

公共交通機関を中心に事業を行う京急グループの社会的責任を踏まえ、サービス・商品の安全・安心を確保するため、京急グループ危機管理規程に基づき、平時から安全対策に積極的に取り組むとともに、万一の事故や災害などの発生に備え、各種対応方法を整備しています。また、危機発生時に、グループ全体の情報を集約・共有することにより、危機のすみやかな収拾と再発防止を図っています。

さらに、グループ全体のリスク情報を管理するため、各部門は当社事業に係るリスク情報を把握するとともに、職制および業務分掌規程に基づき、所管する各グループ会社のリスク情報を把握し、損失の最小化を図るための対策を講じています。

このほかグループ業務監査部は、各部門および各グループ会社のリスク管理体制についての監査を行っています。各部門が把握するリスク情報については、グループ全体のリスク情報として集約し、グループ・コンプライアンス協議会において情報の共有化を図っています。

||||| 危機管理

京急グループでは、自然災害、テロ攻撃などの緊急事態に際し、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続および、早期復旧を可能とするため、危機管理体制の強化に取り組んでいます。

■危機管理委員会の設置

公共交通機関を中心に事業を行う京急グループの社会的な責任を踏まえ、サービス・商品の安全・安心を確保するため、グループ全体の危機に対応する事項を検討・立案する「危機管理委員会」を設置し、平時から安全対策などに積極的に取り組んでいます。また、京急電鉄の各本部長、部長およびグループ会社社長は「危機管理統括責任者」または「危機管理責任者」として、危機管理委員会の方針および指示に従い、自部署・自社における対応策の立案・実行・見直しを行っています。

■危機対策総本部の設置

重大な事件、事故、不祥事、自然災害、疫病、テロの発生など、グループ全体での対応が必要な場合には、京急電鉄の社長もしくは危機管理委員会委員長を本部長とした「危機対策総本部」を設置し、迅速かつ正確な事実確認と情報公開を行うとともに、ステークホルダーの損害を最小限にとどめるための具体案を立案し、実行します。

■京急グループ全体での情報の集約・共有

危機のすみやかな収拾と未然防止のため、京急グループの緊急連絡網を整備し、一斉配信メールを活用するなど、京急グループ全体の情報の集約・共有を図っています。また、地震など大規模災害が発生した際に、グループ会社間が連携して対応していけるように、様々な訓練を行っています。

■自衛消防訓練の実施

京急電鉄本社ビルでは、消防法に基づく自衛消防訓練を毎年春・秋の年2回実施しています。この訓練は、主に新入社員や新任者を対象に実施しており、通報・避難・消火などの基本的な訓練、応急手当訓練や煙体験などをとおして、万一の災害時にも落ち着いて行動できることを目指しています。



■京急グループ合同防災訓練

毎年防災週間に大規模地震の発生を想定し、訓練を行っています。2018年度は南海トラフ地震で被害が発生したとの想定で、BCP(事業継続計画)に基づき、京急電鉄本社ビル内に危機対策総本部を立ち上げ、従業員の安否確認、各事業部門の被害情報の集約、グループ会社への電車・バスの運行情報や主要施設の営業情報の伝達訓練などを行いました。



京急グループにおける安全・安心なサービス

京急グループの交通機関や施設を利用されるお客さまが、いつでも安心してご利用いただけるよう、積極的に「安全・安心」に取り組んでいます。

■京急電鉄

【安全・安心輸送に関する取り組み】

輸送障害発生時に、事故および自然災害等による運転見合わせを告知するため、日本語、英語、中国語（簡）、韓国語の4か国語に対応した案内ポスターを全駅の改札口付近に設置しています。また、駅構内「災害時の緊急避難場所」案内図も同様に4か国語表記とし、近年増加する訪日外国人のお客さまに対しても安全・安心にご利用いただけるよう努めています。



輸送障害発生時の案内ポスター 「災害時の緊急避難場所」案内図

■京浜急行バス

【安全・安心輸送に関する取り組み】

バス路線図に避難場所の明示

京浜急行バスでは、大きな地震が発生し、津波警報が発令された際に安全な場所へ避難する目安として、バス車内に掲出している運行系統図に、神奈川県、神奈川県内市町村および大田区発行の津波ハザードマップをもとにした浸水予想地域を緑青色に着色し、震災時避難場所、津波避難場所および津波避難ビルの名称と位置を掲載しています。



※浸水予想地域は各自治体が最大クラスの津波を想定して公表したものを参考に掲載していますが、浸水予想地域の範囲外でも津波の浸水が発生する場合があります。浸水の深さは場所によって異なりますので、あくまでも目安としてご覧ください。

実車を使用した津波避難訓練の実施

バスの運行エリアである葉山町や鎌倉市で、津波警報が発令された場合を想定して、実車を使用した津波避難訓練を実施。車いすや高齢者の方など避難に助けが必要な乗客役も設定し、乗客に協力を呼びかけるなど、より迅速に避難できるような対応を行っています。



葉山町での津波避難訓練の様子

■京急ストア【食の安全】

社内に食品安全委員会を設置し、食の安全・安心について全社的な対応を図っています。また、各店舗においては、従業員に対して定期的な腸内細菌検査の実施や食品衛生に関する教育を行っているほか、外部機関に委託し、商品の細菌検査を実施するなど、食の安全管理に細心の注意を払っています。



環境

京急グループは、自ら定める「京急グループ 環境基本方針」にのっとり、全社員が日ごろの事業活動や社会貢献活動を通して、環境保全と環境負荷の低減や、省エネルギーに努めています。

京急グループ 環境基本方針

私たちは、あらゆる事業活動や社会貢献活動を通じて、地球環境の保全と環境負荷の低減に努め、持続的発展が可能な社会の形成に貢献します。

行動指針

- 私たちは、環境にやさしい公共交通機関を中心に、さらなる利便性の向上と魅力ある沿線価値の創造に努めます。
- 私たちは、資源やエネルギーの有効活用と、廃棄物の削減・再利用・再資源化への取り組みを通じ、環境負荷の低減に努めます。
- 私たちは、次世代を担う子ども達に、より良い沿線環境を引き継ぐため、沿線の豊かな自然との共生・保全に努めます。
- 私たちは、あらゆるステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切に、地域社会との協調・連携に努めます。
- 私たちは、環境に関する法令等を正しく理解・順守するとともに、啓発・教育活動を通じて、社員一人ひとりの環境意識の向上に努めます。

■鉄道施設での薄膜太陽光発電システムの導入

神奈川県補助金事業として南太田駅と金沢文庫駅に薄膜太陽光設備を導入しました。駅前街路灯や駅構内照明に活用しています。



南太田駅

太陽光発電パネル
下りホーム屋根部分で受光



金沢文庫駅

駅構内コンコースの照明に利用

■環境に優しいバスの導入（川崎鶴見臨港バス、京浜急行バス）

川崎鶴見臨港バスは、電気バスの導入、さらに、従来型ディーゼル車に比べ排出ガスを削減し、燃料消費を抑制できるハイブリッドバスを導入。低公害車への車両代替を積極的に実施し、有害物質排出の抑制に力を入れています。また、京浜急行バスは、2019年2月25日に走行時にCO₂などの環境負荷物質を一切排出しない、燃料電池バス「SORA」を民間のバス会社では初めて導入。さらに、排出ガス規制よりさらに厳しい規準をクリアした車両・燃料消費の少ない車両を導入し、環境負荷の低減に取り組んでいます。



■LEDを採用した車両を導入

2012年3月以降に新造・更新を行った車両については、客室照明すべてにLEDを採用しています。従来の蛍光灯に比べ、照明の消費電力を約3割削減できるこれらの車両には、室内両端およびドア上にLED照明であることをお知らせする案内を掲示しています。また、2016年度以降、京急電鉄初となるLED前照灯（ヘッドライト）を導入。従来の新1000形から、さらに省エネ対策を推進しています。



■公共交通機関の利用促進

「ノルエコ」プロジェクト

鉄道・バスなどの公共交通機関は、エネルギー使用量が少なく地球温暖化の原因となるCO₂の排出量も少ない環境に優しい乗り物です。京急グループでは、公共交通機関で出かけることを推進する「ノルエコ」プロジェクトを進めています。2018年には、公共交通機関の利用をPRするために、ラッピング電車とラッピングバス（京浜急行バス 横浜路線 ※110系統）も運行しました。



■「“楽”ecoプロジェクト」を実施

京急百貨店では、お中元・お歳暮ギフトのご注文1個ごとの販売からお届けまでに発生するCO₂排出量に、横浜市が所有する水源林支援を行い認定された、整備を行った森林によるCO₂吸収量をあてるカーボンオフセット型の「“楽”ecoギフト」を販売しています。2018年度は、約5.5tのCO₂吸収量を充当しました。また、京急ストアでは「“楽”eco活動」の取り組みとして2010年10月から植林による環境支援活動を行っています。お客さまのレジ袋辞退1回につき京急ポイントカードの1ポイント相当を京急ストアが負担し、NPO法人環境リレーションズ研究所が運営する森林再生プロジェクトに寄付しています。現在までの累計で6,923本の木を植えることができました（2019年3月末現在の植林先は北海道天塩郡）。



■絶滅危惧種や固有種「三浦メダカ」の繁殖活動を支援

京急油壺マリンパークは、1970年に博物館相当施設に指定を受けて以来、社会教育施設として紹介展示に努めています。絶滅危惧種の繁殖活動を地域や学校とともにやっているほか、神奈川県に生息する絶滅危惧種のDNAについて東京大学と共同研究を実施。また、職員が地元小学校へ出向き、固有種である三浦メダカの飼育方法のアドバイスや希少な生物の繁殖と種の保存について考える「三浦メダカの里親制度」を行っています。



■EV（電気自動車）の推進

自治体としてEVの普及促進を図っている横須賀市の施策に賛同し、横須賀市内にある京急グループ施設にEV用の充電器を設置しています。設置場所は、観音崎京急ホテル、同ホテル内の温浴施設SPASSO、京急ストアFHaB湘南池上店、京急ストアハイランド店の各駐車場で、営業時間内に無料でご利用いただけます。



※将来的に有料化される場合もあります。

■「小網代の森」の自然環境保全に協力

三浦市の「小網代の森」は自然のままの水系が残され、希少種を含む貴重な生態系が形成されている、地域のかけがえのない財産です。京急電鉄は、神奈川県による「小網代近郊緑地保全区域」の指定に同意し、所有する約10haを自主保存するとともに、約2haを神奈川県に寄付しました。また2014年5月には森林内を散策するための木道の一部整備し神奈川県に寄付、2018年5月には常設トイレの設置に伴い神奈川県に敷地を貸与するなど、小網代の森の自然環境保全に協力しています。



||||| 住民や自治体との取り組み

人々の生活に密着したさまざまな事業を行っている京急グループだからこそ、地域に根差した企業集団として、住民の皆さまや自治体と連携した地域貢献に努めています。

■神奈川県とSDGs連携協定を締結

2019年1月22日に神奈川県と「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結しました。神奈川県と緊密な相互連携と協働によりSDGs活動を推進することで、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、さまざまな課題解決に向けて努めています。

その取り組みの一環として、海洋プラスチックごみの削減に向け、オリジナルエコバッグの配布や京急グループ全社にて生分解性ストローの導入を実施しています。また、夏の海水浴シーズン前には、京急沿線各所の海岸でビーチクリーン活動に取り組みました。



■「ノルエコけいきゅん」で横浜市の環境保全活動をサポート

京急グループCSR活動の一環である「ノルエコ」を多くの方にPRするため、京急電鉄マスコットキャラクターのけいきゅんが環境をイメージした緑色になり、「ノルエコけいきゅん」として登場しました。この「ノルエコけいきゅんぬいぐるみ」を期間・数量限定で販売し、2018年8月に、売上全額を横浜市環境保全基金へ寄付し、横浜市の環境保全活動をサポートしました。



■長野県と生物多様性保全パートナーシップ協定

京急電鉄と長野京急カントリークラブは、長野県と「生物多様性保全パートナーシップ協定」を締結しています。長野京急カントリークラブは、環境に優しいゴルフ場経営を目指しており、地域で事業を営む企業の責務として長野県の豊かな自然環境を未来の世代につなぐ活動に参加することに賛同。長野京急カントリークラブの売上金の一部を環境保全のため長野県へ寄付を行っており、寄付金は県内の小中学校への環境学習の支援に活用されています。



■駅長が社会福祉施設を訪問

横須賀中央駅、京急久里浜駅、三浦海岸駅および品川駅の4駅長が、2019年5月29日に、京急沿線の社会福祉施設「希望のひかり」を訪問しました。当日は、パーパークラフト作成や、子どもたちと手づくりしたおやつを食べながらの歓談、京急の制服を着ての記念撮影およびプレゼント贈呈などを実施し、子どもたちと思い出に残る楽しいひとときを過ごしました。



■各地とお客さまをつなぐフェアを開催

都心から羽田空港への主要アクセスを担う京急電鉄は、羽田空港でつながる各地とお客さまをつなぎ、各地へのさらなる誘客を図るフェアを、京急グループ全体で開催しています。

京急あきたフェア2018

JA全農あきた、秋田県と共催にて、京急グループ施設などにおいて、イベントや物産展などの開催、秋田県産あきたこまち「あきたecoらいす」の販売を行いました。また、京急創立120周年と京急あきたフェア10周年を記念し、「京急オリジナル日本酒をつくろう!!プロジェクト」を実施。京急グループ社員が原材料である酒米の田植えから稲刈り、酒の仕込み作業を体験し造った、記念酒「京秋の恵」をはじめ、京急オリジナルパッケージの米菓「淡雪ふわり」やお客さまからのご要望が多かった「あきたecoらいすの無洗米2kg・5kg」などの記念商品を販売しました。期間中は、沿線の京急グループ施設においてさまざまな企画を通して秋田が紹介され、京急線の羽田アクセスの想起にとどまらず、日本の伝統的な食文化を広く伝える機会となりました。



■羽田空港国内線ターミナル駅開業20周年記念「京急ラッピング車両」

2018年11月に、羽田空港国内線ターミナル駅は、開業20周年を迎えました。これを記念し、全国各地で、京急電鉄の赤と白のカラーリングを採用した全面ラッピング車両の運行を実施し、京急空港線のPRを積極的に展開しています。



大阪モノレール



高松琴平電気鉄道



広島電鉄



長崎電気軌道



鹿児島市電



沖縄都市モノレール

||||| 新規事業の創出

時代の変化に応じたビジネスモデルの変革を目指し、異業種企業やスタートアップ企業とのオープンイノベーションによる新規事業・価値の創出を積極的に図っています。

■「モビリティを軸とした豊かなライフスタイルの創出」をビジョンに掲げ、アクセラレータープログラムを実施

オープンイノベーション施策の一環として、スタートアップ企業との事業共創により新規事業・価値の創出を目指す「京急アクセラレータープログラム」を2017年より実施しています。2018年度に開始した第2期プログラムでは、「モビリティを軸とした豊かなライフスタイルの創出」をビジョンとして掲げ、102社の応募の中から、「人の移動」を起点に新たなライフスタイルを生み出していく5社を採択しました。

最新のビジネスモデルやテクノロジーを展開するスタートアップ企業と、豊富な事業基盤を持つ京急グループがタッグを組み、鉄道を軸とした移動インフラに加え、次世代モビリティや各種サービスにより地域をシームレスにつなげ、沿線地域の魅力を向上させる「地域連携型 MaaS」を目指していきます。



「京急アクセラレータープログラム」ロゴ



成果や進捗を発表する「デモデイ」を毎年開催

■スタートアップ企業との連携を強化

国内外のスタートアップ企業と連携する機会の拡大を目指し、京急電鉄初となるベンチャーキャピタルファンドへの出資を行いました。また、既存事業とのシナジーが見込める事業を展開するスタートアップ企業との資本業務提携を検討するなど、沿線のライフスタイルを豊かにするために、今後も積極的にオープンイノベーションによる新規事業と価値の創造を図っていきます。

■品川駅高輪口エリアにオープンイノベーション拠点「AND ON SHINAGAWA」をオープン

スタートアップ企業や大企業などさまざまなプレイヤーの事業共創を加速し、新しい価値を継続的に生み出し続ける「イノベーション・エコシステム」の形成を目指し、コワーキングオフィスやイベントスペースの機能を持つオープンイノベーション拠点「AND ON SHINAGAWA (アンド オン シナガワ)」を品川駅高輪口エリアに開設しました。人々の生活を大きく変えていくことが期待されるモビリティ変革・MaaS領域に注目し、次世代の交通サービスや、そこから生み出される新しいライフスタイル・サービスの創出に特化。ベンチャー・スタートアップ企業から大企業まで、ビジョンでつながる良質なコミュニティを形成していきます。



オープンイノベーション拠点「AND ON SHINAGAWA」

インバウンドへの取り組み

激増する訪日外国人旅行者への対応、さらに2020年のオリンピック・パラリンピックの開催に向けて、多言語案内やインバウンド商品の拡充など、インバウンド施策の強化を進めています。

■日本の観光・物産博2019ブース出展

2019年6月、台湾・台北駅構内コンコースで開催された「日本の観光・物産博2019」に日本旅行と共同でブースを出展し、京急電鉄として羽田から都心アクセスのPRおよび三浦半島のPRを実施しました。また「みさきまぐろきっぱ」と「葉山女子旅きっぱ」の2種類の企画乗車券を海外で発売し、訴求に努めました。今後も訪日リピーターの多い台湾に向けたPRを強化していきます。



■鉄道向け多機能翻訳アプリを全駅に導入

京急電鉄では、駅係員による外国人のお客さまへの多言語案内をサポートする対話型の音声翻訳クラウドサービス「駅コンシェル」を2018年4月から試験導入、7月には京急線全駅（泉岳寺駅を除く）に本格導入しています。音声入力した内容を相手の言語に翻訳して対話型の画面に文章と音声で表示する機能、よく使うフレーズを登録しておくことで必要に応じてすばやく文章と音声でご案内できる機能、タッチパネルを用いたお忘れ物確認機能など、鉄道分野における具体的なニーズに対応するさまざまな機能を搭載しています。



対話型の音声翻訳

■京急ツーリストインフォメーションセンター（京急TIC）

羽田空港国際線ターミナル到着ロビー階に設置した「京急TIC 羽田空港国際線ターミナル駅」では、日・英・中・韓をはじめとした多言語に対応できるコンシェルジュが、乗車券の発売ほか、交通・観光案内などを行っており、2012年10月に日本政府観光局（JNTO）から最高ランクとなるカテゴリー3の認定を受けました。また「手ぶら観光サービス」や「MICEサポート業務」「宿泊・観光施設予約手配および発券」のサービスや、外貨両替カウンターを併設させるなど、ワンストップサービスの環境を整えています。

2018年4月には、品川駅高輪口改札横に「京急TIC 品川駅」を新設し、日・英の2言語対応を基本として、「京急TIC 羽田空港国際線ターミナル駅」と同様のサービスを提供しています。



京急ツーリストインフォメーションセンター 品川駅

■多言語サイトの改修

京急電鉄の多言語サイト「Haneda Airport Access Guide」にて、空港アクセス情報や沿線の最新情報などを発信しています。2017年11月には、スマートフォン対応ページの新設、経路検索機能を拡大し、検索結果に駅ナンバリングを表示できるようにしました。これからの訪日外国人のニーズにあわせて、随時サイトの整備や改修を実施していきます。



■京急グループ受入体制における英語研修の実施

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機に、品川・羽田を玄関口として訪れる外国人のお客さまが京急グループの交通・施設を安心してご利用いただける受入体制整備の一環として、京急電鉄本社社員、駅係員、乗務員、グループ会社社員に対して語学研修を実施し、ソフト面の充実を図っていきます。



■訪日外国人に向けたサービス強化施策として販売中のプリペイドSIMカード「KEIKYU TRAVEL SIM」

ますます増加する訪日外国人のSIMカード需要に対応し、より快適な日本滞在を迎えられるよう、訪日外国人旅行者向けプリペイドSIMカード「KEIKYU TRAVEL SIM」を2018年2月から発売しています。羽田空港を沿線に持つ京急電鉄のインバウンド対応強化の一環であり、京急グループが運営する羽田空港国際線ターミナル駅のセブン-イレブン、宿泊特化型ホテル「京急EXホテル」、「京急EXイン」の全館、羽田空港国際線ターミナル2階に自動販売機も設置したほか、2019年3月にオープンした「plat hostel keikyu asakusa karin」でも取り扱いを開始いたしました。

また、2019年9月には、みなとみらいに設置されたラグビーWC「Kanagawa Yokohama RUGBY FUN ZONE」のご案内などを封入したオリジナル仕様も販売いたしました。



(左) 台紙デザイン
(右) 自動販売機

■「KEIKYU-BUS FREE Wi-Fi」を提供

2018年4月から空港リムジンバス・アクアラインバス・深夜急行バス・中距離バス、および品川・横浜から各地を結ぶ夜間高速バス車内でフリーWi-Fiサービスの提供を開始しています。本サービスは、エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム（株）が提供しているスマートフォン向け認証アプリ（無料）「Japan Connected-free Wi-Fi」に対応しており、本サービスの利用登録をされたお客さまは、「KEIKYU-BUS FREE Wi-Fi」だけでなく、すでに「Japan Wi-Fi」に参画している他のエリア（日本全国の主要空港、主要駅、観光施設など）でも手軽な操作で簡単にフリーWi-Fiを利用できます。



利用可能な車両を示すエリアサインマーク

■鉄道事業者として日本で初めて「錯視サイン」を導入

国籍や年齢を問わずに効果のある“目の錯覚”を活用した「錯視サイン」を、鉄道事業者として日本で初めて、羽田空港国際線ターミナル駅に導入しました。立体的に見えるフロアシートを床面に設置することで、大きな荷物をお持ちのお客さまにエレベーター利用の促進をするとともに、エスカレーターからの手荷物落下事故の防止を図っています。言語に頼らない直感的な錯視サインは外国人旅行者にも有効で、導入後はエレベーター利用者が増加しています。



PR活動

沿線情報誌、WEBサイトやSNSなど、京急電鉄では、あらゆるメディア媒体を活用して京急の認知度向上に努めています。

■沿線情報誌（フリーペーパー）の発行

京急線各駅（泉岳寺駅を除く）では無料の沿線情報誌をお客さま向けに配布しています。約60年の歴史を持つ京急のまちマガジン「なぎさ」では、京急沿線の魅力やおすすめスポットなどを紹介しています。また、2018年4月に創刊した「MIULIKE（ミウライク）」は、「三浦半島へ。行く、見る、楽しむ。」をテーマに、三浦半島の豊かな自然と恵まれた資源の魅力や「海」というフィルターを通して発信し、とっておきの三浦（MIURA）の「いいね！（LIKE）」をお届けしていきます。



■京急電鉄マスコットキャラクター「けいきゅん®」

2011年羽田空港国際線ターミナル駅開業1周年を記念し誕生した、京急電鉄マスコットキャラクター「けいきゅん」。新1000形のボディーにつぶらな瞳の人気者です。京急沿線のぶらり散歩や、子どもと遊ぶのが大好き。2017年10月から期間限定で「けいきゅん号」の運行や京急の広報PR担当として沿線各地のイベントなどで活動したり、電車に設置されている車内ディスプレイや券売機でもご案内をしたりしています。2017年11月には、コミュニケーションアプリLINEで利用できる有料のクリエイターズスタンプが登場しました。



Twitter ID:@keikyunofficial URL:twitter.com/keikyunofficial
facebook www.facebook.com/keikyunofficial
LINE@ LINEの友だち検索「@keikyun」を検索



■駅メロディの導入

京急線の駅をご利用いただいているお客さまに一層の親近感を感じていただくとともに、駅周辺地域をPRするため、一部の駅の列車接近案内音として駅メロディを導入しています。列車が駅に接近すると、ホームに設置された列車接近案内装置から各駅にちなんだメロディが流れます。

実施駅名	使用楽曲(導入時期)
本線	
品川	赤い電車(2008年)
青物横丁	人生いろいろ(2008年)
立会川	草競馬(2009年)
平和島	いい湯だな(2009年)
京急蒲田	夢で逢えたら(2008年)
京急川崎	上を向いて歩こう(2008年)
生麦	ニューヨーク・ニューヨーク(2012年)
横浜	ブルーライトヨコハマ(2008年)
井土ヶ谷	さくら(2015年)
上大岡	夏色(2008年)
金沢文庫	MY HOME TOWN(2008年)
金沢八景	道(2008年)
追浜	熱き星たちよ(2018年)
横須賀中央	横須賀ストーリー(2008年)
堀ノ内	かもめが翔んだ日(2008年)

実施駅名	使用楽曲(導入時期)
浦賀	ゴジラのテーマ(2008年)
空港線	
羽田空港国際線ターミナル	世界に一つだけの花(2010~2015年) Dragon Night(2015年)
羽田空港国内線ターミナル	赤い電車(2008年)※駅開業10周年
大師線	
港町	港町十三番地(2013年)
逗子線	
新逗子	LIFE(2008年)
久里浜線	
京急久里浜	秋桜(2008年)
三浦海岸	岬めぐり(2017年)
三崎口	岬めぐり(2008~2017年) 城ヶ島の雨(2017年)

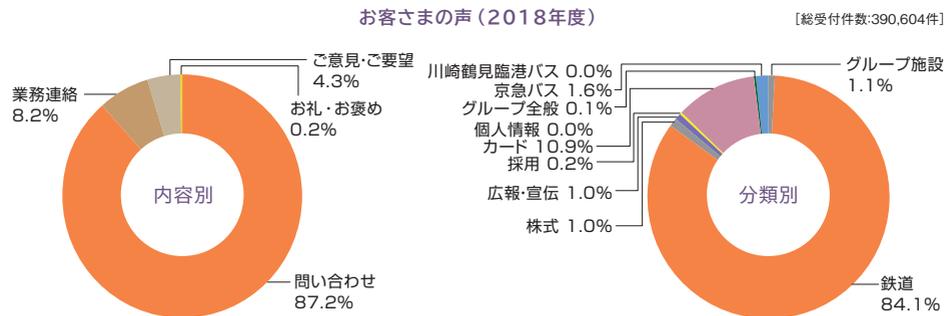
※ 2019年3月現在

CS活動

京急ご案内センターを中心に、お客さまとのコミュニケーションを図り、その声をサービスに生かす取り組みを行っています。

■京急ご案内センター

京急電鉄では、京急グループをより身近に感じていただけるよう、京急線の時刻や運賃、忘れ物のご案内はもちろん、京急グループのサービスや施設に関するお問い合わせ、ご意見・ご要望にお応えするため、「京急ご案内センター」を開設しています。



■お客さまの声に基づく改善事例

事例：エスカレーター使用のルール

ご意見

- ・エスカレーターは左側に立ち止まり、右側は歩く人のために空ける。いつからそうなってしまったのか。子ども連れで利用する時には非常に困る。
- ・エスカレーターで前の方がスーツケースを落とした。手を離さないように注意喚起してほしい。

対応

エスカレーターを歩くという暗黙のルールに対し、エスカレーターでは歩かず2列でご利用いただくよう、上の画像のように各駅エスカレーターに啓発ステッカーの設置を進めています。



■京急通訳サービス

羽田空港の国際化に伴い、2010年10月から、京急線各駅（泉岳寺駅を除く）および京急グループ各社で利用可能な「京急通訳サービス」を行っています。英語・中国語・韓国語に対応する専門オペレーターが、3者間通話により、お客さまとの会話を電話でサポートしています。複雑で多岐にわたる質問にも、京急通訳サービスを利用することで、お客さまとのコミュニケーションが円滑になり、迅速かつ正確な対応が可能になります。これからも、海外からのお客さまが、より安心して京急グループの交通機関や施設を利用できるようなサービスを提供するとともに、お客さまのニーズをサービス向上に反映できるよう、取り組みの検証を進めていきます。

京急ご案内センター

ハロー・ハロー
TEL 03-5789-8686
または TEL 045-441-0999
受付時間／平日9:00~19:00
土・日・祝日9:00~17:00
※営業時間は変更になる場合がございます。



株主・投資家への取り組み IR活動

京急グループでは、透明性の高い経営の実現に向けて、適時・適切な情報開示に努めるとともに、IR活動の強化に取り組んでいます。

株主・投資家とのコミュニケーション

■情報開示

京急グループでは、法令などに基づき、重要情報を適時・適切に開示しています。また、WEBサイトのIRページにおいて、月次営業成績のほか、決算短信、決算補足説明資料や有価証券報告書、ファクトブック、株主総会や投資家向け会社説明会で用いた資料や動画を公開するなど、株主・投資家への情報開示に努めています。



当社WEBサイト「IRライブラリー」

■株主総会

毎年500名ほどの株主の皆さまにご出席いただき、1年間の事業内容をご報告し、映像やナレーションを用いてわかりやすく報告しています。また、質疑応答を通じ、株主の皆さまとの対話の充実に努めています。さらに、議決権行使の円滑化を図るため、招集通知を発送に先立ちWEB上で早期開示しています。



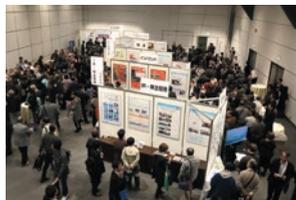
定時株主総会

■投資家向け会社説明会

京急グループの経営方針や成長戦略、株式や株主優待制度などを、より多くの皆さまにご理解いただき、投資の参考としていただくため、機関投資家・個人投資家向け会社説明会を定期的に開催しています。



機関投資家向け会社説明会



個人投資家向け会社説明会

■IRイベントへの参加

個人投資家の皆さまに、京急グループの成長戦略や当社株式の魅力などをご理解いただき、投資のご参考としていただくため、さまざまなIRイベントや説明会に参加し、積極的なIR活動に努めています。



日経IRフェア(説明会)



東証IRフェスタ(社長講演)

■株主向け施設見学会

株主の皆さまに京急グループの事業について理解を深めていただくため、定期的に株主向けの施設見学会を開催しています。2018年度は、京急創立120周年記念として「京急発祥の地を巡る川崎大師見学ツアー」「KEIKYU OPEN TOP BUSと京急油壺マリンパークを巡る三浦半島の魅力をたっぷり感じるツアー」の2回を開催しました。



「京急発祥の地を巡る川崎大師見学ツアー」の様子



「KEIKYU OPEN TOP BUSと京急油壺マリンパークを巡る三浦半島の魅力をたっぷり感じるツアー」の様子

■株主優待のご案内

京急グループ施設株主優待割引券のほか、株式数に応じて電車・バス全線きっぷやホテル宿泊券等が選択できる株主優待制度を設けています。

ご所有株式数	基準日	電車・バス全線きっぷ	京急EXホテル・京急EXイン 無料宿泊券(シングル)	電車全線バス	バス全線バス
100株以上 200株未満	9月末	-	-	-	-
	3月末	2枚	-	-	-
200株以上 500株未満	9月末	2枚	-	-	-
	3月末	2枚	-	-	-
500株以上 1,500株未満	9月末	4枚	-	-	-
	3月末	4枚	-	-	-
1,500株以上 2,500株未満	9月末	8枚	-	-	-
	3月末	8枚	-	-	-

ご所有株式数		いずれか1つ選択	いずれか1つ選択	電車・バス全線きっぷ	さらに3年以上継続の場合
2,500株以上 5,000株未満	9月末	15枚	1枚	-	-
	3月末	15枚	1枚	-	-
5,000株以上 10,000株未満	9月末	30枚	2枚	-	-
	3月末	30枚	2枚	-	-
10,000株以上 15,000株未満	9月末	60枚	4枚	-	-
	3月末	60枚	4枚	-	-

ご所有株式数	半期に2枚	半期に5枚
100株以上 500株未満	半期に2枚	半期に5枚
500株以上	半期に4枚	半期に10枚

スタンダードプランから	5%割引 (1回1,000円以上(税別)のお買い上げで利用可能)
1,000円割引	

電車・バス全線きっぷ	さらに3年以上継続の場合
15枚	15枚
15枚	15枚
15枚	15枚
15枚	15枚
15枚	15枚

※電車・バス全線きっぷは、京急電鉄全線および京急グループ(京浜急行バス、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。(空港リムジンバスは、横浜駅(YCAT)・横浜駅西口~羽田空港線のみご利用になれます。)

※株主優待の詳細は、京急電鉄WEBサイトをご覧ください。

京急電鉄 会社概要

会社概要

社名／京浜急行電鉄株式会社 [Keikyu Corporation]
 創立／1898 (明治31) 年2月25日 (前身：大師電気鉄道株式会社)
 設立／1948 (昭和23) 年6月1日
 本社／〒220-8625
 神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号
 資本金／437億円
 代表者／取締役社長
 原田 一之 (はらだ かずゆき)
 従業員／2,905人
 主な事業内容／交通事業
 不動産事業
 レジャー・サービス事業
 流通事業
 その他の事業

社紋



円形が企業の主体である電車・バスの車輪と、会社の団結とを象徴し、京急のイニシャルKと、片仮名のケの文字を、スピード感、安定感のある型にデフォルメし、この円と組み合わせたもので、Kの先端が円形の外側までシャープにつきでているのは、将来如何なる困難にあっても、その壁を突破して伸展していく力強さをあらわしています。

ロゴ

KEIKYU
 京急電鉄

KEIKYU
 京急グループ

スローガン

あんしんを羽ばたく力に —— 京急グループ

「安全」。それは、鉄道を中心とした京急グループにとっての社会的使命です。すべては、「安全」を守ることで「安心」につながり、その「安心」が、未来へ羽ばたく力となる。
 このような想いを込めたスローガンが、この「あんしんを羽ばたく力に」です。「あんしん」という言葉によって、お客さまとともに未来を築くグループである、という宣言をし、「羽ばたく」という言葉によって、京急の躍進の象徴である「羽田」を意識させながら、さらなる前進の意思を表明します。

役員

取締役会長 (代表取締役)	石渡 恒夫	取締役社長 (代表取締役) 社長執行役員	原田 一之	取締役 副社長執行役員	小倉 俊幸
取締役 専務執行役員	道平 隆	取締役 専務執行役員	本多 利明	取締役 執行役員	平位 武
取締役 常務執行役員	浦辺 和夫	取締役 常務執行役員	渡辺 静義	取締役 常務執行役員	川俣 幸宏
取締役 執行役員	佐藤 憲治	取締役 執行役員	佐々木 謙二	取締役 執行役員	友永 道子
取締役	寺島 剛紀	常勤監査役	森脇 朗	常勤監査役	廣川 雄一郎
監査役	末綱 隆	監査役	須藤 修	執行役員	上野 賢了
執行役員	三原 弘之	執行役員	金子 雄一	執行役員	櫻井 和秀

※取締役佐々木謙二、友永道子および寺島剛紀の3氏は、社外取締役です。
 ※常勤監査役森脇朗、監査役末綱隆および須藤修の3氏は、社外監査役です。

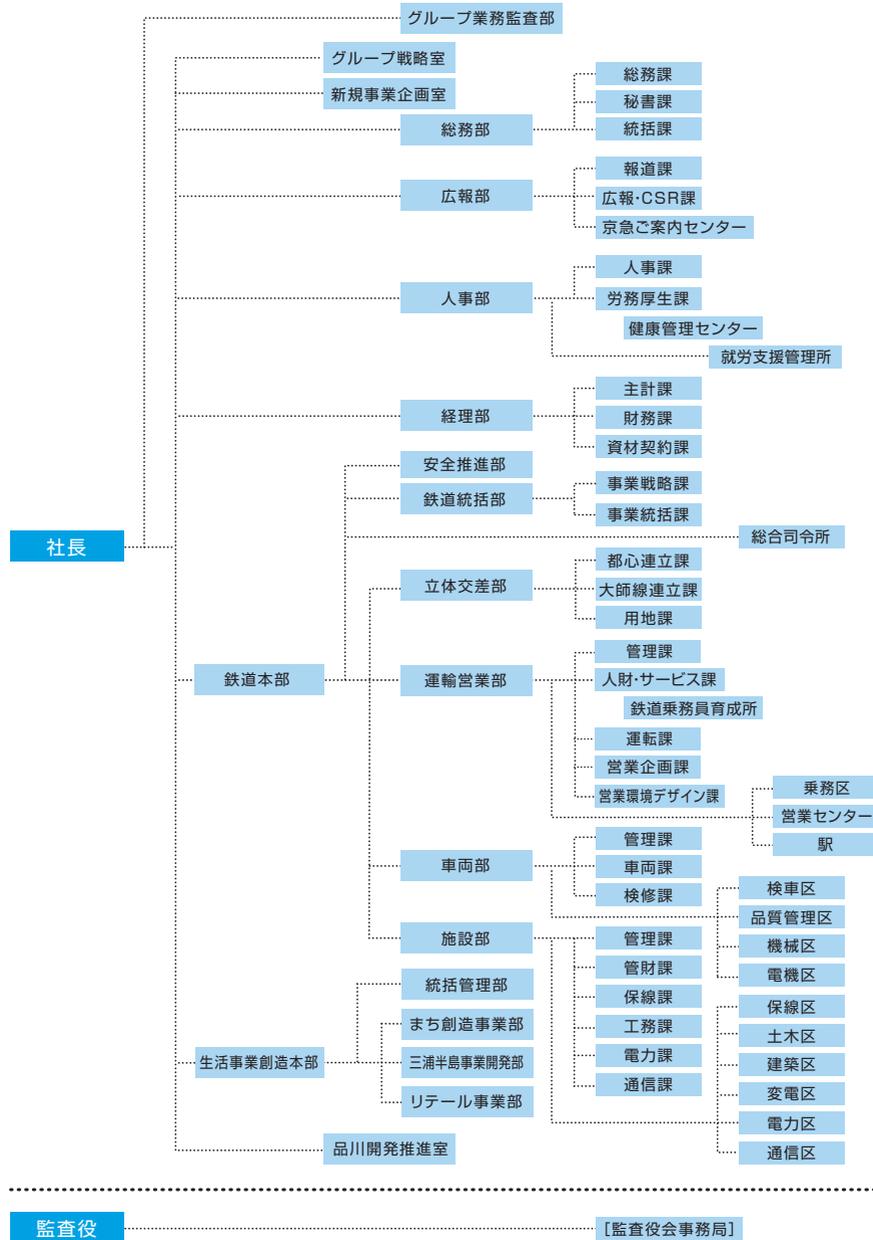
社歌

人間が好きだから - 京急の仲間達 -

作詞 田中京子 補作詞 荒木とよひさ 作曲 服部克久

- この空が好きだから 微笑が好きだから
 心の夢をふくらます 風色の未来をありがとう
 いま みんな光ってる いま 京急の仲間達
 この世界で暮してる 人間が好きだから
 この世界で暮してる 人間が好きだから
- この海が好きだから 優しさが好きだから
 瞳の中に映してる 風色の季節をありがとう
 いま みんな光ってる いま 京急の仲間達
 この地球で暮してる 人間が好きだから
 この地球で暮してる 人間が好きだから
- この街が好きだから ふれ合いが好きだから
 笑顔の花をゆらしてる 風色の希望をありがとう
 いま みんな光ってる いま 京急の仲間達
 この宇宙で暮してる 人間が好きだから
 この宇宙で暮してる 人間が好きだから

業務組織図



人員構成

部門別人員

区分	性別	人員(人)	平均年齢(歳)	平均勤続(年)
本社	男	468	43.80	20.04
	女	84	36.33	10.88
	計	552	42.66	18.64
現業	男	2203	37.68	15.81
	女	150	30.08	5.62
	計	2353	37.19	15.16
全社	男	2671	38.75	16.55
	女	234	32.33	7.51
	計	2905	38.23	15.83

所属別人員

部・室	性別	男(人)	女(人)	計(人)	
グループ業務監査部		10	4	14	
グループ戦略室		31	10	41	
新規事業企画室		11	3	14	
総務部		22	9	31	
広報部		20	7	27	
人事部		46	9	55	
経理部		20	6	26	
鉄道本部	安全推進部	5	0	5	
	鉄道統括部	16	2	18	
	立体交差部	25	3	28	
	運輸営業部	1707	150	1857	
	車両部	249	4	253	
	施設部	361	8	369	
	総合司令所	36	1	37	
	生活事業創造本部	統括管理部	26	4	30
		まち創造事業部	31	5	36
		三浦半島事業開発部	12	4	16
リテール事業部		19	2	21	
品川開発推進室		23	3	26	
監査役会事務局		1	0	1	
合計		2671	234	2905	

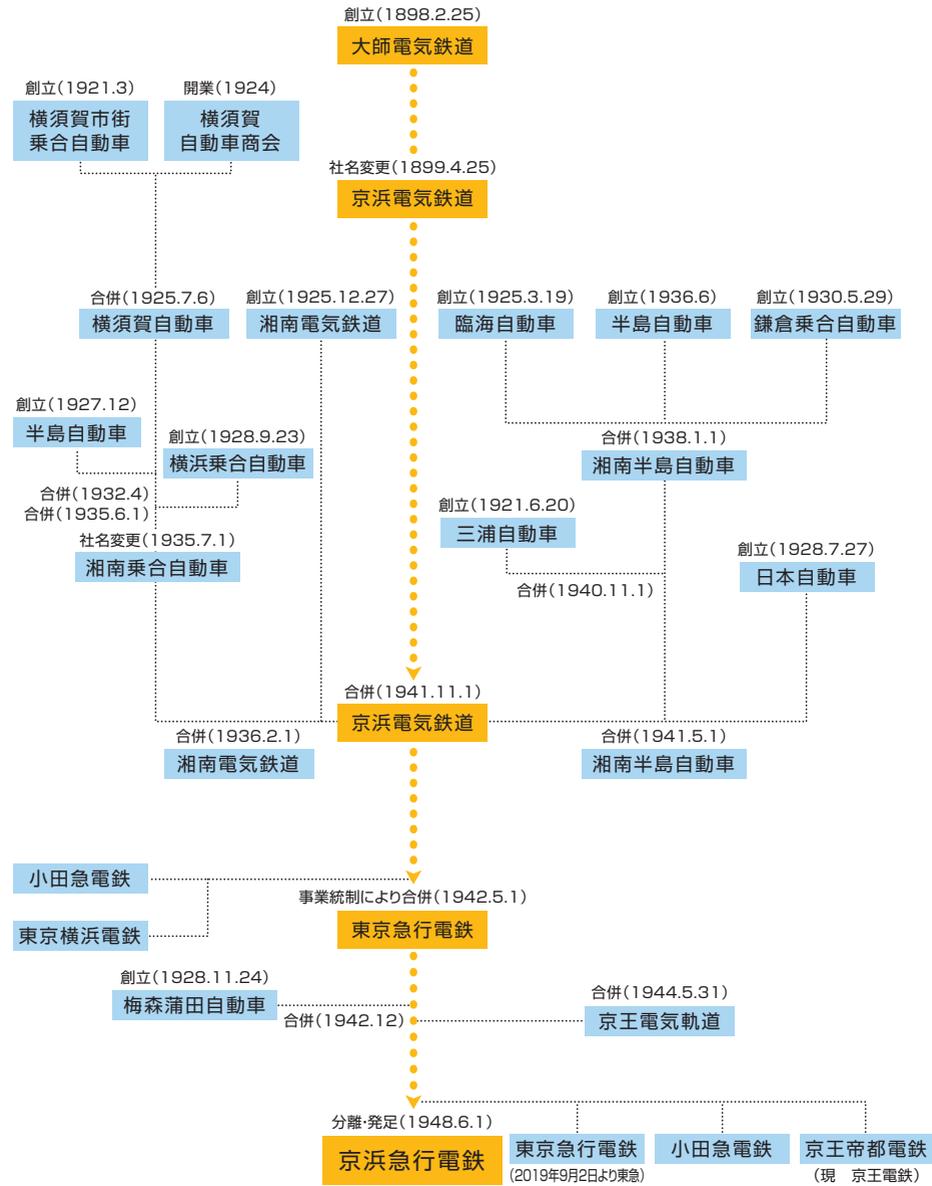
年齢別人員

年齢	人員(人)
16~20歳	195
21~25歳	401
26~30歳	362
31~35歳	335
36~40歳	283
41~45歳	343
46~50歳	557
51~55歳	265
56~60歳	163
61歳以上	1

勤続別人員

年数	人員(人)
0~5年	1172
6~10年	216
11~15年	224
16~20年	34
21~25年	193
26~30年	597
31~35年	272
36~40年	177
41年以上	20

沿革図



京急グループ 決算概要

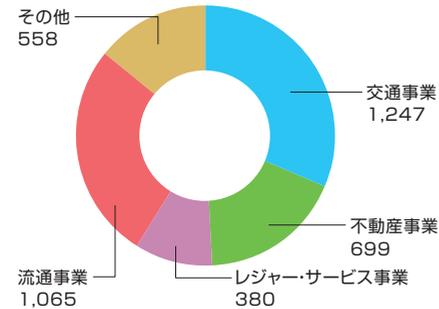
第98期 (2018年4月1日~2019年3月31日まで)

連結決算ハイライト

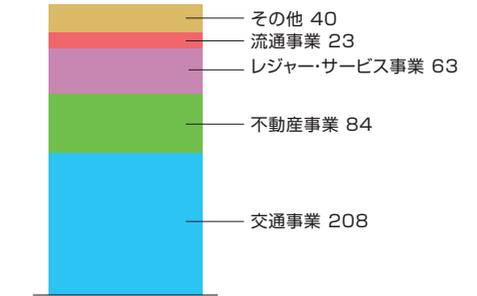
■ 経営成績の概要

営業収益 3,392億円 (前期比 7.5%増)	営業利益 401億円 (前期比 36.2%増)	経常利益 377億円 (前期比 38.4%増)	親会社株主に帰属する 当期純利益 207億円 (前期比 28.2%増)
--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--

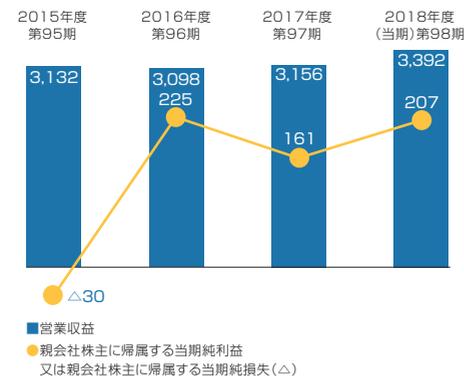
■ セグメント別(事業別)
営業収益(億円)



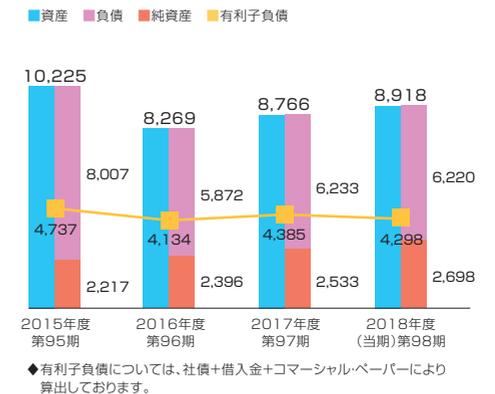
■ セグメント別(事業別)
営業利益(億円)



■ 営業収益・親会社株主に帰属する
当期純利益の推移(億円)



■ 総資産・有利子負債等の推移(億円)



Ⅲ 連結財務諸表(要旨)

第98期(2018年4月1日~2019年3月31日)

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末	当期末
資産の部		
流動資産	128,189	126,731
現金及び預金	43,862	45,742
受取手形及び売掛金	15,303	26,229
商品及び製品	2,865	2,691
分譲土地建物	59,304	44,606
仕掛品	417	591
原材料及び貯蔵品	250	281
その他	6,206	6,616
貸倒引当金	△19	△27
固定資産	748,489	765,113
有形固定資産	614,968	627,399
建物及び構築物	319,078	321,992
機械装置及び運搬具	39,897	43,816
土地	171,236	172,759
建設仮勘定	78,070	81,677
その他	6,685	7,153
無形固定資産	7,720	5,827
のれん	2,487	-
その他	5,233	5,827
投資その他の資産	125,799	131,886
投資有価証券	71,370	77,849
長期貸付金	1,257	1,100
繰延税金資産	5,563	6,130
退職給付に係る資産	25,109	24,593
その他	22,632	22,367
貸倒引当金	△133	△154
資産合計	876,679	891,844

	前期末	当期末
負債の部		
流動負債	218,902	221,579
支払手形及び買掛金	36,708	39,193
短期借入金	129,929	125,637
コマーシャル・ペーパー	-	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	4,690	7,279
前受金	4,926	5,056
賞与引当金	1,330	1,485
役員賞与引当金	109	112
災害損失引当金	-	290
その他の引当金	76	243
その他	31,131	32,281
固定負債	404,411	400,425
社債	95,000	105,000
長期借入金	203,647	189,211
繰延税金負債	12,150	11,884
役員退職慰労引当金	390	439
退職給付に係る負債	10,289	10,608
長期前受工事負担金	55,646	56,155
その他	27,287	27,126
負債合計	623,314	622,005
純資産の部		
株主資本	231,837	248,141
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	144,592	160,900
自己株式	△652	△656
その他の包括利益累計額	21,048	20,705
その他有価証券評価差額金	14,126	17,063
為替換算調整勘定	-	△10
退職給付に係る調整累計額	6,922	3,653
非支配株主持分	478	992
純資産合計	253,365	269,839
負債純資産合計	876,679	891,844

■連結損益計算書

(単位:百万円)

	前期	当期
営業収益	315,685	339,268
営業費	286,210	299,120
営業利益	29,474	40,147
営業外収益	3,079	2,383
営業外費用	5,264	4,757
経常利益	27,289	37,774
特別利益	1,076	2,792
特別損失	3,571	9,780
税金等調整前当期純利益	24,795	30,786
法人税、住民税及び事業税	8,299	10,767
法人税等調整額	336	△679
法人税等合計	8,636	10,087
当期純利益	16,159	20,698
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期損失(△)	3	△15
親会社株主に帰属する当期純利益	16,155	20,714

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	54,388	55,875
投資活動による キャッシュ・フロー	△75,715	△41,297
財務活動による キャッシュ・フロー	21,018	△12,696
現金及び 現金同等物の 増減額(△は減少)	△308	1,880
現金及び 現金同等物の 期首残高	44,020	43,712
現金及び 現金同等物の 期末残高	43,712	45,592

■連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有 価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	43,738	44,158	144,592	△652	231,837	14,126	-	6,922	21,048	478	253,365
当期変動額											
剰余金の配当			△4,406		△4,406						△4,406
親会社株主に帰属 する当期純利益			20,714		20,714						20,714
自己株式の取得				△3	△3						△3
自己株式の処分		△0		0	0						0
連結範囲の変動										531	531
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						2,936	△10	△3,269	△343	△17	△360
当期変動額合計	-	△0	16,307	△3	16,304	2,936	△10	△3,269	△343	513	16,474
当期末残高	43,738	44,158	160,900	△656	248,141	17,063	△10	3,653	20,705	992	269,839

京急グループ 会社概要

※社員数はいずれも正社員数で2019年3月31日現在
(流通再編に伴い一部会社については4月30日現在)

● 交通事業

京浜急行バス株式会社 www.keikyu-bus.co.jp

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8
TEL 045-264-6880

〈主な事業内容〉乗合バス事業

〈代表者〉平位 武 〈設立〉2003年4月 〈資本金〉1億円 〈社員数〉1,815人



京急バスリアルエステート株式会社

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-264-6880

〈主な事業内容〉不動産賃貸事業

〈代表者〉平位 武 〈設立〉1958年2月 〈資本金〉1億2,000万円 〈社員数〉0人

東洋観光株式会社 www.toyokankou.co.jp

本社事務所 〒239-0831 神奈川県横須賀市久里浜7-6-1 TEL 046-837-3900

〈主な事業内容〉貸切バス事業

〈代表者〉井ノ口 聡 〈設立〉1953年2月 〈資本金〉2,000万円 〈社員数〉36人

川崎鶴見臨港バス株式会社 www.rinkobus.co.jp

本社事務所 〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬3-21-6
TEL 044-280-3421

〈主な事業内容〉乗合バス事業、貸切バス事業

〈代表者〉田中 伸介 〈設立〉1937年11月 〈資本金〉1億8,000万円 〈社員数〉766人



京急交通株式会社 www.keikyu-taxi.com

〒247-0055 神奈川県鎌倉市小袋谷1-173-3
TEL 0467-45-8131

〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉木村 健 〈設立〉1948年10月 〈資本金〉9,000万円 〈社員数〉160人

品川営業所 〒140-0011 東京都品川区東大井1-21-13

TEL 03-3474-2262

大船営業所 〒247-0055 神奈川県鎌倉市小袋谷1-173-3

TEL 0467-45-8131



ジャパンタクシー

京急横浜自動車株式会社

本部事務所 〒233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西3-11-15
TEL 045-847-5541

〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉木村 健 〈設立〉1954年8月 〈資本金〉6,000万円 〈社員数〉76人



京急文庫タクシー株式会社

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-15-2 TEL 045-783-8200

〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉木村 健 〈設立〉1954年1月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉72人

京急葉山交通株式会社

〒240-0113 神奈川県三浦郡葉山町長柄1 TEL 046-877-1284

〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉木村 健 〈設立〉1950年10月 〈資本金〉1,400万円 〈社員数〉57人

京急中央交通株式会社

〒239-0831 神奈川県横須賀市久里浜2-12-5
TEL 046-835-1562

〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉木村 健 〈設立〉1952年1月 〈資本金〉2,000万円 〈社員数〉103人



ユニバーサルデザインタクシー

京急三崎タクシー株式会社

〒238-0223 神奈川県三浦市原町15-13 TEL 046-882-4195

〈主な事業内容〉タクシー事業

〈代表者〉木村 健 〈設立〉1963年4月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉33人

● 不動産事業

京急不動産株式会社 www.keikyu-sumai.com

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-307-3813

〈主な事業内容〉土地・建物の売買、仲介、賃貸の各事業

〈代表者〉坂齊 素彦 〈設立〉1958年9月 〈資本金〉10億円 〈社員数〉160人

臨港エステート株式会社 www.rinko-estate.co.jp

本社事務所 〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬3-21-6 TEL 044-280-3451

〈主な事業内容〉不動産賃貸事業

〈代表者〉田端 哲夫 〈設立〉2005年10月 〈資本金〉8,000万円 〈社員数〉1人

株式会社Rバンク www.r-bank.co.jp

本社事務所 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-12 TEL 03-5464-2520

〈主な事業内容〉リノベーションコーディネート事業、不動産仲介・管理、コンサルティング事業、シェアハウス事業

〈代表者〉本多 利明 〈設立〉2006年8月 〈資本金〉2,000万円 〈社員数〉12人

●レジャー・サービス事業

株式会社観音崎京急ホテル

本社事務所 〒239-0811 神奈川県横須賀市走水2-1157-2 TEL 046-841-2200

〈主な事業内容〉ホテルの経営、温浴施設、グランピングの運営
 〈代表者〉草川 晴夫 〈設立〉1984年9月 〈資本金〉2億円 〈社員数〉23人

観音崎京急ホテル www.kannon-kqh.co.jp

開業 1985年7月
 交通 馬堀海岸駅からバス10分 ※無料送迎バスあり
 規模 延床面積 6,734㎡(2,037坪)
 構造 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階建(一部3階建)
 内容 客室60室 収容人員174名、チャペル、レストラン193席、駐車場72台、プール、バー・ラウンジ



SPASSO www.kannon-kqh.co.jp/spasso

所在地 神奈川県横須賀市走水2-1157-2 TEL 046-844-4848
 開業 2005年6月
 交通 馬堀海岸駅からバス10分 ※無料送迎バスあり
 規模 延床面積 1,863㎡(563坪)
 構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建
 内容 露天風呂他各種浴槽、ミストサウナ他各種サウナ、ヒーリングルーム、ボディケアルーム、エステルーム(女性限定)、駐車場70台



snow peak glamping 京急観音崎 www.kannon-kqh.co.jp/lp/glamping/

所在地 神奈川県横須賀市走水2-1157-2 TEL 046-841-2525
 開業 2017年6月
 交通 馬堀海岸駅からバス10分 ※無料送迎バスあり
 規模 延床面積 33.12㎡(9.9坪) ※ウッドデッキ含む
 構造 ヒノキ合板
 内容 モバイルハウス(客室)3棟、屋外デッキ



株式会社京急イーエックスイン www.keikyu-exinn.co.jp

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-307-3870

〈主な事業内容〉ホテルの経営、運営受託および経営指導
 〈代表者〉四宮 浩 〈設立〉2007年7月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉300人

京急EXホテル 品川(※2018年10月にリブランド)

所在地 東京都港区高輪3-13-3(SHINAGAWA GOOS内) TEL 03-6743-3910
 開業 2011年4月
 交通 品川駅高輪口から徒歩3分
 規模 延床面積 84,014㎡(25,414坪)
 構造 鉄筋コンクリート造 地上30階/地下3階建
 内容 客室935室(シングル156室、ツイン・ダブルなど779室)



京急EXホテル 高輪(※2018年10月にリブランド)

所在地 東京都港区高輪4-10-8 TEL 03-5423-3910
 開業 2011年11月
 交通 品川駅高輪口から徒歩3分
 規模 延床面積 4,384㎡(1,326坪)
 構造 鉄筋コンクリート造 地上12階/地下2階建
 内容 客室163室(シングル131室、ツイン32室)



京急EXイン 大森海岸駅前

所在地 東京都品川区南大井3-32-1 TEL 03-5764-3910
 開業 2007年11月
 交通 大森海岸駅から徒歩1分
 規模 延床面積 1,957㎡(592坪)
 構造 鉄筋コンクリート造 地上12階建
 内容 客室105室(シングル104室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 品川・新馬場駅北口

所在地 東京都品川区北品川2-18-1 TEL 03-5769-3910
 開業 2008年8月
 交通 新馬場駅北口から徒歩1分
 規模 延床面積 2,499㎡(756坪)
 構造 鉄筋コンクリート造 地上6階建
 内容 客室127室(シングル126室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 浅草橋駅前

所在地 東京都台東区浅草橋1-27-9 TEL 03-5820-3910
 開業 2010年4月
 交通 JR総武線浅草橋駅東口・都営地下鉄浅草線 浅草橋駅から徒歩2分
 規模 延床面積 3,706㎡(1,121坪)
 構造 鉄骨造 地上13階建
 内容 客室179室(シングル178室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 横浜駅東口

所在地 神奈川県横浜市神奈川区金港町5-7 TEL 045-441-3910
 開業 2010年9月
 交通 横浜駅きた東(A)出口から徒歩2分
 規模 延床面積 2,015㎡(609坪)
 構造 鉄筋コンクリート造 地上10階建
 内容 客室96室(シングル95室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 蒲田

所在地 東京都大田区蒲田5-28-18 TEL 03-3736-3910
 開業 2010年10月
 交通 京急蒲田駅西口・JR蒲田駅東口から徒歩5分
 規模 延床面積 3,236㎡(979坪)
 構造 鉄筋コンクリート造 地上16階/地下1階建
 内容 客室155室(シングル154室、ユニバーサル1室)



●レジャー・サービス事業

京急EXイン 秋葉原

所在地 東京都台東区秋葉原2-1 TEL 03-5289-3910

開業 2016年3月

交通 JR秋葉原駅中央改札口・東京メトロ末広町駅1番出口から徒歩5分

規模 延床面積 2,840㎡(約859坪)

構造 鉄骨造 地上10階建

内容 客室146室(シングル145室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 京急川崎駅前

所在地 神奈川県川崎市川崎区砂子1-3-1 TEL 044-246-3910

開業 2016年4月

交通 京急川崎駅から徒歩1分

規模 延床面積 3,374㎡(約1,020坪)

構造 鉄骨造 地上12階建

内容 客室175室(シングル173室、ユニバーサル2室)



京急EXイン 品川・泉岳寺駅前

所在地 東京都港区三田3-11-26 TEL 03-3453-3910

開業 2016年6月

交通 泉岳寺駅A4出口から徒歩1分

規模 延床面積 2,765㎡(約836坪)

構造 鉄骨造 地上11階建

内容 客室120室(シングル119室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 東銀座

所在地 東京都中央区築地2-15-15 TEL 03-5565-3910

開業 2016年8月

交通 都営浅草線東銀座駅5番出口から徒歩3分

規模 延床面積 4,349㎡(1,315坪)

構造 鉄骨造 地上13階建

内容 客室198室(シングル175室、ダブル11室、ツイン11室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 横須賀リサーチパーク

所在地 神奈川県横須賀市光の丘7-2 TEL 046-847-3910

開業 2017年1月

交通 YRP野比駅からバス5分、光の丘5番バス停すぐ

規模 延床面積 1,739㎡(526坪)

構造 鉄筋コンクリート造 地上6階建

内容 客室67室(シングル60室、ツイン6室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 羽田

所在地 東京都大田区羽田5-5-14 TEL 03-3742-3910

開業 2017年10月

交通 天空橋駅から徒歩3分

規模 延床面積 9,300㎡(2,813坪)

構造 鉄骨造 地上10階/地下1階建

内容 客室313室(セミダブル212室、ダブル22室、ツイン28室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 浜松町・大門駅前(※2019年3月開業)

所在地 東京都港区芝大門1-15-4 TEL 03-3431-3910

開業 2019年3月

交通 都営浅草線・大江戸線大門駅A5出口から徒歩1分

規模 延床面積2,823㎡(853坪)

構造 鉄骨造 地上13階建

内容 客室111室(シングル77室、ダブル22室、ツイン11室、ユニバーサル1室)



京急EXイン 羽田・穴守稲荷駅前(※2019年8月開業)

所在地 東京都大田区羽田4-14-4 TEL 03-3744-3910

開業 2019年8月

交通 穴守稲荷駅から徒歩2分

規模 延床面積3,074㎡(930坪)

構造 鉄骨造 地上8階建

内容 客室160室(シングル74室、ダブル69室、ツイン16室、ユニバーサル1室)



三崎観光株式会社 www.misakikanko.co.jp

本社事務所 〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1152 TEL 046-881-5216

〈主な事業内容〉宿泊施設の経営、ヨット・ボート保管

〈代表者〉草川 晴夫 〈設立〉1950年4月 〈資本金〉4億4,000万円 〈社員数〉33人

城ヶ島京急ホテル www.misakikanko.co.jp/jyogashima/

所在地 神奈川県三浦市三崎町城ヶ島693 TEL 046-881-5151

開業 1965年3月

交通 三崎口駅からバス30分

規模 敷地面積 4,201㎡(1,271坪) 建築延面積 4,161㎡(1,259坪)

構造 鉄筋コンクリート造 地上4階建(一部2階建)

内容 客室18室、収容人員110名、宴会場3室、会議室1室、レストラン60席、大浴場、露天風呂、カラオケルーム、売店、駐車場50台



ホテル京急壺観潮荘 www.misakikanko.co.jp/aburatsubo/

所在地 神奈川県三浦市三崎町小網代1152 TEL 046-881-5211

開業 1959年1月

交通 三崎口駅からバス15分

規模 延床面積 3,799㎡(1,149坪)

構造 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階建

内容 客室31室、収容人員160名、宴会場2室、会議室1室、レストラン106席、大浴場、露天風呂、駐車場58台



油壺京急マリナー www.aburatsubo-kqmarina.com

所在地 神奈川県三浦市三崎町諸磯1574 TEL 046-882-2720

開業 1962年7月

交通 三崎口駅からバス20分、シーボニア入口バス停から徒歩10分

規模 敷地面積 14,782㎡(4,471坪) 建物延床 378㎡(114坪)

内容 ヨット・モーターボート100隻



● レジャー・サービス事業

三崎「魚市場食堂」

所在地 神奈川県三浦市三崎5-245-7(三浦市三崎水産物地方卸売市場管理棟2階)
TEL 046-876-6022

開業 2018年10月

交通 三崎口駅からバス20分、三崎港バス停から徒歩5分

内容 食堂(テーブル席52席)



株式会社京急油壺マリンパーク www.aburatsubo.co.jp

本社事務所 〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1082 TEL 046-881-6281

〈主な事業内容〉水族館の経営

〈代表者〉草川 晴夫 〈設立〉1967年11月 〈資本金〉2,000万円 〈社員数〉37人

京急油壺マリンパーク

開業 1968年4月

交通 三崎口駅から京急油壺マリンパーク行きバス15分下車徒歩0分
(運行日または時間帯により「油壺」が終点となります)

規模 敷地面積 53,782㎡(16,269坪) 建築延面積 9,578㎡(2,897坪)

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造

内容 水族館、屋内海洋劇場(ファンタジウム)、レストラン、駐車場



株式会社葉山マリーナー www.hayamamarina.com

本社事務所 〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2 TEL 046-875-0002

〈主な事業内容〉ヨットハーバーの経営、物販店の経営

〈代表者〉伊東 治泰 〈設立〉1963年9月 〈資本金〉4億3,750万円 〈社員数〉19人

葉山マリーナプラザ・ヨットハーバー

開業 1964年7月

交通 新逗子駅南口からバス10分

規模 敷地面積 25,162㎡(7,611坪) 建築延面積 3,637㎡(1,100坪)

構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄筋造 地上4階建

内容 ヨット・モーターボートの保管、整備工場、観光クルージング、ボートチャーター、レンタルボート、レストラン(4店舗)、物販・サービス(5店舗)、駐車場



京急開発株式会社 www.keikyu-kaihatsu.co.jp

本社事務所 〒143-8532 東京都大田区平和島1-1-1 TEL 03-3768-9013

〈主な事業内容〉ポートレース事業、不動産賃貸事業、レジャー事業

〈代表者〉小山 勝男 〈設立〉1934年12月 〈資本金〉10億円 〈社員数〉75人

BIG FUN平和島 www.big-fun.jp

所在地 東京都大田区平和島1-1-1 TEL 03-3768-9090

開業 2002年7月

交通 平和島駅から徒歩14分 ※ワンコインバスで5分

規模 敷地面積 17,860㎡(5,402坪) 延床面積 48,610㎡(14,704坪)

構造 鉄筋造 地上8階建(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)

内容 ディスカウントストア、スーパー、フードコート、アミューズメント、飲食店、ゲームセンター、シネマ・コンプレックス、ボウリング、天然温泉、スパ・アスレチック、駐車場477台



天然温泉 平和島 www.heiwajima-onsen.jp

所在地 東京都大田区平和島1-1-1 BIG FUN平和島 2階 TEL 03-3768-9121

開業 1988年11月

交通 平和島駅から徒歩14分 ※ワンコインバスで5分

規模 延床面積 4,400㎡(1,331坪)

構造 鉄筋コンクリート造 地上4階建(一部鉄骨造)

内容 地下2,000mから湧出する良質な天然温泉を利用した12種類の浴槽、岩盤浴、レストラン、個室宴会場、フリーラウンジ、リラックスマルーム、有料リラックスマルーム(プレミアムラウンジ)、スーツケースロッカー、癒し処(指圧マッサージ・エステなど9店舗)



平和島スターボウル www.heiwajima-bowl.jp

所在地 東京都大田区平和島1-1-1 BIG FUN平和島 4階 TEL 03-3768-9151

開業 1964年12月

交通 平和島駅から徒歩14分 ※ワンコインバスで5分

規模 延床面積 2,356.56㎡(714.1坪)

構造 鉄筋コンクリート造 地上4階建(一部鉄骨造)

内容 全30レーン、オートパンバー機能、BARターキー、プロショップ、スロットカーサーキット、ゲームコーナー、喫煙ルームあり、オートスコアラー、ボウリングミニゲーム



天然温泉みうら湯弘明寺店 www.miurayu.com

所在地 神奈川県横浜市区南区中里1-25-1 TEL 045-710-1126

開業 2003年6月

交通 弘明寺駅から徒歩7分

規模 敷地面積 2,975㎡(901坪) 建築延面積 1,906㎡(577坪)

構造 鉄骨造

内容 露天風呂、黒湯炭酸泉、ミストサウナなど14種類のお風呂、お食事処、手もみ処、アカスリ処、エステ、カットクラブ、まつげエクステ・ネイル、無料駐車場90台



京急伊豆開発株式会社

本社事務所 〒410-2201 静岡県伊豆の国市古奈168 TEL 055-948-1612

〈主な事業内容〉ホテル・旅館の経営

〈代表者〉吉村 達也 〈設立〉1968年11月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉9人

伊豆長岡温泉 京急ホテル www.izu-keikyuhotel.com

開業 1968年11月

交通 伊豆箱根鉄道伊豆長岡駅から車5分 ※送迎あり

規模 敷地面積 19,591㎡(5,926坪) 建築延面積 4,292㎡(1,298坪)

構造 鉄骨造 地上2階建

内容 和洋室13室(禁煙10室)、半露天風呂付き和洋室3室(禁煙2室)、露天風呂付き特別室2室、和室4室、洋室(ツイン)5室、洋室(シングル)4室、収容人員130名、大宴会場1室、中宴会場2室、大浴場、露天風呂、足湯、娯楽室、会議室、カラオケラウンジ、お食事処、ガーデンパブル(夏季)、テニスコート4面、卓球1台、駐車場50台



京急ロイヤルフーズ株式会社 www.keikyu-royalfoods.co.jp

本社事務所 〒143-0006 東京都大田区平和島1-1-1 TEL 03-3768-9078

〈主な事業内容〉飲食店等の経営

〈代表者〉中島 啓之 〈設立〉1954年12月 〈資本金〉3,000万円 〈社員数〉81人

平和島整備株式会社

本社事務所 〒143-0006 東京都大田区平和島1-1-1 TEL 03-3768-9186

〈主な事業内容〉ポートレース用ボート・モーターの賃貸および管理

〈代表者〉松本 修司 〈設立〉1965年6月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉12人

● レジャー・サービス事業

株式会社京急ビルテック www.k-bt.co.jp

本社事務所 〒143-0006 東京都大田区平和島1-1-1 TEL 03-3768-9161
 〈主な事業内容〉総合ビル管理、保安警備、清掃、施設維持管理
 〈代表者〉三ツ木 哲夫 〈設立〉2002年11月 〈資本金〉5,000万円 〈社員数〉13人

株式会社市原京急カントリークラブ www.ichiharakeikyuu.co.jp

本社事務所 〒290-0221 千葉県市原市馬立3022-13 TEL 0436-36-6361
 〈主な事業内容〉ゴルフ場の経営
 〈代表者〉壽浅 実 〈設立〉1972年12月 〈資本金〉2億円 〈社員数〉27人

市原京急カントリークラブ

開業 1980年8月
 交通 JR内房線五井駅から車で約25分
 規模 敷地面積 約30万坪
 構造 鉄筋コンクリート造 平屋建 1,806㎡(546坪)
 内容 18ホール、バー72、距離6,715ヤード
 レストラン60席、練習場7打席40ヤード、アプローチ練習場、駐車場150台



株式会社長野京急カントリークラブ nagano-keikyuu.co.jp

本社事務所 〒381-0075 長野県長野市北郷2016-327 TEL 026-239-1025
 〈主な事業内容〉ゴルフ場の経営
 〈代表者〉大石 和佳 〈設立〉2002年11月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉21人

長野京急カントリークラブ

開業 1998年7月
 交通 JR長野駅から車で約30分
 規模 敷地面積 約44万坪
 構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上2階建 2,906㎡(879坪)
 内容 18ホール、バー72、距離7,045ヤード、レストラン100席、練習場12打席200ヤード、駐車場180台



株式会社京急アドエンタープライズ www.keikyuu-ad.co.jp

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-307-3860
 〈主な事業内容〉広告代理業、旅行業、建設業内装工事
 〈代表者〉亀卦川 悟 〈設立〉1992年12月 〈資本金〉1億円 〈社員数〉96人

株式会社京急アド交通メディアワーク

本社事務所 〒108-0074 東京都港区高輪2-18-10 TEL 03-3447-4822
 〈主な事業内容〉鉄道車両および駅構内における広告作業
 〈代表者〉鈴木 隆一 〈設立〉2007年3月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉2人

臨港コミュニティ株式会社 www.rinko-com.co.jp

本社事務所 〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬3-21-6 TEL 044-280-3311
 〈主な事業内容〉不動産仲介斡旋および管理業、旅行業、商事業
 〈代表者〉柿沼 昭二 〈設立〉1972年10月 〈資本金〉3,200万円 〈社員数〉5人

● 流通事業

株式会社京急百貨店

本社事務所 〒233-8556 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 TEL 045-848-1111(代表)
 〈主な事業内容〉百貨店・SC業
 〈代表者〉上野 賢了 〈設立〉1989年12月 〈資本金〉1億円 〈社員数〉251人

京急百貨店 www.keikyuu-depart.com

開業 1996年10月
 交通 上大岡駅前
 規模 売場面積 42,000㎡(12,705坪)
 構造 地下1階/地上12階建
 内容 営業時間 10:00~20:00(一部の店舗除く) 10階レストラン 11:00~22:00
 駐車場 約1,000台



ウイング新橋 www.wing-net.ne.jp/shimbashi

所在地 東京都港区新橋2丁目東口地下街1号 TEL 03-3573-7304
 開業 駐車場:1972年4月 店舗:1972年6月
 交通 JR新橋駅汐留口直結
 規模 店舗面積 1,807㎡(547坪) 〈新橋駅東口駐車場〉6,349㎡(1,920坪)、駐車台数:四輪137台、二輪59台
 構造 地下1階 〈新橋駅東口駐車場〉地下2~3階
 内容 営業時間 10:00~22:00 飲食店舗は11:00~23:00
 (※一部店舗は営業時間が異なります) 〈新橋駅東口駐車場〉24時間営業



ウイング高輪 WEST www.wing-net.ne.jp/takanawa

所在地 東京都港区高輪4-10-18 TEL 03-3449-1436
 開業 1983年11月
 交通 品川駅高輪口から徒歩1分
 規模 店舗面積 5,429㎡(1,642坪)
 構造 地上14階/地下2階建(京急第1ビル)の地上3階 地下1階部分
 地上12階/地下2階建(京急第7ビル)の地上1階部分
 内容 営業時間 11:00~21:00(平日) 10:00~20:00(土日祝)
 飲食店舗は11:00~23:00(月~土) 11:00~22:00(日祝) (※WEST-II2階、WEST-III、一部飲食店舗は営業時間が異なります)



ウイング上大岡 www.wing-net.ne.jp/kamiooka

所在地 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 TEL 045-848-7800
 開業 1996年10月
 交通 上大岡駅前
 規模 店舗面積 5,947㎡(1,799坪)
 構造 地下1階/地上3階建
 内容 営業時間 物販10:00~20:00(飲食店舗11:00~22:00)
 ※一部営業時間が異なります 駐車場約760台



● 流通事業

ウイング久里浜 www.wing-net.ne.jp/kurihama

所在地 神奈川県横浜市中区久里浜4-4-10 TEL 046-834-8958

開業 1987年4月

交通 京急久里浜駅直結

規模 店舗面積 8,914㎡(2,696坪)

構造 地上6階建

内容 営業時間 10:00~21:00(※一部店舗は営業時間が異なります)
飲食店舗は11:00~22:00 京急ストアは10:00~22:30

株式会社京急友の会

本社事務所 〒233-8556 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 TEL 045-848-7100

〈主な事業内容〉百貨店友の会業

〈代表者〉小泉 雅彦 〈設立〉1996年3月 〈資本金〉5,000万円 〈社員数〉0人

株式会社京急ストア www.keikyu-store.co.jp

本社事務所 220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-305-3100

〈主な事業内容〉ストア業 〈代表者〉佐藤 憲治 〈設立〉1933年6月 〈資本金〉1億円 〈社員数〉499人

京急ストア 東京都/品川店・平和島店・蒲田店・梶谷店 川崎市/川崎店・新川崎店 横浜市/鶴見市場店・鶴見西店・京急鶴見店・グロッサリーマーケットみなとみらい店・日ノ出町店・グロッサリーマーケット伊勢佐木町店・磯子丸山店・磯子岡村店・屏風浦店・富岡店・能見台店 横須賀店/追浜店・スパーク浦郷店・船越店・安針塚店・FHaB湘南池上店・上町店・浦賀店・北久里浜店・スパーク北久里浜店・久里浜店・新久里浜店・ハイランド店・野比店・津久井浜店・芦名店・湘南佐島店・武山店 三浦市/三浦海岸店・三浦海岸駅前店・三崎東岡店 三浦郡/葉山店 もとまちユニオン 新宿店・六本木店・新橋店・日吉店・元町店・上大岡店・鎌倉店・葉山店・ウイング久里浜店 専門店他/大船青果店・金沢文庫店 生活雑貨館ハウズ/能見台店 業務スーパー/BIG FUN平和島店・黄金町店・上大岡店 ダイソー/上大岡店 マツモトキヨシ/ウイング高輪店・京急羽田空港国際線ターミナル駅店・日吉店・京急鶴見店・金沢文庫駅店・京急久里浜駅店 セブン-イレブン京急ST/品川上り店・品川下り店・品川下り中央店・青物横丁店・平和島店・大森海岸店・大森町店・梅屋敷店・雑色店 蒲田東口駅前広場店・蒲田改札前店・穴守稲荷店・羽田空港国際線ターミナル店・羽田第1ターミナル店・羽田第2ターミナル店・川崎中央店・川崎中央改札前店・川崎駅前南店・小島新田店・横浜中央改札店・横浜北口改札店・横浜上り店・みなとみらい横浜南改札店・みなとみらい横浜駅店・みなとみらい駅改札内店・弘明寺店・鶴見店・黄金町店・上大岡京急店・上大岡中央店・上大岡上り店・上大岡急行内店・追浜店・富岡店・汐入店・金沢文庫中央店・金沢文庫改札前店・金沢文庫上り店・横須賀中央東口店・横須賀中央上り店・北久里浜店・三崎口店・久里浜店・YRP野比店 京急グッズショップ/「おとどけいきゅう」駿洲店・「おとどけいきゅうプラス」横浜港大さん橋店

ウイング高輪 EAST www.wing-net.ne.jp/takanawa

所在地 東京都港区高輪3-26-26 TEL 03-3441-4481

開業 2003年9月

交通 品川駅高輪口前

規模 店舗面積 2,605㎡(788坪)

構造 地上1階/地下1階建

内容 営業時間 10:00~21:00/10:00~23:00(京急ストア品川店)

ウイングキッチン京急蒲田 www.wing-net.ne.jp/wingkitchenkeikyukamata所在地 東京都大田区蒲田4-50-11(駅部分) TEL 044-233-8673(ウイングキッチン京急川崎)
東京都大田区南蒲田1-20-32(東口部分)

開業 2015年12月

交通 京急蒲田駅直結

規模 店舗面積 3,080㎡(932坪)

構造 駅部分 地上2階建/東口部分 地上1階建

内容 営業時間は店舗により異なります

ウイングキッチン京急川崎 www.wing-net.ne.jp/kawasaki

所在地 神奈川県川崎市川崎区砂子1-3-1 TEL 044-233-8673

開業 2016年4月

交通 京急川崎駅直結 JR川崎駅から徒歩3分

規模 店舗面積 2,372㎡(718坪)

構造 地上12階建(京急川崎ビル)の地上1~4階

内容 営業時間は店舗により異なります

ウイングキッチン京急鶴見 www.wing-net.ne.jp/wingkitchenkeiyutsurumi所在地 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-29-2,3 TEL 044-233-8673(ウイングキッチン京急川崎)
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-30-22

開業 2017年7月

交通 京急鶴見駅直結

規模 店舗面積 2,271㎡(687坪)

構造 地上2階建

内容 営業時間は店舗により異なります



株式会社京急マリーンフーズ

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-305-3145

〈主な事業内容〉水産物の加工および販売、惣菜の製造および販売

〈代表者〉東内 哲志 〈設立〉2003年3月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉0人

● その他の事業

京急建設株式会社 www.keikyu-const.jp

本社事務所 〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町1-4 TEL 045-450-7311

〈主な事業内容〉土木・建築工事の請負等

〈代表者〉白井 学 〈設立〉1961年7月 〈資本金〉3億円 〈社員数〉227人

京急電機株式会社 www.kqee.co.jp

本社事務所 〒210-0022 神奈川県川崎市川崎区池田2-2-3 TEL 044-322-5311

〈主な事業内容〉電気工事業、電気通信工事業、管工事業

〈代表者〉小島 好人 〈設立〉1946年9月 〈資本金〉1億円 〈社員数〉175人

京急電気工事株式会社

本社事務所 〒210-0022 神奈川県川崎市川崎区池田2-2-3 TEL 044-328-7672

〈主な事業内容〉電気通信・信号装置工事業、電気工事業

〈代表者〉前田 浩二郎 〈設立〉2006年1月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉11人

株式会社京急ファインテック www.keikyu-ftec.co.jp

本社事務所 〒233-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東2-1-1 TEL 045-781-1667

〈主な事業内容〉電車・自動車等輸送用機器の製作、改造、修理業務

〈代表者〉松田 義明 〈設立〉1948年10月 〈資本金〉4,300万円 〈社員数〉70人

株式会社京急ファインサービス

本社事務所 〒239-0805 神奈川県横須賀市舟倉2-4-1 TEL 046-833-9915

〈主な事業内容〉電車・自動車等輸送用機器の清掃業務、塗装工事業務

〈代表者〉島村 昭一 〈設立〉2002年2月 〈資本金〉300万円 〈社員数〉47人

●その他の事業

株式会社京急リビング www.keikyu-livco.com

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-228-7914

〈主な事業内容〉マンション管理事業、リフォーム事業、住生活支援事業

〈代表者〉原直樹 〈設立〉1977年12月(商号・事業内容変更2015年7月) 〈資本金〉5,000万円 〈社員数〉75人

京急サービス株式会社 www.keikyu-service.co.jp

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-228-9031

〈主な事業内容〉ビルメンテナンス・清掃・警備事業、生活支援事業、生花事業、保育園運営事業

〈代表者〉榎野敏弘 〈設立〉1971年2月 〈資本金〉2億円 〈社員数〉483人

京急キッズランド金沢文庫保育園 www.keikyu-kids.com/nursery/kanazawabunko.html

所在地 神奈川県横浜市金沢区谷津町384 TEL 045-783-9979

開業 2005年1月

交通 金沢文庫駅から徒歩2分

規模 延床面積 299㎡(90坪)

構造 鉄骨造 地上4階建の1階部分

内容 保育対象年齢 0歳~未就学児童 定員60名 2005年4月1日認可保育園

京急キッズランド井土ヶ谷駅保育園 www.keikyu-kids.com/nursery/idogaya.html

所在地 神奈川県横浜市南区井土ヶ谷中町161 TEL 045-730-6206

開業 2000年11月

交通 井土ヶ谷駅隣接

規模 敷地面積 629㎡(190坪) 建築延面積 299㎡(90坪)

構造 鉄骨造 2階建

内容 保育対象年齢 0歳~未就学児童 定員60名 2006年4月1日認可保育園

京急キッズランド上大岡保育園 www.keikyu-kids.com/nursery/kamioooka.html

所在地 神奈川県横浜市港南区上大岡西3-10-17 TEL 045-849-1212

開業 2002年3月

交通 上大岡駅から徒歩7分

規模 敷地面積 652㎡(197坪) 建築延面積 291㎡(88坪)

構造 鉄骨造 平屋建

内容 保育対象年齢 0歳~未就学児童 定員60名 2004年4月1日認可保育園

京急キッズランド上永谷保育園 www.keikyu-kids.com/nursery/kaminagaya.html

所在地 神奈川県横浜市港南区丸山台1-2-1 TEL 045-882-1281

開業 2007年4月

交通 横浜市営地下鉄上永谷駅から徒歩1分

規模 延床面積 299㎡(90坪)

構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 中央棟

内容 保育対象年齢 0歳~未就学児童 定員60名 2007年4月1日認可保育園

京急キッズランド港町駅前保育園 www.keikyu-kids.com/nursery/minatocho.html

所在地 川崎市川崎区港町5-4 TEL 044-245-0231

開業 2013年4月

交通 港町駅から徒歩0分

規模 敷地面積 957㎡(289坪) 建築延面積 334㎡(101坪)

構造 鉄骨造 1階建

内容 保育対象年齢 0歳~未就学児童 定員60名 2013年4月1日認可保育園

京急キッズランド黄金町保育園 www.keikyu-kids.com/nursery/koganecho.html

所在地 横浜市南区白金町1-23-2番地先 TEL 045-260-6147

開業 2013年4月

交通 黄金町駅から徒歩4分

規模 敷地面積 675㎡(204坪) 建築延面積 385㎡(116坪)

構造 軽量鉄骨造 1階建

内容 保育対象年齢 0歳~未就学児童 定員60名 2013年4月1日認可保育園

京急キッズランド京急川崎保育園 www.keikyu-kids.com/nursery/kawasaki.html

所在地 川崎市川崎区砂子1-3-1 TEL 044-245-5802

開業 2016年6月

交通 京急川崎駅から徒歩3分

規模 延床面積 311.06㎡(94坪)

構造 鉄骨造 地上12階建の5階部分

内容 保育対象年齢 0歳~未就学児童 定員60名 2016年6月1日認可保育園

株式会社京急メモリアル www.keikyu-memorial.com

本社事務所 〒236-0016 神奈川県横浜市金沢区谷津町384 TEL 045-784-9945

〈主な事業内容〉葬祭場の経営

〈代表者〉箕輪義夫 〈設立〉1998年7月 〈資本金〉3,300万円 〈社員数〉31人

京急メモリアル金沢文庫斎場

所在地 神奈川県横浜市金沢区谷津町384 TEL 045-784-9833

開業 1998年8月

交通 金沢文庫駅東口徒歩1分

規模 延床面積 1,542㎡(466坪)

構造 鉄骨造 4階建

内容 セレモニーホール、会食室、親族控室、安置室、車寄せ



京急メモリアル上永谷斎場

所在地 神奈川県横浜市港南区上永谷5-1 TEL 045-847-1194

開業 2001年11月

交通 上永谷駅から徒歩1分

規模 延床面積 1,090㎡(330坪)

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根地下1階付2階建

内容 セレモニーホール、会食室、親族控室、安置室、車寄せ



京急メモリアル久里浜斎場

所在地 神奈川県横浜須賀市久里浜4-5-1 TEL 046-830-5590

開業 2003年3月

交通 京急久里浜駅から徒歩1分

規模 延床面積 945㎡(286坪)

構造 鉄骨造 2階建

内容 セレモニーホール、会食室、親族控室、安置室、車寄せ

株式会社京急システム www.keikyu-system.co.jp

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-228-9740

〈主な事業内容〉コンピューターソフトウェアの設計・開発・販売および保守

〈代表者〉小林要司 〈設立〉1999年4月 〈資本金〉1億円 〈社員数〉90人

●その他の事業

株式会社京急自動車学校 www.keikyu-driving.co.jp

本社事務所 〒233-0003 神奈川県横浜市港南区港南2-13-12
TEL 045-842-8244

〈主な事業内容〉自動車教習所の経営

〈代表者〉森 明裕 〈設立〉1962年6月 〈資本金〉6,000万円 〈社員数〉57人



上大岡校

所在地 神奈川県横浜市港南区港南2-12-1 TEL 045-842-8241

教習車種 普通車／普通二種／大型二輪／普通二輪／小型二輪／大特車

茅ヶ崎校

所在地 神奈川県茅ヶ崎市本村3-8-54 TEL 0467-52-7106

教習車種 普通車／普通二種／大型二輪／普通二輪／小型二輪／中型車／準中型車／けん引車／大特車

株式会社鴨居自動車学校 www.kamoi-ds.co.jp

本社事務所 〒226-0003 神奈川県横浜市緑区鴨居1-5-1
TEL 045-931-5388

〈主な事業内容〉自動車教習所の経営

〈代表者〉坂野 正典 〈設立〉1964年5月 〈資本金〉5,000万円 〈社員数〉33人



株式会社京急保険サービス www.keikyu-hoken.co.jp

本社事務所 〒140-0001 東京都品川区北品川1-26-10 TEL 03-5463-2151

〈主な事業内容〉生命保険募集人業務、損害保険代理店業務、保険事務代行業務

〈代表者〉芹沢 康彦 〈設立〉2004年10月 〈資本金〉5,000万円 〈社員数〉25人

株式会社京急ビルマネジメント www.keikyu-bm.com

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-307-3800

〈主な事業内容〉土地・建物の所有・管理・賃貸借、土木・建築工事の企画・設計

〈代表者〉松尾 茂之 〈設立〉2000年8月 〈資本金〉3,000万円 〈社員数〉38人

株式会社京急ビジネス www.keikyu-business.co.jp

本社事務所 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-8 TEL 045-307-3830

〈主な事業内容〉経理・人事業務の代行、人材派遣紹介事業

〈代表者〉平光 正樹 〈設立〉2001年9月 〈資本金〉5,000万円 〈社員数〉85人

株式会社京急ウイズ

本社事務所 〒249-0006 神奈川県逗子市逗子5-10-25 TEL 046-874-0350

〈主な事業内容〉駅清掃、駐輪場管理、名刺作成、布団乾燥、クリーニング業務、電鉄本社ビル内 宅配受付と立
会業務、施設管理(寮、ファミリー倶楽部など)業務、データ入力業務、団体旅客受付業務

〈代表者〉安藤 裕一 〈設立〉2003年9月 〈資本金〉1,000万円 〈社員数〉59人

年譜

京急グループ年譜 ●1898(明治31)年～2019(平成31・令和元)年9月30日

1898(明治31)年

- 2.25 大師電気鉄道(株)創立
 - 立川勇次郎が専務取締役(代表)に就任
 - 本社を東京市京橋区南鍋町1丁目5番地に置く
- 7.25 第1回定時株主総会を開催

1899(明治32)年

- 1.21 六郷橋～大師間(約2km)が開通
(日本初の1,435mmの軌間を採用)



六郷橋～大師間
を行く電車

- 2.8 本社を川崎町久根崎19番地に移転
- 4.25 大師電気鉄道(株)を京浜電気鉄道(株)に変更
- 11.29 六郷橋～大師間で複線運転開始

1901(明治34)年

- 2.1 品川延長線、六郷橋～大森停車場前間の営業開始
- 8.24 電灯電力供給事業開始

1902(明治35)年

- 6.28 穴守線、蒲田～穴守(初代)間が開通
- 9.1 六郷橋～川崎停留所間が開通
- 10.17 『京浜電気鉄道沿革』を発行

1903(明治36)年

- 12.5 岩田作兵衛が専務取締役(代表)に就任

1904(明治37)年

- 5.8 品川(ハツ山)～八幡(大森海岸)間の開通により品川～川崎間全通、八幡～学校裏間の複線専用軌道開通
- 9.21 日本最初のボギー電車(76人乗りセミクロスシート型)10両を新造
- 10.23 雨宮敬次郎が専務取締役(代表)に就任
- 12.22 社長制を設け雨宮敬次郎が取締役社長に就任

1905(明治38)年

- 12.24 川崎～神奈川間の開通により、品川～神奈川間全通

1906(明治39)年

- 10.1 学校裏～梅屋敷間、雑色～川崎間の複線専用軌道開通
(六郷川架橋を建設)

1907(明治40)年

- 4.17 本社を川崎町堀之内831番地へ移転
- 10.24 栗生武右衛門が取締役社長に就任

1908(明治41)年

- 12.一 京浜広告社と広告請負契約締結、鉄道広告営業開始

1909(明治42)年

- 3.一 京浜電気鉄道(株)が羽田運動場を開設
- 5.15 三浦泰輔が取締役社長に就任
- 10.1 横浜電気鉄道(のち横浜市電)と連絡運輸開始
- 10.16 横浜鉄道(現JR横浜線)との汽車電車連絡切符発売
契約を締結

1910(明治43)年

- 1.1 『京浜遊覧案内』を発行
- 7.15 仲木戸付近、横浜鉄道との立体交差化工事竣工
- 8.5 青木正太郎が取締役社長に就任

1911(明治44)年

- 4.1 六郷川鉄橋開通
- 8.一 初の3扉車(90人乗り)25号形3両を新造

1912(明治45・大正元)年

- 6.24 福利共済事業として「一心会」発足

1913(大正2)年

- 7.1 大森変電所、鶴見変電所の運転開始

1914(大正3)年

- 4.17 鶴見花月園開園
- 5.1 生妻住宅地の販売開始

1915(大正4)年

- 10.12 手動式の閉そく信号機完成(2灯式)

1918(大正7)年

- 6.28 安田善三郎が取締役社長に就任

1919(大正8)年

- 10.4 創業20周年祝賀会を花月園で開催

1920(大正9)年

- 10.1 線路上に特別高圧送電線架設
- 11.25 海岸電気軌道(株)設立

1921(大正10)年

- 6.1 貨物運輸の営業開始
- 12.24 安田善五郎が取締役社長に就任

1922(大正11)年

- 6.1 川崎運河の完成で、工場用地、住宅用地の販売開始

1923(大正12)年

- 5.1 電灯・電力事業から撤退。群馬電力に売却
- 9.1 関東大震災による全線の営業停止
- 9.11 震災による営業停止の一部運転再開
- 10.18 青木正太郎が取締役社長に再就任

- 12.21 川崎鶴見臨港バス(株)がグループ会社となる
- 12.23 井田正一が取締役社長に就任
- 1949(昭和24)年
 - 2.1 急行バス、横浜～三崎間の運行開始
東京都営バスと相互乗り入れ開始(東京駅八重洲口～川崎駅間)
 - 2.23 デハ420形を10両新造
 - 5.16 東京証券取引所一部に上場
 - 6.1 創業50周年記念式典挙行
 - 6.25 京浜百貨店(株)〈現(株)京急ストア〉がグループ会社となる
 - 7.10 品川～逗子海岸駅間の直通運転(夏季)開始
○3両編成運転再開
 - 11.1 遊覧バス、鎌倉駅～建長寺～江ノ島循環の運行開始
- 1950(昭和25)年
 - 2.20 葉山観光自動車(株)がグループ会社となる
 - 6.1 ニュージャパンモーター(株)がグループ会社となる
 - 12.25 田中百敏が取締役社長に就任
- 1951(昭和26)年
 - 3.16 大師線の塩浜～桜本駅間に川崎市電が乗り入れ開始
 - 5.8 逗子線の金沢八景第2踏切道に初の自動踏切遮断機設置
 - 9.15 高周波式搬送指令電話装置を駅長所在駅に設置
 - 10.1 日本航空との特定旅客の自動車運送事業を開始
- 1952(昭和27)年
 - 1.1 大師線、塩浜～桜本駅間を川崎市へ譲渡
 - 3.21 急行の終日運転開始
 - 6.1 社歌制定
 - 6.23 湘南逗子駅に初の自動継電運動装置設置
 - 6.24 神武寺～湘南逗子駅間の複線復旧工事竣工
 - 7.6 品川～逗子海岸駅間で特急の直通運転開始
 - 10.14 電車内の案内放送開始
- 1953(昭和28)年
 - 2.25 社は制定
 - 3.25 観音崎観光(株)がグループ会社となる
 - 8.1 三崎観光(株)がグループ会社となる
 - 9.30 600形を新造(3扉通勤車)
 - 10.1 信号機に警戒・減速の現示方式を初めて採用
- 1954(昭和29)年
 - 1.19 大森水上レクリエーション(株)〈現京急開発(株)〉がグループ会社となる
 - 6.15 久里浜線の横須賀堀ノ内～湘南井田駅間の複線工事竣工
 - 6.25 久里浜線に初の列車集中制御装置(CTC)新設
 - 7.7 品川～湘南久里浜駅間の直通運転開始
 - 7.25 三浦半島一周定期遊覧バス「さざなみ」号運行開始

- 五島慶太が東京急行電鉄(株)の取締役社長に、品川営業局長に田中百敏が就任
- 公郷変電所新設使用開始
- 12.1 横須賀堀ノ内～久里浜(仮)駅間開通
- 1943(昭和18)年
 - 7.5 湘南自動車工業(株)設立
 - 9.21 久里浜駅を約500m延長移設
- 1944(昭和19)年
 - 2.24 篠原三郎が取締役社長に就任
 - 5.31 東京急行電鉄(株)が京王電気軌道(株)を合併
 - 6.1 川崎大師～産業道路駅間開通
 - 10.1 産業道路～入江崎駅間開通
- 1945(昭和20)年
 - 1.7 入江崎～桜本駅間開通
 - 3.12 平山孝が取締役社長に就任
 - 8.20 小宮次郎が取締役社長に就任
 - 12.6 大師線と川崎市電が桜本駅で接続
- 1946(昭和21)年
 - 3.1 小林中が取締役社長に就任
 - 6.14 横浜～浦賀駅間で連合国軍専用車(白帯車)の運転開始
- 1947(昭和22)年
 - 6.25 東京都との協定により、乗合バスの都内相互乗り入れ開始
 - 10.16 井田正一が取締役社長に就任
 - 11.28 (株)京急共栄会設立(2011年7月清算)
- 1948(昭和23)年
 - 6.1 京浜急行電鉄(株)発足
本社は東京都港区芝高輪南町17番地に置き、上田甲午郎が専務取締役(代表)に就任
 - 6.4 デハ5400形就役
 - 7.3 逗子線、湘南逗子～逗子海岸駅間開通
 - 7.15 品川～浦賀駅間の直通運転再開
 - 8.10 大師線、3線式乗り入れ契約を川崎市、味の素(株)、運輸省鉄道総局と締結
 - 8.1 逗子線、金沢八景～神武寺駅間の複線復旧工事竣工
 - 9.6 横浜～逗子海岸駅間の直通運転開始
 - 10.2 京浜自動車工業(株)〈のち京急車輛工業(株)、現(株)京急ファインテック〉設立
 - 10.28 京浜観光開発(株)〈現京急交通(株)〉設立
 - 10.1 東京電機(株)〈現京急電機(株)〉がグループ会社となる



- 4.1 省線品川駅へ乗り入れ開始
- 品川～浦賀駅間の直通運転開始
- 品川～横浜駅間の軌間再変更工事竣工(1,372mmを1,435mmに)
- 1935(昭和10)年
 - 2.14 望月軍四郎が湘南電気鉄道取締役会長(代表)に就任
 - 5.3 大型貸切自動車事業開始
 - 6.28 本社を川崎市堀川町29番地に移転
○ 高輪事務所を高輪南町17番地高輪ビルに開設
 - 8.1 鎌倉乗合自動車(株)がグループ会社となる
 - 9.1 梅森自動車(株)がグループ会社となる
- 1936(昭和11)年
 - 2.1 湘南電気鉄道(株)が湘南乗合自動車(株)を合併
 - 6.1 半島自動車(株)設立
 - 12.25 品川～上大岡駅間の急行運転開始
- 1937(昭和12)年
 - 8.8 湘南電気鉄道(株)が浦賀～竹岡間の汽船営業開始、湘南丸就航
- 1938(昭和13)年
 - 1.1 半島自動車(株)、臨海自動車(株)、鎌倉乗合自動車(株)の3社が合併し、湘南半島自動車(株)を設立
 - 6.1 電車42両のトロリーポールをパンタグラフに改造(通称、改パン)
 - 7.1 日本自動車道(株)を買収
- 1939(昭和14)年
 - 4.21 脇道馨が湘南電気鉄道(株)取締役会長(代表)に就任
 - 9.23 電車3両の連結運転が許可
 - 11.10 京浜タクシー(株)設立
 - 11.11 湘南電気鉄道(株)が浦賀～竹岡間の汽船営業を廃止
- 1940(昭和15)年
 - 3.29 京浜興業(株)設立
 - 12.19 京浜運輸(株)設立
- 1941(昭和16)年
 - 5.1 湘南半島自動車(株)が日本自動車道(株)を合併
 - 11.1 京浜電気鉄道(株)、湘南電気鉄道(株)、湘南半島自動車(株)3社合併、社名を京浜電気鉄道(株)とする
 - 11.25 五島慶太が取締役社長に就任
- 1942(昭和17)年
 - 5.1 京浜電気鉄道(株)、東京横浜電鉄(株)、小田急電鉄(株)3社合併、社名を東京急行電鉄(株)とする(局制を敷き、品川・渋谷・新宿の3営業局を設置)



- 1924(大正13)年
 - 3.29 市電が品川停留場へ乗り入れ運転開始
- 1925(大正14)年
 - 1.1 日本初の本格的半鋼製軽量ボギー車(旧51号形)20両の使用開始
 - 3.11 品川鉄橋(ハツ山橋)～高輪間が開通し、路線が東京市内へ入る(高輪停留場開業)
 - 12.27 湘南電気鉄道(株)設立、野村龍太郎が取締役会長(代表)に就任
- 1926(大正15・昭和元年)
 - 12.1 六郷橋～京浜川崎間の新設複線専用軌道開通
- 1927(昭和2)年
 - 8.27 八丁畷～川崎住宅地内(循環)の乗合自動車運輸開始(初のバス事業)
 - 11.1 客車に暖房設備(電熱)設置
- 1928(昭和3)年
 - 6.1 電車2両連結(総括制御)の運転開始
 - 12.28 六郷橋～川崎大師間の新設複線専用軌道開通
- 1929(昭和4)年
 - 6.22 神奈川～横浜(仮)駅(月見橋)間が開通(横浜駅で省線と連絡)
- 1930(昭和5)年
 - 2.5 横浜(仮)駅～横浜(新)駅間が開通
 - 4.1 湘南電気鉄道(株)の黄金町～浦賀間、金沢八景(六浦荘)～湘南逗子間開通
 - 4.1 電車回数乗車券を販売開始
 - 6.24 生野田六が取締役社長に就任
 - 7.6 湘南電気鉄道(株)が馬堀海岸海水浴場開設
 - 7.13 湘南電気鉄道(株)が富岡駅を開業、富岡海水浴場を開設
- 1931(昭和6)年
 - 1.1 急行の運転開始(高輪～蒲田間)
 - 1.15 臨海自動車(株)がグループ会社となる
 - 4.1 湘南電気鉄道(株)湘南逗子駅葉山口乗降場の営業開始により、逗子線延長
 - 12.26 黄金町～横浜間の開通により、湘南電気鉄道(株)と連絡線完成。横浜～浦賀間の直通運転開始(バス連絡廃止)
- 1932(昭和7)年
 - 4.12 乗合バス、品川駅前～六郷橋詰間を生麦ガード下まで路線を延長し、運行開始
 - 10.1 横浜市との契約により、乗合バス、生麦～横浜駅前間を延長し、品川～横浜間運行開始
 - 11.29 本社を川崎市京町1丁目2番地1に新築し、移転
- 1933(昭和8)年
 - 1.15 蒲田乗合自動車(株)がグループ会社となる

- 12. 一 横浜交通(株)〈現京急横浜自動車(株)〉がグループ会社となる
- 1955(昭和30)年**
 - 5.20 急行バス、東京駅八重洲口～羽田空港間の運行開始
 - 6. 一 初の乗車券自動販売機を品川・京浜川崎駅に設置
 - 7.30 東洋観光(株)がグループ会社となる
- 1956(昭和31)年**
 - 3.24 品川～横浜駅間の全踏切道で急緩行列車選別装置の使用開始
 - 4.20 穴守線、穴守稲荷～羽田空港(初代)駅間開通
 - 10.25 700形を4両新造(初のカルダン駆動採用)
 - 11.1 広報誌「なぎさ」を創刊
 - 12.10 国際シップサービス(株)がグループ会社となる(2001年3月清算)
- 1957(昭和32)年**
 - 9.16 文庫タクシー(株)〈現京急文庫タクシー(株)〉がグループ会社となる
 - 10.4 電車運転士の養成教習開始
 - 12.27 金田湾観光開発(株)がグループ会社となる
- 1958(昭和33)年**
 - 2.9 神奈川新町駅構内に電車運転士養成の教習所竣工
 - 2.12 (株)京急油壺レストハウス(のち油壺観光(株)、現三崎観光(株))設立
 - 3.16 はとバスと提携し、都内～羽田空港～鎌倉～江ノ島～都内の周遊コースの連絡運輸開始
 - 6.11 800形(後の1000形)を4両新造
 - 6.一 湘南逗子～逗子海岸駅間の複線化工事竣工
 - 9.30 京急興業(株)〈現京急不動産(株)〉設立
- 1959(昭和34)年**
 - 1.23 京急油壺レストハウス(のち観潮荘)竣工
 - 3.15 久里浜線の湘南井田～湘南久里浜駅間の複線運転開始
 - 5.4 羽田営業所の新築工事竣工
 - 7.9 京浜汽船が横須賀～富津間の航路開設
 - 7.31 中央交通(株)〈現京急中央交通(株)〉がグループ会社となる
 - 11.1 葉山自動車(株)〈現京急葉山交通(株)〉がグループ会社となる
- 1960(昭和35)年**
 - 4.20 城ヶ島大橋開通により路線バス乗り入れ運行開始
 - 7.11 (有)青堀タクシーがグループ会社となる
 - 9.1 京光タクシー(株)〈現京急交通(株)〉設立
 - 9.15 湘南井田分譲地の販売開始
 - 9.一 (株)大和屋〈現京急フードサービス(株)〉がグループ会社となる
 - 10.15 南太田変電所新設使用開始
 - 11.28 わが国最初の電気式1号形ATS完成

- 1961(昭和36)年**
 - 4.25 京浜定期貨物運送(株)がグループ会社となる
 - 7.4 京浜不動産(株)〈現京急建設(株)〉設立
 - 11.11 ワンマンバス、羽田空港駅～空港ターミナル間の運行開始
 - 12.13 光電式自動踏切防護装置を生麦第2踏切道で使用開始
- 1962(昭和37)年**
 - 3.15 観音崎ホテル竣工
 - 7.30 追浜に自動車教習所を開校
 - 10.1 (株)川崎自動車教習所設立
- 1963(昭和38)年**
 - 1.25 都心乗入線品川～泉岳寺駅間の第1期建設工事着手
 - 4.5 三崎観光ハイヤー(株)〈現京急三崎タクシー(株)〉設立
 - 4.12 上大岡駅ビル竣工
 - 5.2 金沢八景～堀ノ内駅間に列車選別装置を設置
 - 10.1 ホーム監視テレビの本格的な使用開始(横浜駅下りホーム)
 - 11.1 京浜久里浜～野比駅間開通
 - 穴守線を空港線に改称
 - 井田車両工場(現久里浜工場)の操業開始
 - 駅名変更により「湘南」を「京浜」に改称
 - 11.3 葉山上山口分譲地の販売開始
 - 11.28 (株)京浜共栄会(のち(株)京急共栄会)がグループ会社となる(2011年7月清算)
- 1964(昭和39)年**
 - 2.25 鈴木三郎助が取締役社長に就任
 - 3.25 大師線の小島新田～塩浜駅間営業休止
 - 5.20 更埴陸送(株)がグループ会社となる(のち京急物流(株)、2005年6月譲渡)
 - 5.23 佐藤晴雄が取締役社長に就任
 - 7.17 (株)京急自動車学校 上大岡校開校
 - 8.1 (株)東京観光ホテル(のち(株)ホテル京急(2013年3月清算))がグループ会社となる
 - 10.1 新社紋制定、社名略称の冠称「京浜」を「京急」に変更
 - 11.1 飯綱高原温泉開発(株)がグループ会社となる
 - 12.2 葉山マリーナ全館開業
 - 12.一 横須賀根岸台分譲地の販売開始
- 1965(昭和40)年**
 - 1.1 社旗制定
 - 3.15 城ヶ島温泉ホテル(現城ヶ島京急ホテル)竣工
 - 6.6 野比第1期分譲地の販売開始
 - 8.19 羽田に観光バスセンター新設
- 1966(昭和41)年**
 - 1.1 特殊代用信号機を全線27踏切道(第1種乙踏切)で正式使用開始
 - 第1種甲踏切4か所を自動化
 - 3.23 浦賀駅に、日本初のプログラム式列車運行制御装置(PTC)設置使用開始

- 3.27 野比～津久井浜駅間開通
- 5.21 京浜川崎駅付近下り線高架工事竣工、使用開始(上り線は5月11日)
- 7.7 津久井浜～三浦海岸駅間開通・特急を終日10分間隔で運転開始
- 7.19 観音崎ビーチホテル(のち観音崎ビーチホテル)竣工
- 12.10 京浜川崎駅前付近で踏切道の除却工事と京浜川崎駅改良工事竣工
 - 京浜川崎駅に新型運動装置新設
 - 朝のラッシュ時に金沢文庫～品川駅間特急8両編成の運転開始
- 12.12 京急新橋地下駐車場(株)設立
- 1967(昭和42)年**
 - 5.27 電車の戸閉閉操作を運転士から車掌に切り替え
 - 6.一 700形を新造(初の4扉車)
 - 7.9 「京急川崎レジャーセンター」営業開始
 - 11.19 生麦駅の改良工事竣工(初の橋上駅)
 - 11.一 合成電車線使用開始(川崎大師～東門前駅間)
- 1968(昭和43)年**
 - 1.29 武球場竣工
 - 4.1 ATS(自動列車停止装置)を品川～堀ノ内駅間で部分使用開始
 - 4.27 「京急油壺マリンパーク」営業開始
 - 6.1 運転司令所を新設
 - 6.21 快速特急列車の運転開始
 - 都心乗り入れ、品川～泉岳寺駅間開通
 - 誘導式列車無線装置の使用開始(泉岳寺～京浜川崎駅間)
 - 9.22 横須賀池田建売住宅の販売開始
 - 10.1 「京急サニーマート」営業開始
 - 京急三浦海岸グラウンド完成
 - 10.27 横須賀池田分譲地の販売開始
 - 12.21 大師電気鉄道「発祥之地」記念碑を川崎大師駅構内に建立
 - 横浜駅東口～高速道路経由～羽田空港間のワンマンバスの運行を開始
- 1969(昭和44)年**
 - 6.25 運輸省指定区間(品川～堀ノ内駅間)のATS設置完了
 - 6.30 「京急三浦ビーチセンター」オープン
 - 11.17 神武寺駅に第1種継電運動装置設置、これにより全線24か所の継電化完了
 - 11.22 中川幸一が取締役社長に就任
 - 12.9 本線と本線直通運転全区間のATS地上装置完成使用開始
- 1970(昭和45)年**
 - 2.16 (株)ホテルパシフィック東京設立
 - 4.6 京急幼稚園開園

- 11.12 空港線、大師線でATS地上装置の使用開始(全線、全列車で使用開始)
- 11.20 休止中の大師線、小島新田～塩浜駅間廃止
- 12.1 鈴ヶ森～平和島駅間の全線高架化線開通(上り線1月20日開通)

- 1971(昭和46)年**
 - 1.24 休止中の空港線、羽田空港～穴守駅間廃止
 - 2.15 京急レジャーサービス(株)〈現京急サービス(株)〉設立
 - 2.23 鶴見川新橋梁の上り線使用開始
 - 4.一 マルチブルタインタンパー導入
 - 7.1 新造1000形と600形屋上に冷房装置取付け初の冷房車就役
 - 7.27 「ホテルパシフィック東京」開業



- 10.1 平和島と京浜久里浜両駅に初の乗車券センター営業開始、駅業務のオンライン化始動
- 12.23 電車に盲導犬の乗車を認める
- 1972(昭和47)年**
 - 3.31 六郷川新橋梁の切り替え完成、使用開始
 - 4.1 京急新橋地下駐車場営業開始
 - 5.26 大森電力司令所完成、変電所の集中制御開始
 - 6.1 新橋地下街「しんちか」オープン
 - 7.1 金沢八景に「八景京急ボウル」オープン
- 1973(昭和48)年**
 - 3.19 大森営業所で低床式バスの使用を開始
 - 10.1 神奈川地区で盲導犬のバス乗車を認める
 - 12.8 (株)平和嶋が長野県青木湖畔に「ホテルブルーレイク」開業(2001年3月清算)
 - 12.15 駅の集中放送装置全線完成、車掌によるワイヤレスマイク使用開始
- 1974(昭和49)年**
 - 1.17 金沢文庫電車基地完成(収容能力272両)、車上進路設定装置使用開始
 - 5.11 京急第2ビル完成
 - 5.26 横浜駅相対式ホームを島式ホームに改良
 - 7.11 (株)京急ツーリスト(のちの京急観光(株))設立
 - 10.1 社員持株制度発足
 - 12.2 朝のラッシュ時に金沢文庫～横浜駅間で民鉄初の特急12両編成運転開始
- 1975(昭和50)年**
 - 4.26 三浦海岸～三崎口駅間開通
 - 5.27 片桐典徳が取締役社長に就任

7.23 南総興業(株)(現(株)市原京急カントリークラブ)がグループ会社となる

1976(昭和51)年

3.31 京急レストラン(株)がグループ会社となる

8.1 空港線車両を大型化

10.15 北品川～青物横丁駅間の高架化工事完成。「北馬場」「南馬場」を統合、「新馬場駅」開業

1977(昭和52)年

11.1 大師線の車両を大型化

12.13 京急土地(株)設立

1978(昭和53)年

6.1 京浜電鉄デ51形・湘南電鉄デ1形を復元し、久里浜工場内に永久保存

6.16 初のバス運賃自動清算装置導入

6.21 都営地下鉄線に8両編成の乗り入れ開始

7.20 「京急富津観光ホテル」開業(2001年8月休止)

12.27 800形を新造

1979(昭和54)年

5.1 「川崎京急スイミングスクール」オープン

7.8 800形が1979年度ローレル賞受賞



10.26 長沢隧道貫通

12.4 バス横浜シティ・エア・ターミナル(YCAT)～新東京国際空港間(旅客限定)運行開始

12.16 港南丸山台ニュータウン第1回建売住宅の販売開始

12.19 鶴見市場～花月園駅前間下り高架線の使用開始(上り線は3月1日)

1980(昭和55)年

5.23 京浜久里浜駅に初のエスカレーター(昇り)設置

6.27 京急長沢～津久井浜駅間の複線化工事完成

8.24 「市原京急カントリークラブ」オープン

11.11 金沢文庫第1京急ビル(賃貸)完成

1981(昭和56)年

2.1 京急第5ビル(賃貸)完成

3.18 京急第3ビル(賃貸)完成

3.27 港南丸山地区区画整理事業完成

3.30 本社を泉岳寺ビルへ移転統合

3.31 鎌倉小町京急ビル(賃貸)完成

6.22 平日ダイヤを全面改正、朝のラッシュ時に通勤快車を新設、金沢文庫～品川駅間を12両編成で運転

6.25 飯田道雄が取締役社長に就任

1982(昭和57)年

4.1 京急商事(株)設立(2011年3月清算)

5.10 鎌倉御成町京急ビル(賃貸)完成

6.7 品川駅の改良工事が竣工、12両編成列車の着発が可能となる

12.1 「谷津坂」を「能見台」と駅名改称

12.27 2000形を新造

1983(昭和58)年

5.20 「京急ニュータウン金沢能見台」建売住宅販売開始

8.28 2000形が1983年度ブルーリボン賞受賞

11.28 京急第1ビル完成、30日に「ウィング高輪」オープン

1984(昭和59)年

6.13 新社は制定

9.20 ホテル京急(株)(現(株)観音崎京急ホテル)設立

1985(昭和60)年

1.9 京急猪苗代リゾート(株)設立

3.2 「京浜逗子」と「逗子海岸」を統合、「新逗子」に駅名改称

3.25 1500形を新造

7.20 「観音崎京急ホテル」開業

1986(昭和61)年

3.16 京急ニュータウン三浦海岸の建売住宅販売開始

7.15 「京急猪苗代リゾートホテル」開業

1987(昭和62)年

4.1 初のフリー乗車券「三浦半島ぐるりっぷ」発売開始

4.25 「ウィング久里浜」オープン

6.1 駅名を改称、冠称「京浜」から「京急」へ

6.26 芹沢守利が取締役社長に就任

12.13 南太田駅の待避設備完成

12.15 京急商事(株)がグループ会社となる(2011年3月清算)

1988(昭和63)年

1.4 創立「90周年シンボルマーク」、「コーポレートスローガン」発表

1.11 1500形16両を新造(初のアルミ合金製車体導入)

3.29 京急幼稚園が富岡地区から能見台地区へ移転

5.10 片桐典徳取締役名誉会長が、勲一等瑞宝章を受章

6.2 創立90周年記念式典挙行

7.26 電車の冷房化率100%達成

8.1 逗子にフライホイール式電車線電力蓄勢装置新設

10.14 京浜観音開眼50周年法要挙行

11.11 「京急クアリゾート平和島」オープン

11.13 弘明寺～上大岡駅間の立体交差工事完成

11.20 高速バスの座席予約システム運用開始

11.30 新社歌制定

1989(昭和64・平成元年)

1.15 品川バスターミナルが完成、使用開始

3.31 高輪京急ホテル(京急第7ビル)完成

4.1 大船～江ノ島有料道路を廃止

12.20 (株)京急百貨店設立

1990(平成2)年

3.29 久里浜検車区竣工

7.21 横浜～清里間の高速バスの運行開始(夏季路線)

10.5 1500形初のVVVF車両を新造

12.2 新馬場～大森海岸駅間の立体交差化工事下り線が完成(上り1989年6月25日完成)、これにより新馬場第1踏切道から立会川第3踏切道までの13か所の踏切道廃止

12.14 深夜急行バス、横浜駅～関内駅～京急久里浜駅間の運行開始

1991(平成3)年

3.31 京急線、都営浅草線、京急線、北総・公団線による4線連絡運転開始

4.1 新日本自動車(株)がグループ会社となる(2002年9月清算)

6.24 (株)ホテルパシフィック千葉設立(1995年2月清算)

6.27 平松一朗が取締役社長に就任

11.22 (株)京急流通企画、京急都市開発(株)設立

1992(平成4)年

1.18 品川駅高輪口を皮切りに自動改札機の導入開始

4.16 「京急ウィング号」の運行開始

9.18 大船駅東口「ルミネウィング」オープン

11.28 鎌倉駅～大塔宮間、鎌倉～大仏間でレトロ調バス「京急りんどう号」運行開始

12.3 (株)京急アドエンタープライズ設立

1993(平成5)年

3.25 横須賀テレコムリサーチパーク設立

3.31 羽田駅周辺利用者のため人道橋「天空橋」を開通

4.1 空港線延伸第1期工事が完成、羽田駅開業(初代羽田空港駅を廃止)

○ 都営浅草線方面からの直通急行列車(6両編成)の空港線への乗り入れ開始

4.24 品川～荻間「菟エクスプレス」号の運行開始

12.8 自動精算機を品川など8駅に順次導入

1994(平成6)年

1.19 (株)京急ステーションサービス設立(2010年7月清算)

3.29 600形を新造

4.1 スタアードフェアシステムを導入、「ルトラカード」を発売

○ 京急グループクレジットカード「NAGISA」を発行

7.29 「京急ハウツ」オープン(サニーマート内)

10.1 バス共通カードの使用開始(大森・横浜営業所)

10.15 鉄道総会社命令所完成、運輸司令システム業務開始

1995(平成7)年

2.1 (株)ホテルパシフィック東京が(株)高輪京急ホテルを合併し、商号が(株)ホテル京急となる

3.6 羽田営業所と横浜営業所能見台車庫でハイブリッドバスを各1両使用開始

3.20 大森営業所でリフト付バス1両を使用開始

4.1 特殊乗車券「京急ぐるりっぷ」、三浦半島宿泊バック「ぐるりプラン」発売開始

○ 品川～横浜間で日中と夜間の一部の快特の最高速度120キロ/時に、横浜以南で快特と特急の最高速度110キロ/時にスピードアップ

4.3 (株)京急ショッピングセンター設立

11.1 鉄道総会社命令所、運輸・工務・電気の総合的管理を開始

1996(平成8)年

2.16 「お客様案内係」を品川など8駅に配置

3.22 「京急金沢文庫キッズワールド」オープン

5.7 芹沢守利前会長が、勲一等瑞宝章を受章

7.30 電車車掌に女性社員を登用

9.20 YCATが横浜駅東口(スカイビル)に移転、同所に成田空港・羽田空港行きバス乗り場を移転

10.1 「京急百貨店・ウィング上大岡」ランドオープン

1997(平成9)年

3.31 大師線3線式乗り入れ契約を解除(当社・味の素・神奈川臨海鉄道)

4.27 横須賀中央駅改良工事完成(中央Yデッキと直結)

6.22 上大岡第1・第2踏切道立体交差化事業下り高架橋の使用開始(上り線5月12日)

6.27 小谷昌が取締役社長に就任

10.1 横須賀リサーチパーク(YRPセンター1番館・2番館)竣工

○ 創立「100周年記念シンボルマーク」、「コーポレートスローガン」発表

12.19 バス路線、横浜駅～木更津駅間、川崎駅～木更津駅間、羽田空港～木更津駅間の運行開始(東京湾アクアライン経由)

1998(平成10)年

2.25 創立100周年

3.28 2100形を新造

4.1 貸切バス事業を京急観光バス(株)へ事業統合(京浜急行電鉄・川崎鶴見臨港バス、日本観光興業貸切バス事業統合)

4.17 (株)京急トラフィックサービス設立

5.26 創立100周年記念式典挙行

6.1 お台場に「ホテル グランパシフィック メリディアン」開業

7.29 長野県飯綱高原に「長野京急カントリークラブ」オープン

7.31 (有)ピーアンドエス(現(株)京急メモリアル)設立

10.10 「京急ファミリー倶楽部(ほっとプラザ)」オープン

11.16 羽田空港開業記念式典を挙行

11.18 空港線延伸第2期工事を完了に伴い「羽田空港」駅開業、「羽田」を「天空橋」に駅名改称

- 鉄道ダイヤ改正(日本初の空港間直通電車「エアポート快特」運転開始)

1999(平成11)年

- 2.1 油壺観光(株)が三崎観光開発(株)を合併
- 4.1 全改札口の自動化が完了し、乗降確認システムを導入
 - 三崎観光(株)が油壺観光(株)を合併
 - (株)京急システム設立
 - 京急バス(株)設立
- 4.30 (有)環境ソリューション(現(株)京急サービス)設立

2000(平成12)年

- 3.24 川崎第3京急ビル竣工
- 5.11 京急電鉄制服および作業服、鉄道会社初の「エコマーク」認定を取得
- 6.1 臨港グリーンバス(株)設立(2011年3月清算)
- 6.27 ホテルパシフィック東京がISO9001を認証取得
- 8.15 (株)京急ファシリティ設立
- 9.16 駅係員による構内売店販売業務を開始(新大津・北久里浜・津久井浜)
- 10.2 高速バス ノクターン号「女性専用車両」運行開始
- 11.24 駅直結型の「京急キッズランド井土ヶ谷保育園」開園
- 12.15 (株)京急自動車学校が京急湘南開発(株)を合併
- 12.20 共通乗車カードシステム「パスネット」導入開始
- 12.26 横浜京急バス(株)、横須賀京急バス(株)のちの湘南京急バス(株)設立

2001(平成13)年

- 3.1 三浦ディーエスタブリュ(株)設立(2010年2月清算)
- 3.28 久里浜工場がISO14001を認証取得
- 4.1 臨港交通(株)が川崎臨港ハイヤー(株)を合併
- 5.16 京急フレッシューズ(株)設立
- 6.13 (株)京急流通サービス清算
- 6.16 (株)京急ステーションサービス(現(株)京急ステーションコマース)設立
- 7.3 弘明寺へ身代地藏菩薩奉納
- 9.12 (株)京急百貨店がISO14001を認証取得
- 9.28 (株)京急ビジネス設立
- 10.1 京急ロイヤルフーズ(株)が京急房総観光(株)を合併
- 10.22 私鉄初 品川・羽田空港駅ほかでISO9001:2000を認証取得

2002(平成14)年

- 2.1 青物横丁京急ビル竣工
- 3.1 (株)ホテル京急が京急都市開発(株)を合併
- 3.18 「京急キッズランド上大岡保育園」開園
- 4.1 (株)京急ハウツ設立
 - 京急管財(株)設立
- 6.1 運輸司令所、電力司令所、車両センター、工務保安センターを総合司令所に統合

- 7.11 YRPが政府関係機関初のPFI事業者に選定される
- 7.24 「BIG FUN平和島」オープン
- 9.10 青物横丁駅改良工事が完成
- 9.17 京浜急行電鉄(株)が(株)葉山マリナーの株式を取得
- 10.28 平和島温泉クアハウスがISO9001を認証取得
- 11.1 (株)京急ビルテック平和島、平和島サービス(株)設立
- 11.28 大鳥居第1京急ビル、大鳥居東口改札口開業
- 12.21 無線LAN倶楽部サービス提供開始
- 12.25 (株)京急百貨店がニュージャパンモーター(株)を合併

2003(平成15)年

- 3.1 「ウィング新橋」オープン
- 3.3 (株)京急フレッシュワン平和島設立
- 3.10 「京急メモリアルサービス久里浜」営業開始
- 3.31 (株)京急マリナーフーズ設立
- 4.10 京浜急行バス(株)設立
 - 5.1 京急線全駅で全面禁煙を実施
- 5.23 大鳥居第2京急ビル開業
- 6.24 海洋深層水風呂「みうら湯」弘明寺店オープン
- 9.11 障がいのある方の雇用のための特例子会社(株)京急ウィズ設立
- 10.1 会社分割により自動車事業を京浜急行バス(株)に承継

2004(平成16)年

- 1.29 「京急安浦」を「県立大学」に駅名改称
- 3.1 京急建設(株)がISO14001を認証取得
- 4.1 「京急キッズランド上大岡保育園」が認可保育園として新たに開園
- 4.15 (株)ホテル京急が障がい者雇用特例認定される
- 7.1 (株)楼蘭設立
- 10.1 (株)京急ライフクリエイト設立
- 11.1 「京急グループポイントサービス」開始
- 11.8 新潟県中越地震による上越新幹線の復旧作業に軌道検測車(EM30)をJR東日本へ貸与
- 12.1 羽田空港第2旅客ターミナル開業
 - 羽田空港駅に「京急ステーションコンシェルジュ」を配置
 - 品川駅高架下にフードテーマパーク「品達ラーメン 麵達七人衆」オープン
- 12.17 京急サービス(株)がISO9001を認証取得
- 12.21 金沢文庫第2京急ビル竣工
- 12.24 (株)ホテル京急がISO14001を認証取得
 - (株)楼蘭がISO14001を認証取得

2005(平成17)年

- 1.7 (株)京急システムがISO9001を認証取得
- 1.26 ホテルパシフィック東京が宿泊のお客さまから善意として寄せられた155万6893円を(財)日本ユニセフ協会に寄贈

3.14 600形「KEIKYU BLUE SKY TRAIN」運行開始



- 4.1 「京急カード」発行
- 5.9 「女性専用車両」試験運転開始
- 5.12 (株)ホテルグランパシフィック設立
- 5.16 鉄道本内に「安全対策担当」を新設
- 6.19 観音崎京急ホテルにビューティー&リラクゼーションスパ「SPASSO」オープン
- 6.29 石渡恒夫が取締役社長に就任
- 10.3 臨港エステート(株)設立
- 10.7 久里浜線延伸区間「三崎口～油壺(仮称)間」の免許一旦取り下げ
- 11.1 京急線全駅および京急グループ各店舗、合計150か所に「子ども110番」設置
- 11.21 (株)京急ウィズが「クリーニング工場」営業開始

2006(平成18)年

- 1.17 京急電気工事(株)設立
- 2.28 京急百貨店100か月連続前年同月実績超えを達成
- 6.16 主要駅に「AED(自動体外式除動器)」を設置
- 8.1 総合司令所に気象庁が配信する緊急地震速報を活用した「緊急地震速報システム」を設置
 - 京浜急行電鉄(株)が(株)京急ストアを完全子会社化
- 9.12 お客さまご案内窓口「京急ご案内センター」開設
- 10.1 京浜急行電鉄(株)が川崎鶴見臨港バス(株)を完全子会社化
 - 鉄道安全管理規程制定

2007(平成19)年

- 1.20 「湘南佐島なぎさの丘」販売開始
- 3.1 (株)京急アド交通メディアワーク設立
- 3.16 施設部の現業部門を分社化して京急鉄道施設(株)が営業開始
- 3.18 ICカード乗車券「PASMO」導入
- 3.31 新1000形6次車両を新造(京急初のステンレス車両導入)
- 4.1 京急サービス(株)による認可保育園「京急キッズランド上永谷保育園」が開園
 - (株)京急ファシリティが京急管財(株)を合併し、(株)京急ビルマネジメントに商号変更
- 5.1 (株)ホテル京急が(株)楼蘭を合併
- 5.8 平松一朗取締役相談役が、旭日大綬章を受章
- 7.2 (株)京急イーエックスイン設立
- 7.28 品川駅に外貨自動両替機設置

11.11 「京急E Xイン 大森海岸駅前」開業

2008(平成20)年

- 2.25 創立110周年を記念して駅係員、乗務員の制服を更新
- 4.19 京急開発(株)、「横浜イーストスクエア」竣工
- 5.30 ウィング高輪WESTに秋田県アンテナショップ「あきた美彩館」オープン
- 6.1 「ホテルパシフィック東京」、「ホテル グランパシフィックメリディアン」が新たに「パシフィックホテルズ」としてブランド展開開始
 - 「ホテル グランパシフィック メリディアン」を「ホテル グランパシフィック LE DAIBA」に改称
- 8.8 「京急E Xイン 新馬場駅北口」開業
- 10.1 ユニオネックス(株)の全株式を取得し、連結対象子会社に
 - 神武寺駅にて米軍専用改札を運用開始
- 11.18 駅メロディの導入開始

2009(平成21)年

- 2.14 高機能ATSを全線で運用開始
- 4.1 (株)京急ショッピングセンターが京急新橋地下駐車場(株)を合併
- 8.1 「みさきまぐろきっぷ」発売開始
- 9.30 駅売店をセブン-イレブン展開することで業務提携

2010(平成22)年

- 3.18 「よこすがグルメきっぷ」発売開始
- 4.16 「京急E Xイン 浅草橋駅前」開業
- 5.16 鉄道ダイヤ改正(エアポート快特、エアポート急行の新設など)
- 6.28 1000形車両引退
- 9.14 「京急E Xイン 横浜駅東口」開業
- 9.30 「ホテルパシフィック東京」営業休止
- 10.14 「京急E Xイン 蒲田」開業
- 10.21 「羽田空港国際線ターミナル」駅開業、「羽田空港」を「羽田空港国内線ターミナル」に駅名改称
 - 羽田空港国際線ターミナルへバス乗り入れ開始
 - 京急線全駅にて駅ナンバリングを導入
 - 社名略称を「京急電鉄」に、英文会社名を「Keikyu Corporation」に変更
- 11.1 京急開発(株)が(株)京急ジョイフルを合併

2011(平成23)年

- 4.29 「SHINAGAWA GOOS(シナガワ グース)」、「京急E Xイン 品川駅前」開業



- 7.30 トリプルタワーマンション「リヴァリエ」販売開始
- 10.1 「京急グループポイントサービス」が「京急プレミアポイント」にリニューアル
- 11.6 京急グッスショップ「おとどけいきゅう鮫洲店」開店
- 11.11 「京急E Xイン 高輪」開業

2012(平成24)年

- 3.31 京急タクシーグループが、全車両にPASMO電子マネーの導入を完了
- 5.23 京急線全駅にて定期乗車券の払い戻し取り扱い開始
- 10.1 京急百貨店オンラインショップ「吉日屋」開設
- 10.21 京急蒲田駅付近連続立体交差事業全乗車区間の上下線高架化完了
 - 鉄道ダイヤ改正(品川～羽田、横浜～羽田直通電車を10分間隔で運行)

2013(平成25)年

- 3.23 交通系ICカード全国相互利用サービス開始
- 4.1 (株)京急ストアがユニオネックス(株)を合併
 - 「京急キッズランド港町駅前保育園」、「京急キッズランド黄金町保育園」開園
- 6.27 原田一之が取締役社長に就任
- 7.18 梅屋敷駅にて京急初の副駅名称「東邦大学前」を導入



副駅名称の入った駅看板

- 7.26 京急百貨店が百貨店初のエコマーク認定「小売店舗」を取得
- 11.3 小谷昌取締役相談役が旭日大綬章を受章
- 11.19 「高架下新スタジオ(Site-A～Dおよびかいだん広場)」が「第57回神奈川建築コンクール一般建築部門」にて優秀賞を受賞

2014(平成26)年

- 2.19 横浜市金沢区と「津波発生時における施設等の提供協力に関する協定」を締結
- 2- 車両内に公衆無線LANサービス提供開始
- 3.1 訪日外国人向け無料公衆無線LANサービス開始
- 4.2 神奈川新町駅前に商業施設「新町第1京急ビル」「新町第2京急ビル」開業
- 5.1 新1000形「KEIKYU YELLOW HAPPY TRAIN」運行開始
- 7.18 葉山マリーナ開業50周年
スイス・モントルーマリーナと姉妹クラブ提携
- 7.19 「みさきまぐろきっぷ」優待施設を追加

- 7.23 横浜市金沢区他7者と「環境未来都市 横浜“かなざわ八携(はっけい)協定”」締結
- 8.16 IR施設運営を見据えた新規事業プロジェクトチーム発足
- 11.8 鉄道ダイヤ改正
(品川～羽田空港国際線ターミナル駅間を「Xエアポート快特」11分で運行)
- 11.13 京急ストア、神奈川県と「連携と協力に関する包括協定」締結
- 11.17 「ザ・タワー横須賀中央」入居開始
- 12.5 京急開発(株)、「平和島物流センタ」竣工

2015(平成27)年

- 2.26 台湾鉄路管理局と「友好鉄道協定」締結
- 4.1 「ウィング高輪 EAST」リニューアルオープン
 - 京浜急行電鉄(株)が京急鉄道施設(株)を吸収合併
- 4.25 「京急ツーリストインフォメーションセンター(京急TIC) コンシェルジュ」品川駅での案内開始
- 5.28 「ミシュラン・グリーンライナー」羽田空港～東京駅線で運行開始
- 6.26 「品川開発推進室」新設
- 7.1 (株)京急リブコ設立
- 10.14 日本鉄道賞表彰選考委員会による「高度な安定輸送実現」特別賞を受賞



- 10.21 羽田空港国際線ターミナル駅に「ウィングエアポート羽田」開業
- 12.4 タイ空港鉄道・SRTETと「友好鉄道協定」締結
- 12.7 「モーニング・ウィング号」運行開始
- 12.11 京急蒲田駅高架下に「ウィングキッチン京急蒲田」開業

2016(平成28)年

- 3.16 久里浜線延伸(三崎口～油壺(仮称)駅間)事業および延伸区間における三浦市三戸・小網代地区の大規模宅地開発事業凍結を発表
- 3.24 「京急E Xイン 秋葉原」開業
- 3.28 横浜への本社移転を発表
- 4.1 京急鶴見駅前に「京急お忘れものセンター」開設
- 4.25 ウィングエアポート羽田に「品達 羽田」開業
- 4.27 「京急川崎駅前ビル」開業
 - 「京急E Xイン 京急川崎駅前」、「ウィング川崎」(現ウィングキッチン京急川崎)オープン
- 5.11 京急グループ総合経営計画を発表
- 5.20 (株)ホテルグランバシフィックを譲渡
- 6.23 「京急E Xイン 品川・泉岳寺駅前」開業

- 6.29 「新規事業企画室」新設
- 8.25 「京急E Xイン 東銀座」開業
- 10.24 三浦海岸駅で「どこでもドア®(マルチドア対応ホームドア)」実証実験開始

2017(平成29)年

- 1.23 訪日外国人向け無料公衆無線LANサービス「KEIKYU FREE Wi-Fi」サービス開始
 - 「京急E Xイン 横須賀リサーチパーク」リブランド開業
- 2.4 「葉山女子旅きっぷ」が「かながわ観光大賞」受賞
- 3.7 「プライムコネクト 金沢文庫」竣工
- 3.28 座席指定券購入サイト「KQuick」サービス開始
 - 「京急線アプリ」配信スタート
- 4.1 「おとどけいきゅうプラス横浜港大さん橋店」開店
- 4.4 川崎市と「包括連携協定」締結
- 5.1 「モーニング・ウィング号」と下り「ウィング号」を座席指定列車に変更
- 5.27 京浜急行バス、油壺行系統を「京急油壺マリンパーク」まで路線延長
- 6.9 観音崎京急ホテルに「snow peak glamping 京急観音崎」オープン



- 6.23 川崎港町トリプルタワーズシティ「リヴァリエ」プロジェクトが完了
- 7.14 京急鶴見駅に「ウィングキッチン京急鶴見」開業
- 10.1 京浜急行電鉄(株)が(株)京急ステーションサービスを合併
- 10.25 「京急E Xイン 羽田」開業

2018(平成30)年

- 2.25 創立120周年記念式典を実施
 - 京急線の優待乗車証(電車全線片道1回)を2枚配布
- 3.1 京急観光(株)の一部事業を(株)日本旅行に事業譲渡
- 3.28 2000形車両引退
- 4.1 京浜急行バス(株)が子会社3社を吸収合併
- 4.2 (株)Rバンクの株式取得(子会社化)
- 4.25 「京急ツーリストインフォメーションセンター 品川駅」新設
- 4.28 京急油壺マリンパーク開館50周年記念式典を実施
 - 日ノ出町～黄金町駅間の高架下スペースに「Tinys Yoko hama Hinodecho」オープン
- 4.29 石渡恒夫取締役会長が旭日大綬章を受章
- 6.21 京急×都営交通×京成相互直通50周年
- 7.4 横浜国立大学と「産学連携の協力推進に係る協定」締結

- 9- 「プライムパークス品川シーサイド ザ・レジデンス」竣工
- 9.30 インドネシアにて初の海外分譲マンション「SOUTHGATE PRIME TOWER」販売開始
- 10.1 「京急E Xイン 品川駅前」・「京急E Xイン 高輪」を「京急E Xホテル 品川駅前」・「京急E Xホテル 高輪」にリブランド
- 11.13 城ヶ島西部地区再整備への参画を発表
- 11.18 羽田空港国内線ターミナル駅開業20周年記念式典を実施

2019(平成31・令和元)年

- 1- 「プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー」竣工
- 1.21 開業120周年記念式典を実施
- 1.22 神奈川県と「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」締結
- 1.28 羽田空港国際線ターミナル駅に鉄道事業者として初めて錯覚を活用した案内サイン「錯視サイン」を設置
- 3.1 京浜急行バスが水素で発電する燃料電池バス「SORA」導入
- 3.3 大師線連続立体交差事業の東門前～小島新田駅間地下化切替工事が完了
- 3- 「プライムフィット中目黒」竣工
- 3.22 京急グループがホステル事業に参入、浅草エリアに「plat hostel keikyu asakusa karin」オープン
- 3.28 「京急E Xイン 浜松町・大門駅前」オープン
- 3.31 京急線金沢八景駅とシーサイドライン金沢八景駅が直結
 - 4.1 京急グループの流通事業を(株)京急百貨店、(株)京急ストア、京急ロイヤルフーズ(株)の3社に再編
 - 大森町～梅屋敷駅間高架下にもづくり複合施設「梅森プラットホーム」オープン
 - 京急グループ全社で「生分解性ストロー」を導入開始
- 6.19 800形車両引退
- 7.1 優等列車の混雑緩和を目的としたポイント付与アプリ「KQスタンプ」を活用したサービスを開始
- 8.3 「京急E Xイン 羽田・穴守稲荷駅前」リブランドオープン
- 9.2 「京急グループ本社」竣工記念式典を実施



民鉄16社比較

鉄道事業単体

(2018年度)

項目 社名	資本金 (百万円)	従業員数 (人)	営業キロ (km)	客車 車両数 (両)	旅客 運輸収入 (百万円)	客車 走行キロ (千km)	輸送人員 (千人)	延人キロ (百万人キロ)
京急	43,738	2,793	87.0	790	82,831	116,672	483,419	6,591
東武	102,135	3,510	463.3	1,893	148,846	274,200	926,438	12,630
西武	21,665	3,660	176.6	1,286	100,533	175,200	665,242	8,937
京成	36,803	1,665	152.3	606	65,563	97,978	292,589	4,202
京王	59,023	2,549	84.7	881	82,259	130,389	677,988	7,962
小田急	60,359	3,792	120.5	1,072	119,525	192,387	766,655	11,901
東急	121,724	4,666	104.9	1,251	141,385	151,463	1,189,316	11,309
東京メトロ	58,100	9,741	195.1	2,719	348,509	290,685	2,766,167	22,187
相鉄	100	1,074	35.9	398	31,575	48,178	233,216	2,592
名鉄	100,778	5,086	444.2	1,070	90,134	189,278	393,236	7,245
近鉄	100	7,412	501.1	1,905	149,326	286,014	578,037	10,801
南海	72,983	2,624	154.8	696	58,445	97,632	239,835	3,976
京阪	100	1,317	91.1	706	52,054	89,281	295,099	4,186
阪急	100	3,103	143.6	1,299	96,516	169,358	655,937	9,219
阪神	29,384	1,337	48.9	362	34,054	44,782	245,366	2,320
西鉄	26,157	4,552	106.1	322	20,668	39,806	105,313	1,578

グループ連結

(2018年度)

項目 社名	従業員数 (人)	営業収益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)
京急	9,010	339,268	20,714
東武	20,347	617,543	28,024
西武	23,677	565,939	45,457
京成	9,240	261,553	38,642
京王	13,342	447,508	27,213
小田急	13,938	526,675	32,468
東急	23,637	1,157,440	57,824
東京メトロ	11,584	434,894	60,709
相鉄	5,195	260,502	18,341
名鉄	29,855	622,567	30,457
近鉄	30,506	1,236,905	35,962
南海	9,168	227,424	13,023
京阪	6,885	326,159	21,480
阪急	22,654	791,427	65,476
阪神			
西鉄	19,498	396,835	6,330

**KEIKYU
H A N D
B O O K**
京急グループ会社要覧
2019-2020

京急電鉄

www.keikyu.co.jp



京急ご案内センター

京急ご案内センター TEL 03-5789-8686 / 045-441-0999

平日9:00～19:00 土・日・祝日9:00～17:00

※営業時間は変更になる場合がございます。

京急

検索

KEIKYU
京急グループ